AXIES 2022 SENDAI

大学ICT推進協議会 2022年度年次大会

GUIDE BOOK

2022年12月13日(火)～15日(木)
仙台国際センター(ハイブリッド開催)

DX up to DATE

シン・セカイへ向けて

大会ウェブサイト
https://conf2022.axies.jp/

| お問い合わせ |
一般社団法人大学ICT推進協議会　2022年度年次大会事務局(担当:東北大学)
E-mail:conf2022-exsec@axies.jp

Sponsors

プラチナ協賛

ゴールド協賛

大学ICT推進協議会
2022年度年次大会

会期：2022年12月13日（火）～15日（木）
会場：仙台国際センター（ハイブリッド開催）

主催：一般社団法人 大学ICT推進協議会

後援：文部科学省
情報処理学会
公益財団法人 仙台観光国際協会

協賛：アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社（プラチナ）
シスコシステムズ合同会社（プラチナ）
フォーティネットジャパン合同会社（プラチナ）
グーグル・クラウド・ジャパン合同会社（プラチナ）
日本マイクロソフト株式会社（プラチナ）
日本オラクル株式会社（プラチナ）
株式会社PKSHA Workplace（プラチナ）
株式会社セールスフォース・ジャパン（プラチナ）
株式会社内田洋行（プラチナ）
アドビ株式会社（ゴールド）
アバー・インフォメーション株式会社（ゴールド）
アクシスコミュニケーションズ株式会社（ゴールド）
エクスジェン・ネットワークス株式会社（ゴールド）
ジュニパーネットワークス株式会社（ゴールド）
MEGAZONE株式会社（ゴールド）
ネットアップ合同会社（ゴールド）
株式会社ネットスプリング（ゴールド）
東日本電信電話株式会社（ゴールド）
西日本電信電話株式会社（ゴールド）
Rubrik Japan株式会社（ゴールド）
株式会社サテライトオフィス（ゴールド）
タニウム合同会社（ゴールド）
Trellix（ゴールド）
ヤマハ株式会社（ゴールド）

アマゾン ウェブ サービス（以下AWS）は２７のグローバルリージョンから２００種類を超えるクラウドサービスを２４５の国と地域に提供しています。世界中の高等教育機関・研究機関は研究、教育、組織運営のためにAWSのクラウドを採用しています。

教育	× ☁ =	データ駆動型教育への転換 デジタル社会を担う人材育成
研究	× ☁ =	研究のスピードアップ 世界中で利用される最新技術の活用
経営 事務	× ☁ =	より価値が高いサービスを利用者に コスト・業務の最適化

こんなお悩み・ご要望があればお気軽にご相談ください。

- 共用計算機の混雑から解放されたい。
- 研究室のサーバー管理に時間をとられたくない。
- ハードウェアリプレイスのために仕事を中断されたくない。
- クラウドをまず試してみたいけど調達・契約方法がわからない。
- クラウドのサービスがありすぎて何を使えばいいかわからない。
- クラウドの課金について詳細を知りたい。
- 海外の研究者とのコラボレーションがしやすい環境を構築したい。
- 常に最新のCPUを使いたい。
- 授業で学生達にクラウドを使わせたい。
- クラウドスキルの習得方法が知りたい。
- 教育・研究でのクラウド利用のための助成を受けたい。

日本の大学・研究機関のお客様向けWebサイトはこちらのQRコードより →
https://aws.amazon.com/jp/government-education/worldwide/japan/UR-Industry-Site/

お問い合せ先： aws-jpps-er@amazon.com
アマゾン ウェブ サービスジャパン合同会社 パブリックセクター高等教育・研究担当まで

Google Cloud

Google の最新テクノロジーを活用できる無料クレジットで学習や研究を加速

学生がクラウドファーストの世界に備えるために、
また、未来の研究にブレイクスルーをもたらすために。
Google Cloud の無料クレジットをぜひご活用ください。

教職員向けクレジット

教員（1人あたり）
最大 **$100** の Google Cloud クレジット

学生（1人あたり）
$50 の Google Cloud クレジットほか

お申し込みは▼

goo.gle/axies2022-f

研究者向けクレジット

最大 **$5,000** の Google Cloud クレジット

※提案書の提出が必要です。

お申し込みは▼

goo.gle/axies2022-r

お問い合わせは▼

Google Cloud 大学 DX 推進事務局
gcjp-univ-dx+noreply@google.com
cloud.google.com

© Copyright 2022 Google Google は、Google LLC の商標です。

Microsoft

マイクロソフト高等教育機関向け AI 人材育成プログラム

学生向け Microsoft Learn のご紹介

デジタルテクノロジーにより世の中は様変わりし、社会における AI 活用のニーズがますます高まっています。マイクロソフトでは、高等教育機関で学ぶ学生向けに Data や AI の活用方法 を無償で体系的に学べる「学生向け Microsoft Learn」をご用意しました。

- 学生のみなさまが社会で活躍できるスキル習得支援プログラム
- マイクロソフトがオンラインプログラムを無償で提供
- 文系・理系、初心者・上級者問わず体系的に学習可能
- 機械学習、AI の知識を証明する認定資格取得※が可能

※マイクロソフト認定資格（Azure AI Fundamentals）

学生向け Microsoft Learn で学ぶメリット

学生にとってのメリット

- 最先端のテクノロジーを学べる
- 将来の仕事や役割の可能性を広げられる

高等教育機関様としてのメリット

- 高等教育機関のブランド向上
- 最先端テクノロジー学習環境への投資削減

先生の視点からのメリット

- AI 人材の育成
- ゼミ生の General Skill 向上

Microsoft Learn で取得できる認定資格

AI-900 AI の基礎
AI の基本的な概念を理解し、Azure で AI を始める方法を学習

AZ-900 Azure の基礎
Azure の基礎を理解し、クラウド コンピューティングの概念を学習

DP-900 データの基礎
クラウド データ サービスに関する基礎を学習

PL-900 Power Platform の基礎
ローコード開発のための Power Platform 関連製品基礎を学習

学生向け Microsoft Learn を詳しくみる 〉〉 https://aka.ms/hedskills

※ 記載されている、会社名、製品名、ロゴ等は、各社の登録商標または商標です。※ 製品の仕様は、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
※ 製品に関するお問い合わせは：マイクロソフト カスタマー インフォメーションセンター 0120-41-6755（9:00 ～ 17:30 土日祝日、弊社指定休業日を除く）

日本マイクロソフト株式会社

ORACLE

ガバメントクラウドにも採用された
今、大注目の【第4のクラウドサービス】
Oracle Cloud Infrastructure (OCI)

IaaS/PaaS 利用でこんなお困りごとありませんか？

オンプレミスからクラウド移行したらパフォーマンスが落ちた

予算の都合でクラウド上のデータをダウンロードできない

パフォーマンス、データ転送、保守費用の積み重ねでかえってコストが増えた

OCIでそのお悩み解決できます！

1 スパイン・リーフ型ネットワークや専有CPUの提供などにより、
オーバーサブスクリプションの無いクラウドを実現！
HPC利用時にもオンプレミスと同等以上のパフォーマンスを発揮！

2 常時10TB/月までデータアウトバウンドの課金なし！
SINET経由での利用ならデータアウトバウンドは完全無料！

3 サポート費用込みでも他社より安価な価格設定！
クラウドにありがちな見えないコスト要因も排除することで、
他社の1/2以下の利用料となるケースも多数！

*OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Copyright© 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

日本オラクル株式会社
〒107-0061 東京都港区北青山2-5-8 オラクル青山センター
oracle.com/jp

お問い合わせ窓口
Oracle Digital
TEL 0120-155-096
URL oracle.com/jp/contact-us

フォーティネット セキュリティ ファブリック

フォーティネット セキュリティ ファブリックは、フォーティネットのセキュリティ戦略の中核となるものです。共通のオペレーティングシステムと管理フレームワークを中心に有機的に構築されたこのプラットフォームは、重要なセキュリティ要素の広範な可視性、シームレスな統合、相互運用性を提供し、きめ細かい制御と自動化を可能にします。

Broad（幅広い）

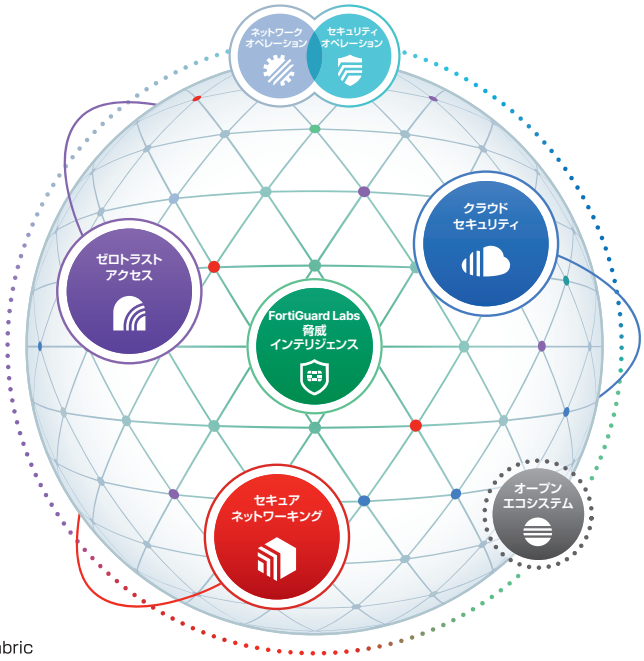
デジタル攻撃対象領域全体の可視化と保護により、
リスク管理能力を改善

Integrated（統合化）

管理の複雑さの軽減と脅威インテリジェンスの
共有を可能にするソリューション

Automated（自動化）

AI ドリブンセキュリティの自己修復型ネットワーク
が高速かつ効率的な運用を実現



詳細はこちら　www.fortinet.com/jp/solutions/enterprise-midsize-business/security-fabric

デジタル攻撃対象領域を包括的に保護するソリューションの幅広いポートフォリオ

ゼロトラスト アクセス

- ZTNA エージェント
- 認証
- 多要素認証 / トークン
- SASE

セキュア ネットワーキング

- ネットワーク ファイアウォール
- SD-WAN
- SD ブランチ
- Web プロキシ
- Wi-Fi
- ネットワーク スイッチ
- 5G / LTE
- ネットワーク アクセス制御

クラウド セキュリティ

- クラウドネイティブ 保護
- DevSecOps
- クラウド ファイアウォール
- マルチクラウド向け SD-WAN
- WAF
- E メール セキュリティ
- ADC / GSLB
- アンチDDOS
- CASB

ネットワーク オペレーション

- ネットワーク管理
- ネットワーク オーケスト レーション
- ネットワーク監視
- クラウド管理
- デジタル エクスペリエンス 監視

セキュリティ オペレーション

- エンドポイント（EDR / XDR）
- 自動化：SIEM / SOAR
- マネージド SOC / MDR
- DRPS、EASM
- ディセプション

オープン エコシステム

- ファブリック コネクタ
- ファブリックAPI
- ファブリック DevOps
- 広範なエコシステム
- 490を超える オープン ファブリック エコシステム
- インテグレーション

LABS

フォーティネットジャパン合同会社

〒106-0032　東京都港区六本木7-7-7 Tri-Seven Roppongi 9F　www.fortinet.com/jp/contact

大切なことは、ずっと変えない。
次の世界へ。
salesforce
株式会社セールスフォース・ジャパン
salesforce.com/jp/

AVer
自社技術・自社製造・安心品質

AI自動追尾リモートカメラ

PTC310U / PTC310UN

※NDI® は PTC310UN のみ対応

高度な自動追尾機能により ライブ配信、映像制作のためのPTZリモートカメラ

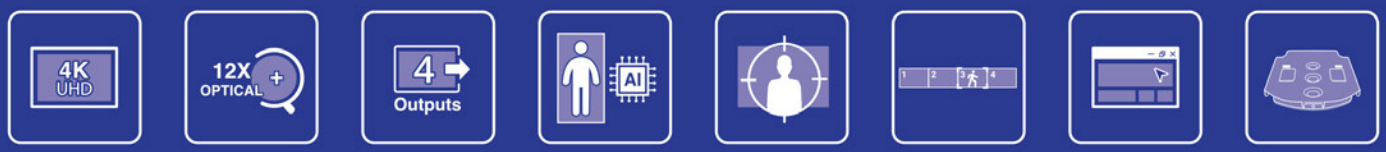
PTC310U / PTC310UN は米国のZoom社で認証された機種の日本向けモデルです。

zoom Certified

高画質カメラ
4K ULTRA HD
光学12倍ズーム

人を検知し追尾
AI
自動追尾機能

4種類の出力に対応
IP / USB HDMI 3G-SDI



4K Ultra HD | 光学12倍ズーム | IP / USB HDMI / 3G-SDI | 人物をAIで検知・追尾 | プレゼンターモード | ゾーンモード | 直感的なWeb UI | 天井取付用マウント

jp.aver.com

とにかく、広い会場に遠隔会議中の音を届けたい

外部スピーカー*を接続することでより広範囲をカバーできるので、大規模会議や大きな会場での遠隔セミナーなどでも活躍します。

＊市販のアンプ内蔵スピーカーを2台まで接続できます。動作確認済みの外部スピーカーは「STAGEPAS 400BT」となります。

来場者の声も相手に届けたい

オプションの拡張マイク「YVC-MIC1000EX」を4台（合計5台）まで増設可能。マイクを増設することで部屋のレイアウトや大きさ・参加人数に合わせた設置が可能になります。

※YVC-MIC1000EXで収音したマイクの音は、スピーカーで拡声はできません。
※ご利用前に必ずご検証ください。

ユニファイドコミュニケーション
マイクスピーカーシステム

YVC-1000

希望小売価格:145,200円(税込)
拡張マイク　1個付属

https://sound-solution.yamaha.com/experience/uc_rental

cognizant FORMULA ONE™ TEAM | JUNIPER NETWORKS

GLOBAL PARTNER

Juniper Networksが キャンパスネットワークを加速する

Automation, Scalability, High Performance

juniper.net/jp/

JUNIPER driven by Mist AI

TANIUM

今、端末管理に求められるサイバーハイジーン（衛生管理）
有事に加えて平時の対応で、リスク発生頻度を低減

こんな悩みをお持ちではありませんか？

- どんな端末が何台あるか正確にわからない
- 正しくパッチが適用されているかどうか把握できていない
- 大規模なソフトウェア配信（Feature Updateなど）で苦労している
- 脆弱性の有無や端末の設定の可視化をしたいがどうすればいいのかわからない
- EDRを導入したいが何から始めればいいのかわからない

そのお悩みをNISTサイバーセキュリティ・フレームワークを踏まえ、平時・有事にも対応できるタニウムのプラットフォームで解決しませんか？

特定	防御	検知	対応	復旧
シャドーIT対策	脆弱性管理	未知の不正プログラム対策（エンドポイント対策）		関連組織への連絡と対応
● 資産/構成管理 ● リスク＆アセスメント（脆弱性の識別と修復）	● アクセス制御 ● 意識向上と訓練 ● データの保護 ● システムと通信保護	● インシデント検知（準備と検知） ● マルウェア対策 ● インシデント調査	● 論理隔離（不審な通信の遮断） ● 被害の検知 ● 侵入経路の調査	● インシデント復旧（修復・緊急パッチ配布） ● メンテナンス（組織のシステム）
資産管理 非管理端末検知	パッチ管理 SW配布	脆弱性管理 ポリシー制御	脅威検知（既知） 脅威検知（未知） インシデント調査・特定・対応	復旧（設定修正） 復旧（ソフトウェア更新）
未実施（野良端末）	各組織対応	未実施 各組織対応	EPP EDR機能	各組織への連絡復旧依頼

平時対応 サイバーハイジーン領域
全IT資産の可視化/脆弱性の排除

Asset / Patch / Comply / Discover / Deploy / Enforce

有時対応 インシデント調査・対応領域
即時対処と復旧（脆弱性の再排除）

Defender / Enforce / Tanium EDR (THR) / THR / Core / Patch

Tanium Core

タニウムのプラットフォームなら平時・有事全てカバーできます！

感染症対策と同様に平時の対応・有事の対応ともに重要

実態の把握

是正処置

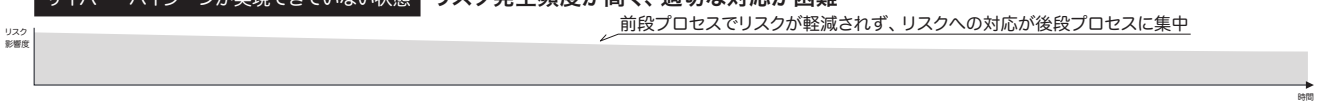
インシデント調査

インシデント対応

リスク発生頻度に差がつく　サイバー・ハイジーン

サイバー・ハイジーンが実現できている状態　リスク発生頻度が劇的に低減し、適切な対応を実現

サイバー・ハイジーンが実現できていない状態　リスク発生頻度が高く、適切な対応が困難



Case Study 事例ご紹介

国立研究開発法人理化学研究所

環境資源科学研究センター　植物免疫研究グループ 様

日本国内で唯一！

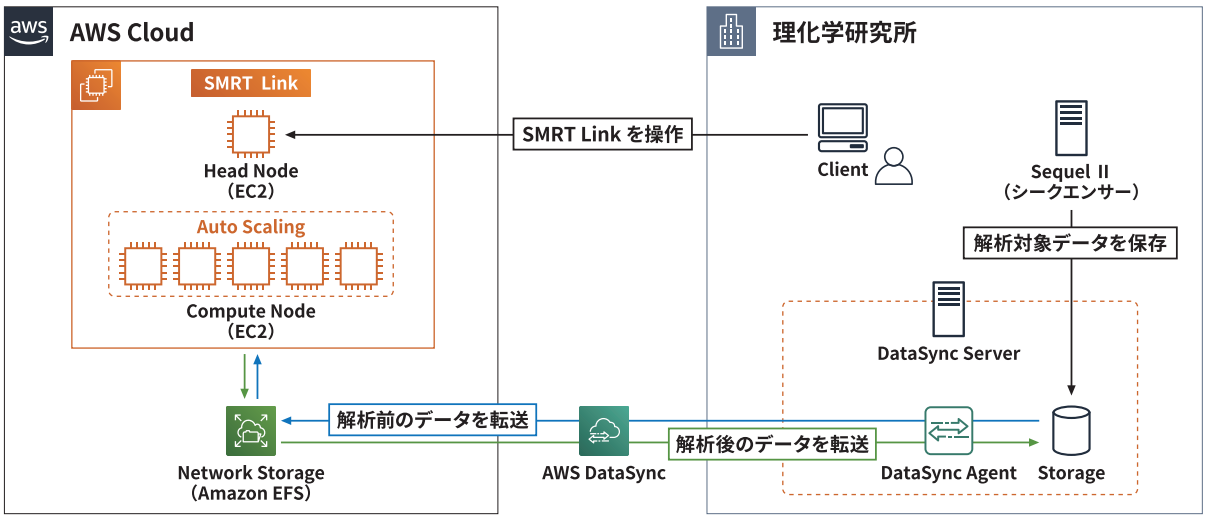
AWS 上で SMRT Link を用いた生物学データ解析を実現

課 題
AWS 上での PacBio 社 SMRT Link の動作検証が必要
解析データのサイズ拡大に対応できる計算環境が必要
解析を行いたいときに行える環境が必要

解 決
PacBio 社 SMRT Link の AWS 上での動作検証
最適な AWS インフラの設計および構築
システム稼働後の運用支援及び保守サポート

理化学研究所植物研究グループでは、解析で利用するデータサイズが拡大するにつれて、オンプレミス環境での生物学データ解析に限界を感じていました。
そこで研究サンプルの量に応じて柔軟に対応が可能なクラウド環境の利用を検討しましたが、クラウド上での解析アプリケーション（PacBio 社 SMRT Link）の動作検証、アーキテクチャの設計が課題となっていました。

AWS で実現した解析環境



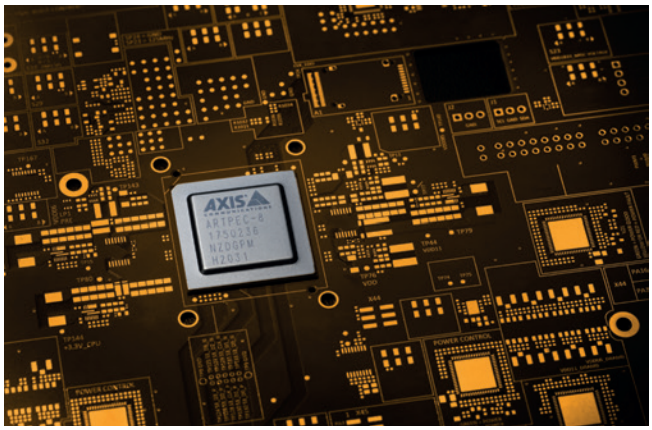
本構成におけるポイント

- ☑ **AWS Datasync による大容量のデータを高速に転送。**
- ☑ **Amazon EFS の自動スケールアップによりストレージの柔軟な活用。運用負荷の低減。**
- ☑ **計算ノードでスポットインスタンスを活用し、高性能なインスタンスによる解析費用を低減。**

本課題に対して、MEGAZONE はクラウド運用のノウハウを生かしてアプリケーションの動作検証、アーキテクチャの設計を行い、研究の効率化を実現することに成功しました。

お問合せ
MEGAZONE株式会社
TEL 03-5468-8344
MAIL jp.sales@megazone.com　URL https://www.megazone.com/jp/
CLOUD INNOVATOR MEGAZONE

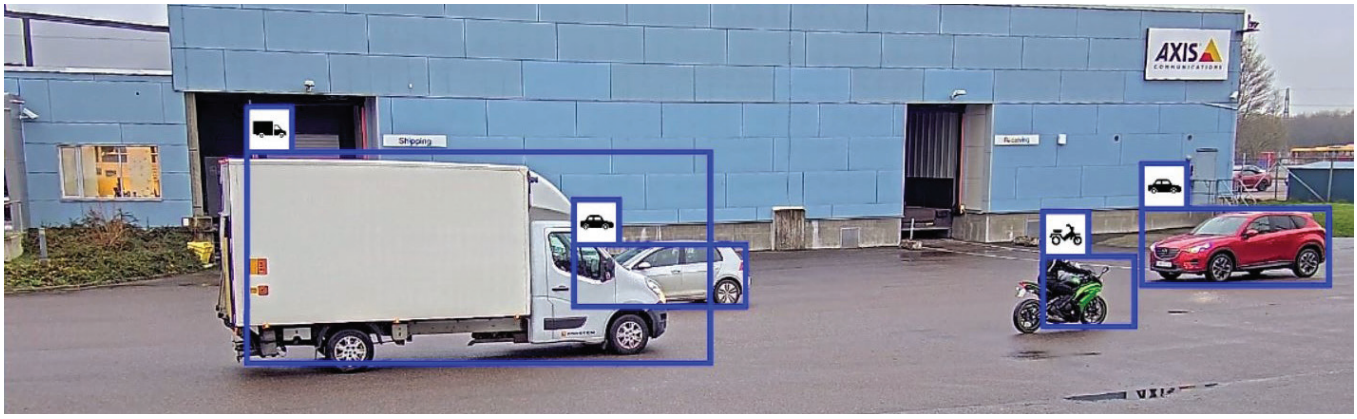
よりスマートで安全な世界を実現するイノベーション



変化する世界で信頼できるテクノロジー
セキュリティおよびビデオ監視のためのスケーラブルで統合が簡単なIPベースの製品とイノベーション。

システムオンチップ
効率的な画像処理と画像圧縮を実現するための専用CPUにより高画質・高性能と帯域の優れた使用効率を実現。IOT機器としての組み込みネットワークセキュリティとDLPU搭載にによる深層学習機能の提供。

AXIS Object Analytics



AXIS P1468-LE

AXIS P3268-LVE

AXIS Q1656-LE MKIII

AXIS D4100-E Network Strobe Siren

AXIS C1004-E Network Cabinet Speaker

Axisテクノロジーインテグレーションパートナープログラム詳細はこちら:
www.axis.com/ja-jp/partner/technology-integration-partner-program

アクシスコミュニケーションズ株式会社
事業開発本部　小桧山 淳一
junichi.kobiyama@axis.com
アクシスコミュニケーションズ株式会社 www.axis.com/ja-jp

校務のデジタル化でお悩みですか？

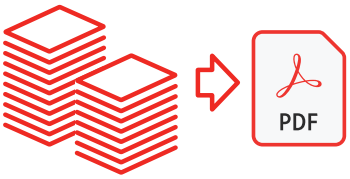
Adobe Acrobatで校務における課題を解決

教育のDX化が進む一方で、校務においては
依然多くの紙が使われており、それが文書業務の効率低下を招き、
またリモートワークの実施の妨げにもなっています。
校務のデジタル化、課題解決の第一歩として、ぜひAdobe Acrobatをお役立てください。

課題1 ペーパーレス

いまだに多く残る紙の書類が
デジタル化の妨げになっている…

**紙の書類を簡単にPDF化
内容の抽出や編集もOK**



- 学内の情報共有
- 連絡調整　など

課題2 文書の共有・署名

書類の回覧、確認、署名、回収に
時間がかかり、決裁や処理が遅れる…

**コメント機能や電子サイン機能で
稟議・契約・申請業務をデジタル化**

- 学内会計マネジメント
- 理事会承認　など

課題3 文書のセキュリティ

個人情報や機密情報をオンラインで
やりとりするのに不安がある…

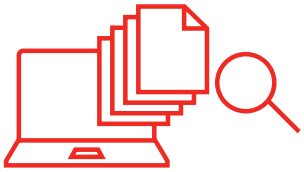
**ファイルの暗号化や墨消しなど
高度なセキュリティで文書を保護**

- 学籍管理
- 履歴書管理　など

課題4 文書の保管・検索

書類の保管場所にコストがかかり
必要な書類を探すのも大変…

**保管場所は不要！長期保存にも
最適で、検索性もアップ**



- 法定保存文書
- 人事記録
- 施設管理関係　など

Acrobatが校務にもたらすメリットについて、詳しい資料をご用意しました。
ダウンロードはこちらから https://adobe.ly/3fY5vzV

Adobe Document Cloud / Adobe Creative Cloud 教育機関向けについて詳しくは　アドビ教育

Adobe

働き方が変わった。
次は、
守り方を変える時。

コロナ禍を経て、人々の働く環境は一変しました。
リモートワークの浸透。在宅とオフィスを組み合わせた、
ハイブリッドなワークスタイルの定着。
街のあちこちにコワーキングスペースが生まれ、
ついには休暇先で働くワーケーションまで登場しました。
個人がパフォーマンスを発揮しやすい働き方を、
多様な選択肢の中から自由に選べる時代になりつつあります。
一方そのことで、いま組織を守るためのサイバーセキュリティが
急速に複雑化し、維持するための負荷が高まっています。
接続するネットワークが異なれば、適切なセキュリティも変わる。
またDXの推進やそれに伴うクラウド化などの影響で、
脅威に触れる可能性も、その種類も拡大しているからです。
そんな今こそ、組織の守り方にも、パラダイムシフトが必要。
だから、Trellix XDR。デバイスやネットワーク、
クラウドなど、さまざまなセンサーからデータを収集。
さらにAIや機械学習を駆使した分析により、
早く効率的な対応を可能にしていきます。
私たちTrellixは、この新しい時代の、
新しい組織の守り方に対応したソリューションで、
ビジネスとともに進化しつづける
「生きたセキュリティ」をご提供します。

Trellix

Living Security Now

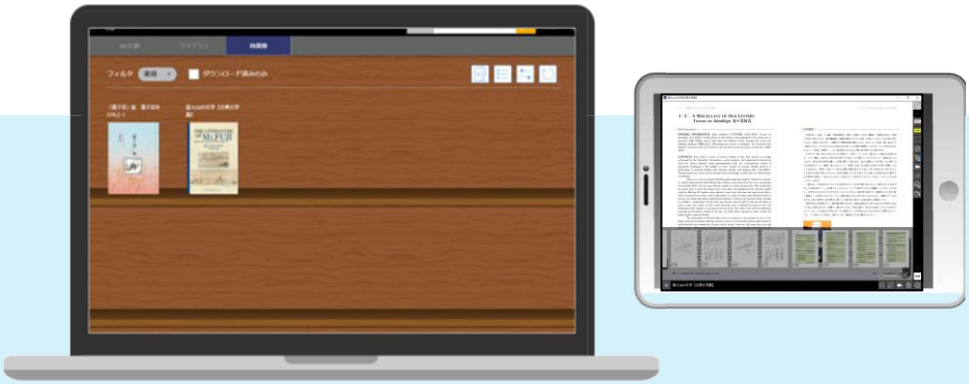
Trellix（トレリックス）は、マカフィーエンタープライズとファイア・アイ セキュリティの
統合により誕生した、XDRに注力するサイバーセキュリティの新ブランドです。

www.trellix.jp/xdr

高等教育機関様のDXに向けた課題解決をサポート！

電子教科書・教材配信ソリューション

高等教育機関での活用に役立つ機能を多数搭載。
学内システム等とも連携でき、学生の学びの質の向上に寄与します。



３つの特長

1 高等教育機関での学びに役立つ機能を搭載した電子教科書・教材ビューワー

- ✓ メモ・辞書検索・暗記ペン機能で復習がしやすい
- ✓ 教員作成の教材も同じ機能を利用可能

2 学内システムと連携させさらに利便性向上

- ✓ LMSや教務システムとの連携でより便利に活用可能
- ✓ 学内認証と連携し、学内のシステムと同一のID・PWで利用を実現

3 高品質なICT基盤を用いたクラウドサービス

- ✓ 学術情報ネットワーク（SINET）と接続した高セキュアかつ低遅延なクラウド基盤を利用

教員・学生ごとのメリット

教員

- ✓ 教科書選定、予習の指示等の授業準備を簡素化
- ✓ 著作権を保護しながら独自教材を活用
- ✓ 電子教科書の利用ログを活用し、学生への細やかなフォローを実現

学生

- ✓ 実習先や移動中でもデバイス１つで学習できる
- ✓ 教科書・教材・課外学習の情報までまとめて管理でき持ち運びが楽
- ✓ 教員から教科書上でポイントの共有を受け充実した予習・復習ができる

NTT西日本

審査　２２-７００-１

ネットアップの最新情報を提供中

cutout

Twitter:@NetApp_Japan　　Facebook:@NetApp.Japan
Qiita: https://qiita.com/organizations/NetAppJapan

ランサムウェア対策

データ活用・管理のネットアップだから提供できる対策をご紹介

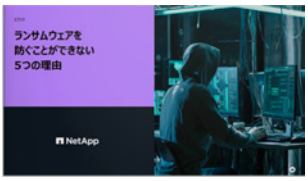
早速ためしてみた！ONTAP9.10.1のアンチランサムウェア機能　芝浦工業大学様

ネットアップで実現するセキュリティ対策

無料トライアル実施中【NetApp Cloud Insights】Cloud Secure説明&手順動画

その他、ランサムウェアに関連するセッション動画や設定動画など、多数掲載

ランサムウェアで防ぐことができない５つの理由



金融業界に迫る新たなサイバーセキュリティリスク防御から復旧まで
データ資産と顧客を護るランサムウェア対策

その他、多数のホワイトペーパーやブログを掲載

アンチランサムウェアワークショップ開催　ネットアップソリューションを実際にご体験ください！

様々なセキュリティ攻撃の脅威が高まっている中、ランサムウェアによる被害は業種/業界を問わず深刻です。この度、ランサムウェアの現状/対策を改めて確認し、それらを実現するネットアップソリューションを実際にご体験いただくアンチランサムウェアワークショップを開催いたします。ランサムウェア被害の対策を検討する機会としてぜひご活用ください。

タイトル	アンチランサムウェアワークショップ
開催期日	個別調整　(半日　or 2時間)
開催方法	オフライン開催　(ネットアップオフィス、イベント会場、貴社訪問)
対象者	お客様、ネットアップパートナー様
定員	15名 (最大)
費用	無償
主催	ネットアップ合同会社

実例にアンチランサムウェアワークショップを京都府舞鶴市様で開催した模様をブログにまとめています

ワークショップの内容は、相談して実施します。　興味がある方は。まず以下問い合わせより、お気軽にお問い合わせください。
その際、「**アンチランサムウェアワークショップについて」と必ず明記**してください。後日、担当より連絡します・

NetApp　　お問い合わせ　https://www.netapp.com/ja/forms/sales-contact/

Sateraito Office

サテライトオフィス・
Google Workspace for Education

100校
導入無償
キャンペーン
スタート！

全てのエディションで利用可能なサービス

Google Workspace for Education は、教育機関向けのGoogle Workspaceです！
全ての機能が無償で利用が可能です！

- Google Workspace の各種機能が無償で利用可能！
- データ容量無制限！
- Classroomが利用可能（企業版にはございません！）

教育現場での ご活用メリット

1. **「アクティブラーニング」** プレゼンテーション、オンライン英会話、共同編集など
2. **「反転授業」** 動画を使ったEラーニング
3. **「校務の効率化」** 資料は全てクラウドに!いつでも、どこでも同じ仕事環境

Chromebooks for Education(Chromebook活用)

- 10台でも10000台でもChromebookの管理が容易に！
- クラウド管理への登録(エンロール)は、たった2コマンドで完了！
- 面倒な設定は不要で、箱から出してすぐ使えます。
- クラウド管理コンソールから、端末の資産管理や状態管理が可能！
  (遠隔からのデバイス停止や制御が可能)
- 数100に及ぶ、ポリシーを簡単に一括で設定可能。
- データ保護やデバイスセキュリティーまでの
  エンタープライズレベルのセキュリティ
  (端末の遠隔制御、デバイスの制御が可能)
- Google の24時間サポート&OSの自動アップデートの
  制御を管理側から可能！

Chromebook端末 および、Chrome for Education（端末管理のライセンス）は、有償となります。

サテライトオフィス・アドオンのご紹介

シングルサインオン

Google Workspace をご利用になる学校(教師や生徒)に対して、ネットワークや端末による細かなアクセス制御や、パスワード強度、ログイン履歴などを簡単にかつ柔軟に設定、管理することができるサービスです。また、他システムへのシングルサインオンを可能にします。

先生/生徒画面共有機能

先生と生徒の画面を共有して先生側で簡単に管理ができるサービスです。Classroomと連携しておりますので学校以外にも、Google Workspaceを導入している企業様の社員研修などにも利用可能です。
Chrome拡張機能として提供しておりますのでChrome Enterprise Upgradeで自動インストールや管理が可能です。

Google Cloud Premier Partner

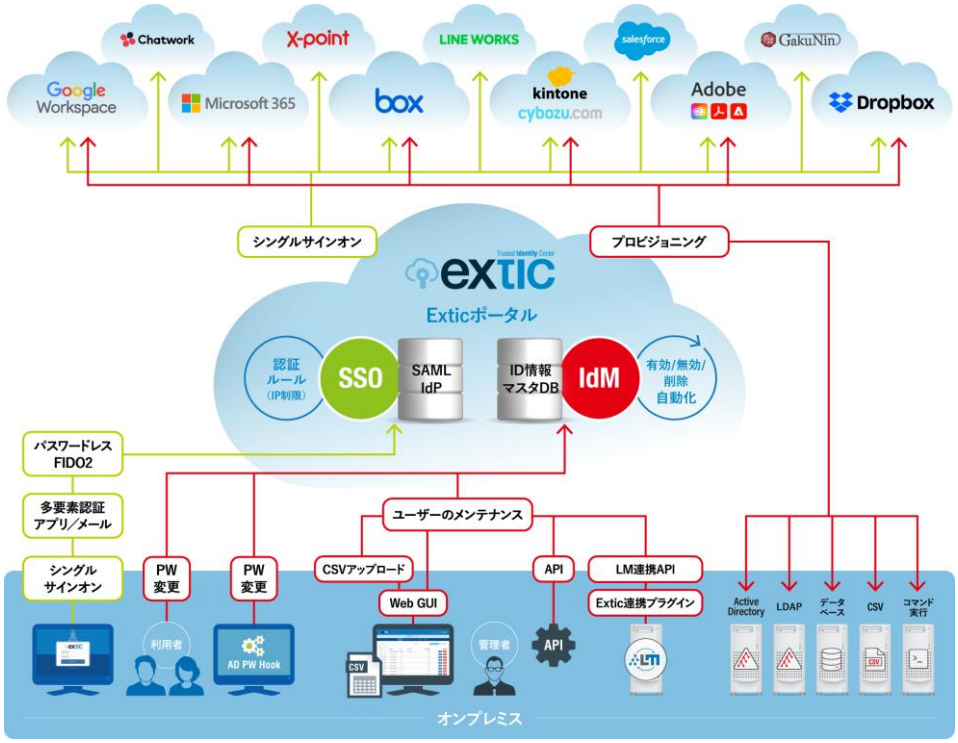
Google Partner Award

Google Workspace for Education の事ならサテライトオフィス
https://www.sateraito.jp
050-5835-0396 contact-info@sateraito.co.jp

学認だけを安価に利用できるコースを新設いたしました

学認コース 2022.8 Release

※学認参加用のIdPとしてExticを利用することが可能です。
実際に導入いただいた大学様の事例を詳しくご案内しておりますので、セミナーへのご参加及び展示ブースへ是非お越しください！



認証機能

- SAML2.0 シングルサインオン
- 多要素認証
- IPアドレス制限
- FIDO2 パスワードレス認証

ID管理機能

- クラウドへのユーザー連携
- オンプレミスへのユーザー連携
- IDライフサイクル管理
- Microsoft365、cybozu.com ライセンス管理

運用管理機能

- 操作が簡単なGUI
- 拡張自由なユーザー属性
- ID状態確認
- ログ管理
- SSO接続用証明書管理

お問い合わせ先

EXGEN NETWORKS
USE INNOVATIVE TECHNOLOGY.

エクスジェン・ネットワークス株式会社

〒101-0052　東京都千代田区神田小川町1-11
千代田小川町クロスタ11F　TEL 03-3518-8055
E-Mail　idminfo@exen.co.jp　https://www.exgen.co.jp/

Extic サービス情報はこちら

NTT東日本

NTT東日本は戦略的なICTの利活用により大学全体のDX推進をお手伝いします。

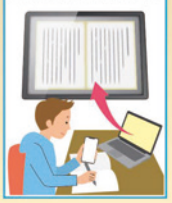
学生への新たな学修環境の提供をサポート

LMS（学習管理システム）／eポートフォリオ
学内外に関わらず、学修活動を一元管理

遠隔授業環境整備
Web会議ツールを用いた遠隔授業環境や、ハイブリッド型授業のための教室環境整備を実現

講義収録・配信システム
学内外、およびBYODなど多様な学修環境に対応したオンデマンド型の講義環境を実現

電子教科書・教材配信
拡大機能や検索機能、音声や動画の再生など、電子ならではの新たな付加価値機能を提供



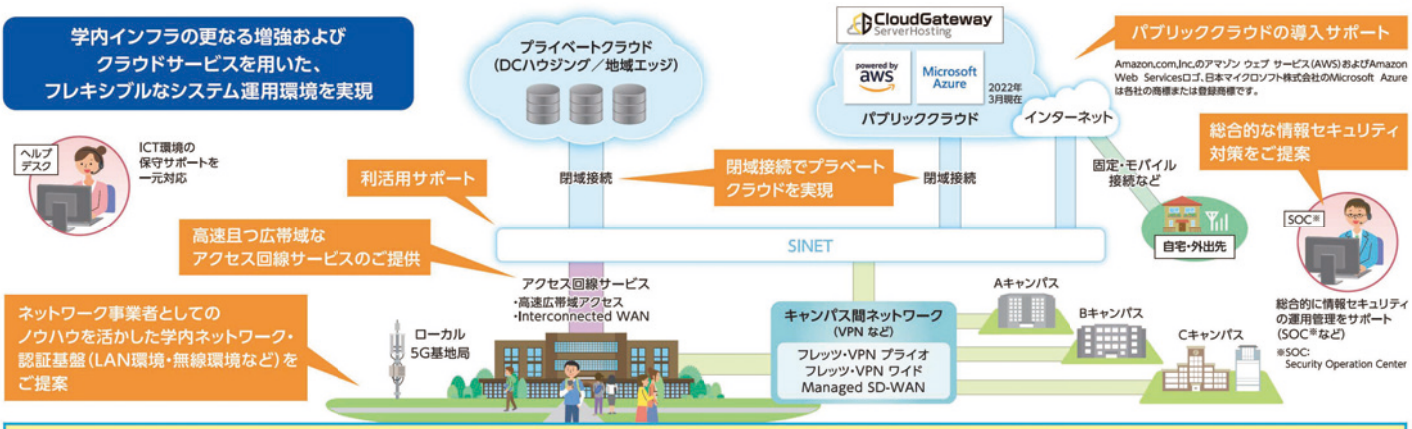
大学の経営改革および更なる効率化に寄与するソリューションを提供

大学IR
学務システムをはじめ、大学内に蓄積されたデータを活用した大学IR（教育研究、経営）の推進をサポート

テレワーク
教職員のさまざまな働き方に柔軟に対応したテレワーク環境を実現

証明書発行サービス
身近なコンビニで各種証明書を印刷発行、在学生だけでなく、卒業生の利便性を向上

学内インフラの更なる増強およびクラウドサービスを用いた、フレキシブルなシステム運用環境を実現



- キャンパスネットワークの更なる高速化、高度化（ローカル5G、次世代Wi-Fiへの対応など）を推進
- 一人1台端末に向け、BYODなど新たな学修環境の対応をサポート

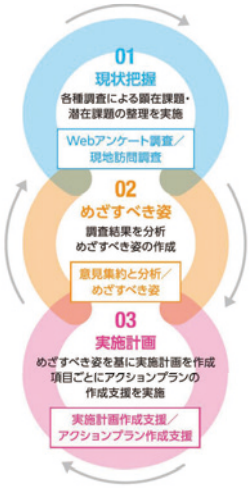
豊富な経験とノウハウで理想的な教育ICT環境構築をサポートします。

STEP 1
コンサルティング

さまざまなご要望や課題を整理

貴学のめざすべき姿を、ICTの側面からお手伝いします。インフラ基盤からソフトウェアまでをトータルソリューションでご提供します。

プランニング
地域の教育ビジョンや学校経営課題をベースにICT環境整備のめざすべき姿を描きます。



STEP 2
提　案

豊富な経験とノウハウを活かした最適な提案

メーカーに捉われずお客さまのご要望に合った製品を選定し、システムを支えるインフラと併せ、貴学に適した環境をご提案します。

提案の最適化
自社商材も含め、さまざまな製品を比較・検討し、組み合わせることでお客さまに適した提案を行います。

メーカーA社	
A社の運用サポート	A社のソフトウェア
A社のハードウェア	A社のインフラ基盤

メーカーの製品戦略などにあわせるため選択肢が限られ、「めざすべき姿」にならない場合も。

メーカーに捉われずお客さまにとって最適な製品を組み合わせることで「めざすべき姿」の実現が見込めます。

STEP 3
構　築

お客さま要件を基に、ICT環境を構築

夏休みなどの学校行事を考慮した構築スケジューリング、当社が一元窓口となる構築体制を確立し、ICT環境を円滑に構築します。

構築現場との調整・対応（例）
構築現場とのスケジュール調整や工事説明など、調整・対応を一元的に行います。

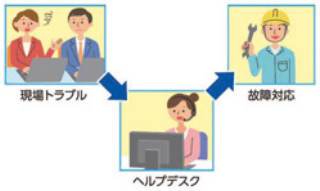
徹底したプロセス管理
品質、情報セキュリティ、環境などマネジメントシステム規格の資格取得・維持に努めております。

STEP 4
運用・保守

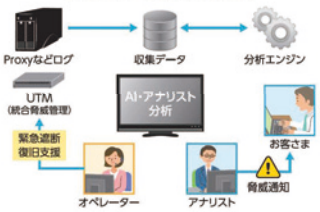
しっかりとしたサポートで安心・安全

現場でのトラブル対応や情報セキュリティ対策に対し、保守の一元窓口や情報セキュリティ監視サービスで安心・安全にサポートします。

保守の一元サポート
トラブル受付・故障箇所の特定・故障手配を一元的に受付し、システム管理者の負担を軽減します。



情報セキュリティ監視
情報セキュリティ脅威から高度オペレーションのプロ組織が一元的に対応します。



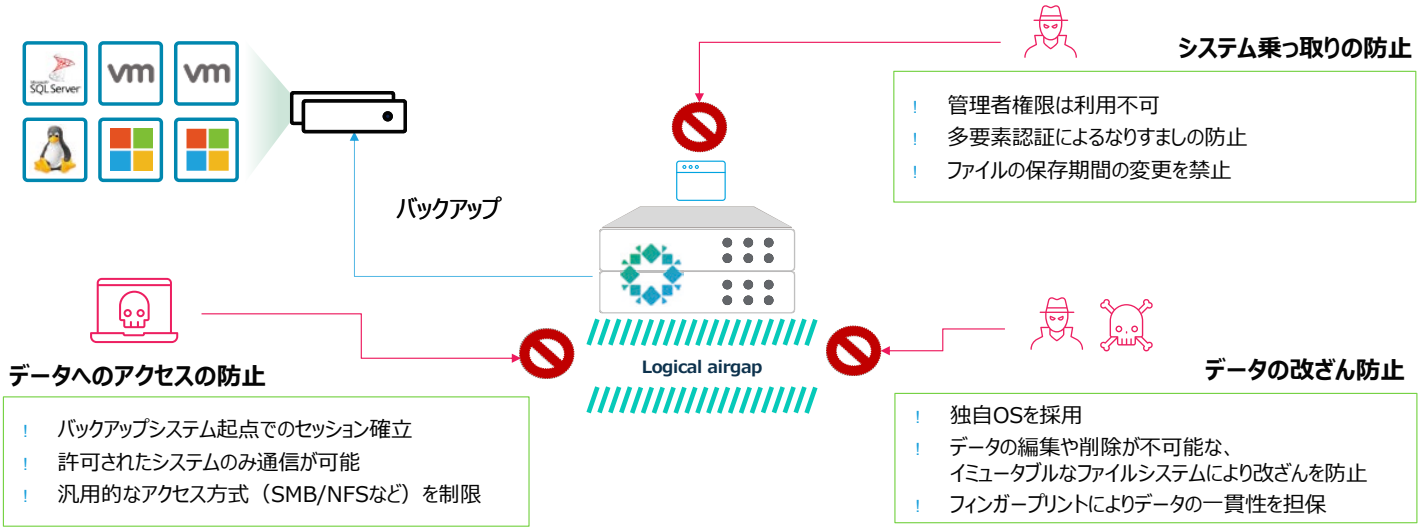
東日本電信電話株式会社　〒163-8019　東京都新宿区西新宿3-19-2　https://business.ntt-east.co.jp

K22-02545【2212-2312】

rubrik

データ レジリエンス：バックアップシステム/データのセキュリティ対策

ランサムウェアの攻撃から、バックアップシステム/データを保護

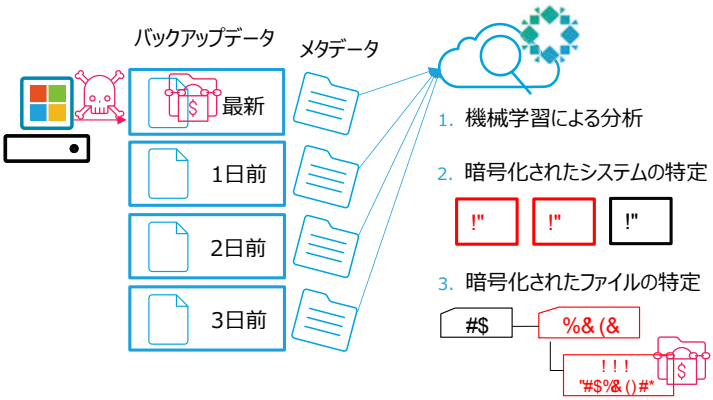


データ オブザーバビリティ：ランサムウェア感染の分析と検知

2つの方法でバックアップデータを分析し、感染したシステムの検出と影響範囲を特定

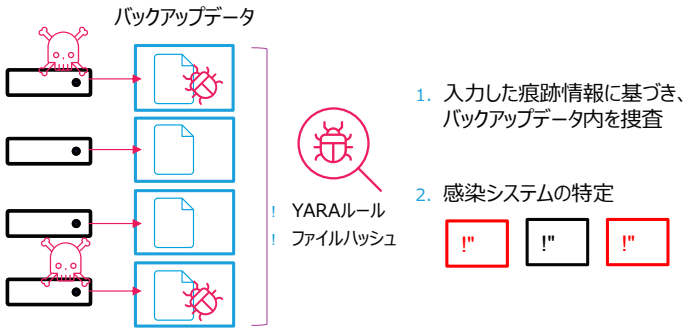
ふるまい検知 (Anomaly Detection)

メタデータを機械学習で分析し、ランサムウェアにより暗号化されたシステム / ファイルを検出



脅威ハンティング（Threat Hunting）

入力されたYARAルールなどの痕跡情報とバックアップデータを照合し、ランサムウェアに感染したシステムを検出



Rubrik（ルーブリック）について

サイバーセキュリティ企業である Rubrik は、The Zero Trust Data Security(TM) カンパニーの先駆者です。世界中の企業が、サイバー攻撃、悪意のあるインサイダー、および業務の中断に対するビジネスの回復力において、Rubrik に注目しています。機械学習を活用した Rubrik Security Cloud は、オンプレミス、クラウド、SaaS アプリケーション全体のデータを安全に保護。サイバー攻撃からデータを自動的に守り、データリスクを継続的に監視し、データとアプリケーションを迅速に復旧します。

ウェブサイト：https://www.rubrik.com/ja　もしくは 「ルーブリック　データセキュリティ」で検索

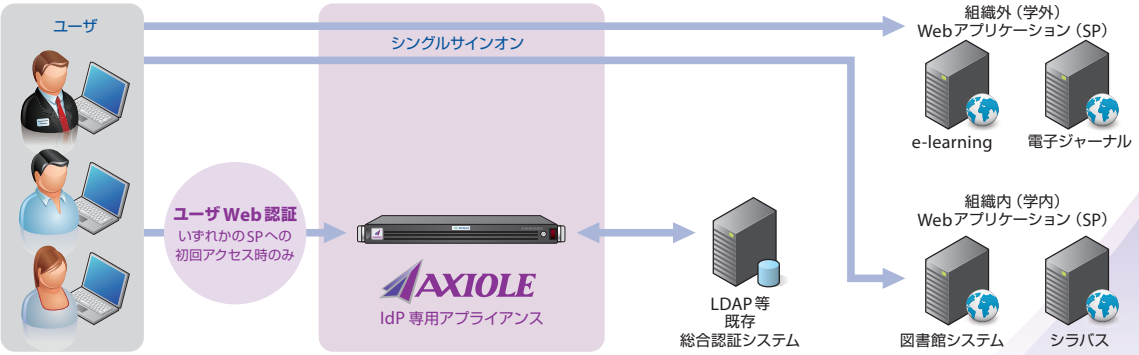
Shibboleth IdP 専用アプライアンス

AXIOLE × Shibboleth

IdP V4対応

多要素認証機能（OTP他）実装

学内認証基盤に「AXIOLE」を使えば
学術認証フェデレーションへ
スピーディに参加可能



学術認証フェデレーションを構築済み専用アプライアンスで提供

GakuNin Ready!

LDAPベースの認証アプライアンスサーバAXIOLEの「AXIOLE IdP専用アプライアンス」を導入することで、Shibboleth IdPを構築済みの機能として手軽に導入できます。全国の大学・高専等と国立情報学研究所が連携して運用する「学術認証フェデレーション（学認：GakuNin）」の相互認証連携システムであるShibboleth IdPをオールインワンのアプライアンス形態で導入でき、すぐにGakuNinに参加可能です。

GakuNinとは

学術認証フェデレーションとは、学術e-リソースを利用する大学、学術e-リソースを提供する機関・出版社等から構成された連合体です。各機関はフェデレーションが定めたポリシーに基づき、相互に認証連携を行ないます。認証連携により学内外のシステムへのシングルサインオンを実現、電子ジャーナルへのアクセスや他大学でのネットワーク利用を可能にします。

導入、設定が難しいオープンソースの力を手軽に活用できる魅力

Shibbolethシリーズは、教育機関向けに開発されているオープンソースミドルウェアで、シングルサインオンや属性交換、アクセス制限などを可能にするシステムです。無償で利用でき、ユーザにより進化を続けるオープンソースという形態は、学術機関が利用するシステムとして適していますが、パッケージソフトウェアに比べて導入や管理の負荷が大きいという課題も持ち合わせています。「AXIOLE IdP専用アプライアンス」はそうした導入・運用の負荷を大きく削減し、手軽に標準的な認証環境を構築できます。

AXIOLE IdP専用アプライアンスは、AXIOLEのLDAP機能を利用するのではなく、既存のLDAP等の認証基盤に外付けでIdP機能を追加可能な専用アプライアンスです。IdPの設定および連携の設定を行うだけで、Shibboleth IdP機能を簡単にアドオン可能です。現行のシステムはそのままで、短期間でのGakuNin参加を実現します。

¥ Price

AXIOLE IdP 専用アプライアンス（標準販売価格）	2,000,000円（税別）本体ライセンス価格※2

※1：外部ユーザ認証DBのアカウント数に依存しない、1年間ライセンス料込みの価格です。
※2：2年目以降のライセンス更新料は、年額200,000円です。

仮想版
クラウド版（AWS・Azure）
提供中

NetSpring®

株式会社ネットスプリング
〒108-0073 東京都港区三田3-9-7 三田JEBL 8F
TEL：03-5440-7337　E-mail：info@netspring.co.jp
URL：https://www.netspring.co.jp/

www.axiole.jp

もくじ

年次大会開催にあたって …… 24
実行委員長あいさつ …… 25
2022 年度年次大会実行体制 …… 26
会場案内図 …… 28
セッション一覧 …… 31
全体会・イベント …… 35
一般セッション …… 39
　口頭発表 …… 40
　ポスター発表 …… 48
企画セッション …… 51
ランンチョンセミナー・出展者セミナー …… 63
展示 …… 73

年次大会開催にあたって

一般社団法人 大学 ICT 推進協議会 会長
深 澤 良 彰

大学 ICT 推進協議会（AXIES）2022 年度年次大会の開催に当たり、ご挨拶をさせていただきます。

現代の教育機関を考えてみますと、その情報交換の基礎をなす情報基盤に対して、教育支援システム、研究支援システム、事務支援システム、図書館システムなど多くのシステムが結合され、これらのシステムなしには、教育機関は成立しないと言っても言い過ぎではありません。また、これらからの情報をもとにした経営支援システム、卒業生システムなど、新たに接続されてくるシステムも数多くあります。しかも、その進歩は大きく、次から次へとシステムの更新に迫られているのが現状となっています。

このような現状に対して、2011 年 2 月、一般社団法人大学 ICT 推進協議会（AXIES：Academic eXchange for Information Environment and Strategy）が設立されました。AXIES は、高等教育機関および学術研究機関における ICT を利用した教育・研究・経営等の高度化を図り、我が国の教育、学術研究、文化および産業の発展に寄与することを目的としています。本年 11 月 1 日現在で、国公私立大学や共同研究機関など 155 が正会員として、また、産業界からは 91 団体が賛助会員としてご参加いただいています。2018 年 10 月の時点では、正会員 110 機関、賛助会員 62 団体であったことからしても、この AXIES が、我が国で高く評価されてきていることが見てとれます。

私が AXIES の会長を仰せつかったのは 2019 年 5 月でした。同年 12 月に博多で開催された年次大会は従来通りの開催ができました。しかし、その直後、2020 年 2 月に、クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号の乗客に多数の新型コロナウイルス COVID-19 感染者が見つかり、いわゆるウィズコロナ時代へと突入しました。この影響を受けて、大阪での 2020 年年次大会は完全バーチャル開催、続く、東京での 2021 年年次大会はハイブリッド開催となり、今回の 2022 年年次大会もハイブリッド開催を予定しています。2023 年 5 月に会長退任を予定している私にとっては、年次大会は、まさにコロナとの闘いでした。

同じ状況は、各高等教育機関でも起きておりました。各教育機関において、曲りなりにも教育、研究を継続できたということにおいて、各大学の IT 部門は八面六臂の活躍をしてきました。その下支えとして、AXIES が果たした役割りは大きいと確信しています。

第 12 回年次大会は、2022 年 12 月 13 日からの 3 日間、仙台国際センターで開催することとさせていただきました。ICT を用いて、高等教育・学術研究機関の教育・研究・経営などの高度化やこれらの改革に携わっておられる CIO などの法人役員、教員、職員など幅広い皆様にご参加いただき、教育・研究の支援技術についてはもちろんのこと、教育や研究の方法論、大学経営のありかた、ICT 技術の安全・安心の確保、政府の関連施策の動向、高等教育機関の社会的役割など、幅広い議論が行われる場となることを祈念しております。

最後に、本年次大会の開催にご尽力いただいている東北大学を中心とする皆様、および、日頃から本協議会の運営にご支援いただいている関係者の皆様各位に感謝の意を表したいと思います。

実行委員長あいさつ

AXIES2022 実行委員長
早川 美徳

DX 仙臺の陣が始まります！

西暦 2022 年は AXIES にとって、あるいはもっと大風呂敷を広げれば人類史にとっても重要な転換点になるような気がしてなりません。新型コロナウィルスとの闘いがいよいよ最終的な局面にさしかかりつつある中で、政治や経済は大きな地殻変動の前兆かのように不安定な様相を呈しています。気候変動対策など、持続性のあるシステムを実現するために我々に残された時間は、いよいよ現世代の余命程度以下になっているようです。まさに「シン・セカイ」を迎えようとしているこの時期に、大学 ICT 推進協議会の年次大会を私の地元である仙台で開催できることに、ある種の感慨を覚えずにはいられません。

現在の仙台の基礎を築いた戦国武将である伊達政宗を知らない方はいないでしょう。AXIES2022 in Sendai の標語 “DX up to DATE” の DATE は伊達に引っ掛けたものと気付かれた方も多いと思います。政宗によって仙台が開府されたころ、現在は穀倉地帯となっている仙台平野や宮城県北部の様子は現在とはかなり違っていたようです。北上川を代表とする大河は暴れ放題で、低湿地の原野が広がっていたようです。政宗はまだ若かった川村孫兵衛を登用して、用水の整備や北上川の付替えなど、当時としては大規模な事業を推し進め、耕作地の拡大や水運路の建設など、21 世紀の現在にあっても我々が大きくその恩恵に浴している生産基盤と社会インフラを整備しました。尤も、当時の藩の財政はそれほど潤沢ではなかったらしく、藩から支弁された予算では不足したため、川村孫兵衛が金策に奔走したといった逸話も残されています。

随分とローカルな話しのように感じられるかもしれませんが、こうした名も無き偉人達による変革が積み重ねられて現在の我々が在ることを忘れてはならないと思います。DX は、その全てでは無いにしても、我々が抱える課題の解決にとって不可避な過程であることは言を待ちません。それぞれの専門領野や部署で、AXIES2022 in Sendai に集う皆様が ICT の川村孫兵衛（あるいは伊達政宗？）として活躍され、この大会を契機に、さらに DX が加速されるよう願っています。

年次大会の開催にあたり、AXIES 会長の深澤先生を始めとする役員の皆様、部会の先生方、AXIES 事務局、パートナー企業の皆様には様々な形でご支援を賜りました。また、本大会の成功に向けて献身的に働いてくださった情報部を始めとする東北大学の皆様にも、この場を借りてお礼申し上げます。

2022 年度年次大会実行体制

実行委員会

大会委員長	青木　孝文（東北大学理事・副学長 / データシナジー創生機構長）
実行委員長	早川　美徳（東北大学データ駆動科学・AI 教育研究センター長 教授）
副実行委員長（現地総務総括）	曽根　秀昭（東北大学データシナジー創生機構 特任教授）
プログラム委員長	伊藤　彰則（東北大学データシナジー創生機構 副機構長 教授）
プログラム副委員長	磯邉　秀司（東北大学データ駆動科学・AI 教育研究センター 准教授）
企業展示総括	菅沼　拓夫（東北大学サイバーサイエンスセンター長 教授）
	折内　新司（東北大学データシナジー創生機構 特任准教授）
	小野寺　司（東北大学情報部デジタル変革推進課 特任准教授）
Web 広報総括	杉田　典大（東北大学サイバーサイエンスセンター 教授）
	小野寺紘平（東北大学情報部デジタル変革推進課）
	鈴木　翔太（東北大学情報部デジタル変革推進課）
ネットワーク担当	中村　隆喜（東北大学サイバーサイエンスセンター 教授）
	水木　敬明（東北大学サイバーサイエンスセンター 准教授）
	佐藤　信夫（東北大学データシナジー創生機構 特任准教授）
	七尾　晶士（東北大学情報部情報基盤課）
現地総務担当	滝沢　寛之（東北大学サイバーサイエンスセンター 教授）
総務担当	菊地　茂樹（東北大学情報部デジタル変革推進課長）
	友兼　　恵（東北大学情報部デジタル変革推進課）
	五十嵐帆名（東北大学情報部デジタル変革推進課）
財務担当	加茂　博史（東北大学情報部デジタル変革推進課）
AXIES 事務局責任者	川内　　享（大学 ICT 推進協議会事務局）
協力委託会社	有限会社セクレタリアット
	株式会社イーサイド

プログラム委員会

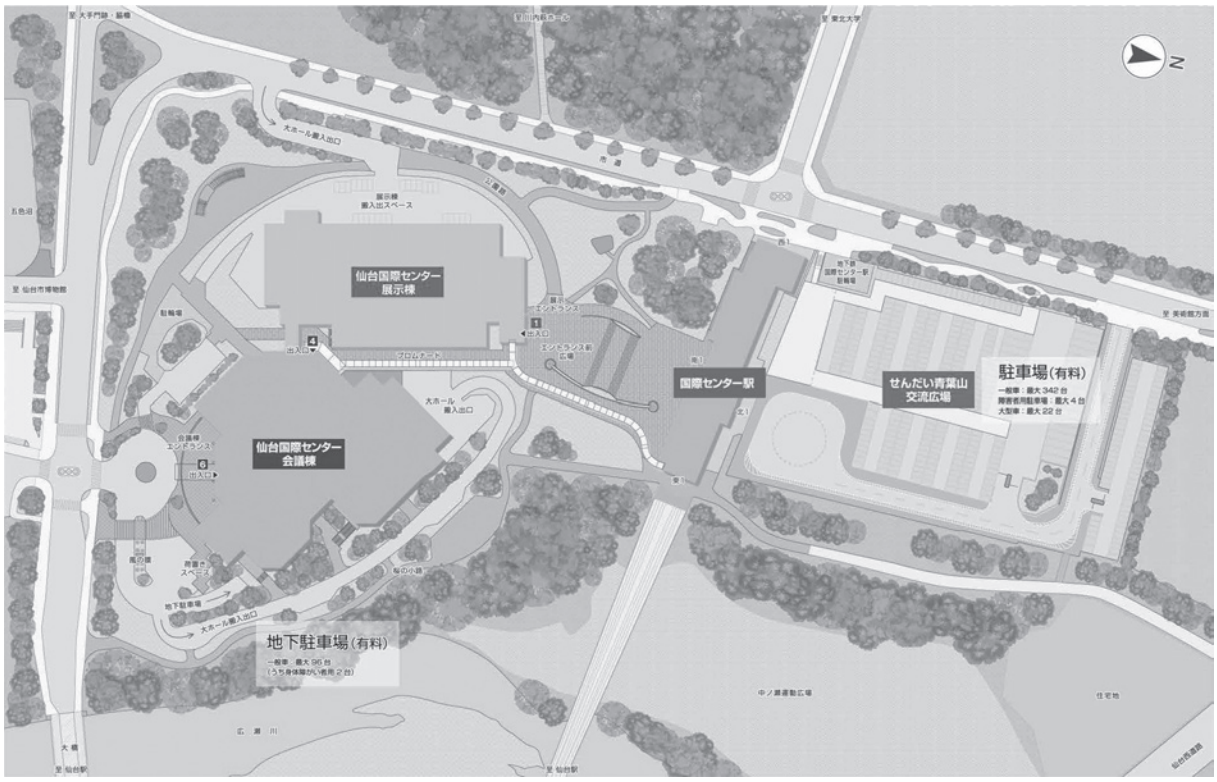
委員長	伊藤　彰則　（東北大学）
副委員長	砂原　秀樹　（慶應義塾大学）
	磯邉　秀司　（東北大学）
委員	岡田　義広　（九州大学）IT ベンチマーキング部会
	和田　智仁　（鹿屋体育大学）情報教育部会
	大西　淑雅　（九州工業大学）オープンソース技術部会
	畠山　　久　（東京工業大学）オープンソース技術部会
	山田　恒夫　（放送大学）学術・教育コンテンツ共有流通部会
	丹羽　量久　（長崎大学）ソフトウェアライセンス部会
	清水さや子　（国立情報学研究所）認証基盤部会
	渡邉　英伸　（広島大学）クラウド部会
	平岡　斉士　（熊本大学）ICT 利活用調査部会
	上田　　浩　（法政大学）教育技術開発部会
	武田　考正　（株式会社内田洋行）教育技術開発部会
	村瀬　　勉　（名古屋大学）高品質・セキュリティ ICT 部会
	松原　茂樹　（名古屋大学）研究データマネジメント部会
	高松　邦彦　（東京工業大学）ORCID 部会
	森村　吉貴　（京都大学）ユーザーコミュニケーション部会

会場案内図

仙台国際センター（ハイブリッド開催）

〒980-0856　宮城県仙台市青葉区青葉山無番地

仙台国際センター敷地全体図



フロアマップ

会場のネットワーク（無線 LAN）

会場内では仙台国際センターの無料 WiFi を提供しています。

※ SSID、パスワードは会場にて別途通知致します。

また、eduroam/cityroam でのインターネットアクセスも提供しております。

memo

セッション一覧

2022年12月13日（火）

		午前1	午前2	昼	午後1	午後2	午後3
		9:00〜10:30	10:45〜12:15	12:30〜13:30	13:45〜15:15	15:30〜17:00	17:15〜18:00
展示会場 ポスターコーナー	展示棟・ 展示室2・3			12：00〜18：00 展示・ポスター掲示		13PM2P［一般］ **ポスターセッション**	**オープニングギャザリング**
A会場	展示棟・ 会議室1	13AM1A［企画］ **認証基盤部会** 教育研究機関におけるオンラインによる本人確認と認証機能強化の実現に向けて	13AM2A［企画］ **教育技術開発部会** 教室の未来像を考える -- 次世代型教室DaaS型PC教室、VR/メタバース演習室		13PM1A［企画］ **オープンソース技術部会** Jupyter等の環境を用いたプログラミング教育支援の現状		
B会場	展示棟・ 会議室2	13AM1B［企画］ **ORCID部会** 永続的研究者識別子ORCIDの現状と将来	13AM2B［企画］ **ITベンチマーキング部会** ITベンチマーキング調査事業中間報告		13：45〜15：00 13PM1B［一般］ **情報リテラシー教育**	15：30〜16：30 13PM2B［一般］ **オンラインとセキュリティ**	
C会場	展示棟・ 会議室3	9：00〜10：15 13AM1C［一般］ **デジタルトランスフォーメーション1**	13AM2C［一般］ **ICT教育活用**	13LB1C［ランチョン］ **ターンイットイン・ジャパン合同会社** 教育DXで実現する学習評価ワークフロー〜レポート課題の効果的なフィードバック&効率的なデジタル採点〜	13：45〜14：45 13PM1C［一般］ **情報基盤1**	15：30〜16：45 13PM2C［一般］ **情報基盤2**	
D会場	展示棟・ 会議室4	9：00〜10：15 13AM1D［一般］ **HPCテクノロジー1**	10：45〜12：00 13AM2D［一般］ **HPCテクノロジー2**	13LB1D［ランチョン］ **タニウム合同会社** 今そこにあるセキュリティリスクは見えていますか？IT資産の衛生管理サイバーハイジーンとは	13：45〜15：00 13PM1D［一般］ **HPCテクノロジー3**	13PM2D［一般］ **情報教育**	
E会場	会議棟・ 萩	13AM1E［企画］ **クラウド部会** クラウドファースト戦略からクラウドネイティブ戦略を見据えた人材育成の展望	13AM2E［企画］ **クラウド部会** クラウドネイティブ戦略を見据えたクラウド最適化ソリューション		13PM1E［企画］ **ユーザーコミュニケーション部会** 「理解されない」マニュアルからの脱却〜ユーザーとのコミュニケーションを向上するマニュアル・ウェブページのつくり方〜		
F会場	会議棟・ 橘		13AM2F［企画］ **実行委員会** 大学の事務用業務システムの現状	13LB1F［ランチョン］ **アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社** AWSで実現する研究・教育のデジタルトランスフォーメーション	13PM1F［企画］ **国際連携室** EDUCAUSE年次カンファレンス2022参加報告	13PM2F［企画］ **CIO部会** EDUCAUSE John O'Brien会長と語る大学ICTの将来像	

2022年12月14日（水）

		午前1	午前2	昼	午後1・午後2	午後3	夜間
		9:00〜10:30	10:45〜12:15	12:30〜13:30	13:45〜15:15・15:30〜16:15	16:30〜17:30	17:45〜19:00
大ホール	会議棟・大ホール				13：45〜16：05 全体会		
X会場	会議棟・桜						情報交換会
展示会場ポスターコーナー	展示棟・展示室2・3	9：00〜19：00 **展示・ポスター掲示**					
A会場	展示棟・会議室1	14AM1A［企画］ **情報教育部会** BYOD時代の情報教育環境を考える	14AM2A［企画］ **高品質・セキュリティICT部会** 大学でのローカル5Gの現状：導入と性能チューニング			14PM3A［出展］ **日経パソコンEdu／日経BP** AI・データサイエンス教育の全学導入に備える	
B会場	展示棟・会議室2	14AM1B［一般］ **デジタルトランスフォーメーション2**	10：45〜12：00 14AM2B［一般］ **教育学習支援システム1**	14LB1B［ランチョン］ **株式会社内田洋行** 学生の個人持ちPCを有効活用するための情報・環境づくりのご提案 〜BYODに対応する各種システムや事例のご紹介〜		14PM3B［出展］ **キヤノンITソリューションズ株式会社** 進化を続ける「inCampusシリーズ」で共創し実現を目指す教育DXの姿	
C会場	展示棟・会議室3	9：00〜10：00 14AM1C［出展］ **スマカン株式会社** 総合大学導入事例に学ぶ人事トータルシステムの効用	10：45〜11：45 14AM2C［出展］ **エクスジェン・ネットワークス株式会社** IDaaS「Extic」へ全面移行！東北学院大学様の取組みとは／散在する学内IDを統合管理する新クラウドサービスのご紹介	14LB1C［ランチョン］ **ユニアデックス株式会社** 国立大学法人東京農工大学　進化を続ける学内情報基盤！仮想デスクトップサービスと認証をクラウドで統合管理するIDaaS導入の事例紹介		14PM3C［出展］ **ジェイズ・コミュニケーション株式会社** クラウドネイティブ時代のテレワークとFIDO2による認証強化	
D会場	展示棟・会議室4	9：00〜10：00 14AM1D［出展］ **株式会社クライム** 迫りくるランサムウェアの魔の手！感染を防ぐデータ保護戦略とは	10：45〜11：45 14AM2D［出展］ **KELA株式会社** 攻撃者よりも優位な立場で組織を守るために	14LB1D［ランチョン］ **株式会社ソースポッド** 2022年度版、全国791大学の最新アカウント漏洩調査レポートから読み解く、不正アクセス・情報漏洩の実態と対策		14PM3D［出展］ **アクシスコミュニケーションズ株式会社** Axisシステムオンチップ（SoC）/DLPUによるネットワークのエッジにおけるディープラーニング分析の新たな時代の到来	
E会場	会議棟・萩	14AM1E［出展］ **国立情報学研究所** SINET6とデータ収集・解析基盤	14AM2E［出展］ **東北大学大学院情報科学研究科 実践的情報教育推進室** 実践的セキュリティ人材育成に関する取り組み	14LB1E［ランチョン］ **MEGAZONE株式会社** 大学・研究機関におけるAWS活用事例 〜クラウドの調達方法から活用事例までをご紹介〜		14PM3E［出展］ **アカマイ・テクノロジーズ合同会社** 大学で実績多数のゼロトラスト・セキュリティ -フィッシング・ランサムウェア・在宅勤務対策の事例紹介-	
F会場	会議棟・橘	9：00〜10：00 14AM1F［出展］ **グーグル・クラウド・ジャパン合同会社** Google Cloudで実現する大学業務改革とDX	10：45〜11：45 14AM2F［出展］ **株式会社セールスフォース・ジャパン** 世界の潮流 Salesforce for Education 〜 CRMで生涯にわたる学習者と教育機関とのエンゲージメントを支援	14LB1F［ランチョン］ **日本マイクロソフト株式会社** 大学DXを成功させるために 〜唯一無二の大学DXを大学内外の組織と階層を超えて、かつセキュアに実現しよう		14PM3F［出展］ **アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社** Amazonビジネスによる新しい購買システム	

2022年12月15日（木）

		午前1	午前2	昼	午後1
		9:00〜10:30	10:45〜12:15	12:30〜13:30	13:45〜15:15
展示会場ポスターコーナー	展示棟・展示室2・3	9：00〜15：00 **展示・ポスター掲示**			
A会場	展示棟・会議室1	15AM1A［企画］ **ソフトウェアライセンス部会** ハンズオンパッケージの教材化と授業への活用	15AM2A［企画］ **学術・教育コンテンツ共有流通部会（CSD）** 教育コンテンツ共有の課題と将来：OERと授業目的公衆送信補償金制度		15PM1A［企画］ **ICT利活用調査部会** 高等教育機関におけるICT利活用の現状と展望 〜2020年度調査の分析結果から〜
B会場	展示棟・会議室2	15AM1B［一般］ **教育学習支援システム2**	15AM2B［企画］ **AXIES会長企画セッション** 賛助会員がAXIESに期待するもの 〜会長と語ろう！〜		15PM1B［企画］ **オープンソース技術部会** Shedding Light on Shadow: Global Open Source and Open Standards to advance teaching and learning
C会場	展示棟・会議室3	9：00〜10：00 15AM1C［出展］ **キーウェアソリューションズ株式会社 東北支店** 現場でできる大学DX	10：45〜11：45 15AM2C［出展］ **Elasticsearch株式会社** サーチ・セキュリティ・オブザーバビリティ、高速でスケーラブルな検索エンジンElasticsearchの活用法	15LB1C［ランチョン］ **Rubrik Japan** Rubrikが提供する次世代データセキュリティ 〜オンプレ、クラウド、MS365でも〜	13：45〜14：15 15PM1C［出展］ **CTC** デジタル資格証明に関する標準化動向とID基盤サービス「SELMID」
D会場	展示棟・会議室4	15AM1D［一般］ **オンライン教育**	10：45〜11：45 15AM2D［出展］ **株式会社PKSHA Workplace** AIチャットボットを活用した大学DXについて 〜成功事例から見る学生サービス向上とデータ活用〜	15LB1D［ランチョン］ **株式会社映像センター** 講義動画収録／配信・視聴／クラウド型　総合ビデオプラットフォーム「Panopto（パノプト）」の活用方法	13：45〜14：15 15PM1D［出展］ **ワールドビジネスセンター株式会社** あらゆる脅威から大学を守る自己学習型AI
E会場	会議棟・萩	15AM1E［企画］ **研究データマネジメント部会** 大学における研究データガバナンスを考える	15AM2E［企画］ **研究データマネジメント部会** 大学における研究データの利活用を支える最先端ストレージソリューション	15LB1E［ランチョン］ **ジュニパーネットワークス株式会社** 国内大学の事例をご紹介！大学ネットワークの共通課題を知り、Mist AIOpsによるスマートな解決法を学ぶ60分	13：45〜14：15 15PM1E［出展］ **パナソニック コネクト株式会社** 顔認証などセンシングを使ったソリューションとオンデマンド配信ツールPanoptoで教育現場のDXをバックアップ
F会場	会議棟・橘	9：00〜10：00 15AM1F［出展］ **日本オラクル株式会社** 【第4のクラウドサービス】が凄い!?今、注目のOCIとは	10：45〜11：45 15AM2F［出展］ **シスコシステムズ合同会社** あらゆるDXの根底に共通してある「コラボレーション」。Ciscoが大学様と描くその未来とは？	15LB1F［ランチョン］ **グーグル・クラウド・ジャパン合同会社** Google Cloudが推進する最新のAIソリューションを活用した研究DX	13：45〜14：15 15PM1F［出展］ **日本電気株式会社** 教育デジタルIDが変革する大学のありかた

全体会・イベント

全体会

日時：2022 年 12 月 14 日（水）13：45 ～ 16：05
場所：仙台国際センター（会議棟・大ホール）

1. **会長挨拶**
   深澤 良彰（大学 ICT 推進協議会会長 / 早稲田大学教授）

2. **来賓挨拶**
   鈴木 顕 様（文部科学省高等教育局専門教育課企画官）

3. **大学 ICT 推進協議会の概要紹介**
   美濃 導彦（大学 ICT 推進協議会副会長 / 理化学研究所）

4. **基調講演 1**
   タイトル：Leading What's Next
   講演者：John O'Brien 氏（EDUCAUSE President & CEO）

講演概要：
While the pandemic has stress-tested the important work of higher education, it has also brought about tectonic changes that technology leaders across campus must understand. EDUCAUSE president John O'Brien will share what he and EDUCAUSE research suggest leaders need to know as they think about what's next. In many ways, times are challenging; in many other ways we are experiencing emerging opportunities for positive change in spite of the continuing challenges over the last few years.

5. **2021 年度年次大会論文賞等の表彰**

6. **基調講演 2**
   タイトル：東北大学における業務の DX 推進
   講演者：藤本 一之 氏（東北大学情報部デジタル変革推進課 特命課長）

講演概要：
新型コロナウイルス感染症が大学に及ぼした影響は多岐かつ広範にわたります。大学では感染防止やオンライン授業の実践などに万全の対応をとることはもとより、職員の業務の在り方も、社会のデジタル化の進展に対応して大きく変わっていかざるを得ませんでした。2020 年 6 月の「オンライン事務化宣言」発表から始まり、これまで約 2 年間にわたってアジャイルかつスピーディーに推進してきた東北大学の業務の DX を紹介いたします。

7. **2023 年度年次大会のご案内**
   森 健策 様（名古屋大学情報基盤センター長・教授）

2021 年度年次大会論文賞及びポスター賞

論文賞

【最優秀論文賞】
題目：大阪大学のデータ集約基盤 ONION
著者：伊達 進（大阪大学サイバーメディアセンター）、寺前 勇希（大阪大学）、勝浦 裕貴（大阪大学）、木越 信一郎（大阪大学）、木戸 善之（大阪大学）

【優秀論文賞】
題目：授業へ取り組む姿勢の自己評価と授業後レポートの記述内容の関係の可視化
著者：村上 祐子（広島大学）、庄 ゆかり（広島文教大学）、稲垣 知宏（広島大学）

【優秀論文賞】
題目：大学におけるオンライン教育による学びの多様化と問題点
著者：古永 智子（日本大学）、木川 裕（日本大学）、山下 倫範（立正大学）

【優秀論文賞】
題目：新スーパーコンピュータ導入に向けたデータセンター設備増強
著者：寺前 勇希（大阪大学）、勝浦 裕貴（大阪大学）、木越 信一郎（大阪大学）

ポスター賞

【最優秀ポスター賞】
題目：公開オンラインコースを自組織で活用するために必要な環境・教育スキル育成の検討
著者：長岡 千香子（熊本大学）、喜多 敏博（熊本大学）、平岡 斉士（熊本大学）

オープニングギャザリング

日時：2022 年 12 月 13 日（火）17：15 ～ 18：00
場所：展示会場ポスターコーナー（展示棟・展示室 2・3）
申込／会費：不要（会場での飲食なし、お土産あり）

情報交換会

日時：2022 年 12 月 14 日（水）17：45 ～ 19：00
場所：X 会場（会議棟・桜）
申込：要／会費：不要（会場での飲食なし、お土産あり）
企画：伊達武将隊演舞

CIO 部会

日時：2022 年 12 月 14 日（水）
場所：X 会場（会議棟・桜）

9：30 ～ 10：00	CIO 部会受付
10：00 ～ 10：30	CIO 部会会議
10：30 ～ 12：00	CIO 向け講演会
12：00 ～	CIO 部会と出展企業との名刺交換会及び CIO 部会昼食

理事会

日時：2022 年 12 月 14 日（水）16：15 ～ 17：15
場所：会議棟・小会議室 2

賛助会員と AXIES 会長・理事との意見交換会

日時：2022 年 12 月 15 日（木）10：45 ～ 12：15
場所：B 会場（展示棟・会議室 2）

一般セッション

口頭発表

13AM1C　デジタルトランスフォーメーション 1

日時：2022/12/13　9：00 ～ 10：15　　場所：C 会場（展示棟・会議室 3）　　座長：岡田義広（九州大学）

13AM1C-1　大学 DX 共創推進活動における「授業料免除申請受付システム」開発を通じた社会人リスキリング
○山田哲（香川大学 / 株式会社リコー）、浅木森浩樹（香川大学 / 株式会社リコー）、末廣紀史（香川大学）、武田啓之（香川大学）、米谷雄介（香川大学）、國枝孝之（香川大学）、八重樫理人（香川大学）

13AM1C-2　パッケージシステムと内製システムの組み合わせによる香川大学の基幹業務システム開発
○末廣紀史（香川大学）、武田啓之（香川大学）、浅木森浩樹（香川大学 / 株式会社リコー）、山田哲（香川大学 / 株式会社リコー）、米谷雄介（香川大学）、八重樫理人（香川大学）

13AM1C-3　香川大学における決裁業務に関する業務 UX 調査について
○武田啓之（香川大学情報メディアセンター）、末廣紀史（香川大学情報メディアセンター）、浅木森浩樹（香川大学情報メディアセンター）、山田哲（香川大学情報メディアセンター）、米谷雄介（香川大学情報メディアセンター）、八重樫理人（香川大学情報メディアセンター）

13AM1C-4　香川大学における業務システム内製開発ハンズオン「チャットボットを開発しよう」の実践
○矢谷鷹将（香川大学）、蛭田雅貴（香川大学）、武田啓之（香川大学）、末廣紀史（香川大学）、浅木森浩樹（香川大学 / 株式会社リコー）、山田哲（香川大学 / 株式会社リコー）、米谷雄介（香川大学）、八重樫理人（香川大学）

13AM1C-5　目的に応じたクラウド選択基準の検討
ー学認クラウドチェックリスト策定の舞台裏ー
○小林久美子（国立情報学研究所）、吉田浩（国立情報学研究所）、合田憲人（国立情報学研究所）

13AM1D　HPC テクノロジー 1

日時：2022/12/13　9：00 ～ 10：15　　場所：D 会場（展示棟・会議室 4）　　座長：伊達進（大阪大学）

13AM1D-1　電力需給ひっ迫状況下におけるスーパーコンピュータシステム運用
○山田新（東京大学情報システム部情報基盤課）、宮嵜洋（東京大学情報システム部情報基盤課）、前田光教（東京大学情報システム部情報基盤課）、佐藤孝明（東京大学情報システム部情報基盤課）、山本和男（東京大学情報システム部情報基盤課）、福沢秋津（東京大学情報システム部情報基盤課）、中張遼太郎（東京大学情報システム部情報基盤課）、中島研吾（東京大学情報基盤センター）、塙敏博（東京大学情報基盤センター）

13AM1D-2　クラウドサービス AOBA-C の紹介
○大泉健治（東北大学情報部情報基盤課）、森谷友映（東北大学情報部情報基盤課）、佐々木大輔（東北大学情報部情報基盤課）、齋藤敦子（東北大学情報部情報基盤課）、山下毅（東北大学情報部情報基盤課）、小野敏（東北大学情報部情報基盤課）、滝沢寛之（東北大学サイバーサイエンスセンター）

13AM1D-3　XC40 計算ノードにおける消費電力のばらつき評価とその活用研究
○深沢圭一郎（京都大学学術情報メディアセンター）、疋田淳一（京都大学情報部）、當山達也（京都大学情報部）、島袋友里（京都大学情報部）

13AM1D-4　Ipomoea-01 大規模共通ストレージシステムの運用
○前田光教（東京大学情報システム部情報基盤課）、宮嵜洋（東京大学情報システム部情報基盤課）、佐藤孝明（東京大学情報システム部情報基盤課）、福沢秋津（東京大学情報システム部情報基盤課）、中張遼太郎（東京大学情報システム部情報基盤課）、山田新（東京大学情報システム部情報基盤課）、山本和男（東京大学情報システム部情報基盤課）、中島研吾（東京大学情報基盤センター）、塙敏博（東京大学情報基盤センター）

13AM1D-5　スーパーコンピュータ「不老」の湧水噴霧による節電効果の評価
○山田一成（東海国立大学機構）、田島嘉則（東海国立大学機構）、高橋一郎（東海国立大学機構）、林秀和（東海国立大学機構）、片桐孝洋（名古屋大学）、大島聡史（名古屋大学）、永井亨（名古屋大学）

13AM2C　ICT 教育活用

日時：2022/12/13　10：45 ～ 12：15　　場所：C 会場（展示棟・会議室 3）　　座長：戸田真志（熊本大学）

13AM2C-1　大学 PC と個人 ICT 機器の併用に関する学生の意識と実態
○中園長新（麗澤大学）、千葉庄寿（麗澤大学）

13AM2C-2　ICT を活用した日常生活援助技術科目が看護学生の ICT に対する態度へ与える効果
○太田雄馬（東京医療保健大学医療保健学部看護学科）、西村礼子（東京医療保健大学医療保健学部看護学科）、笠原康代（東京医療保健大学医療保健学部看護学科）、松尾絵美子（東京医療保健大学医療保健学部看護学科）、横山美樹（東京医療保健大学医療保健学部看護学科）

13AM2C-3　コンピテンシー基盤型教育における看護実践能力の育成を目指した教育デザインと ICT 活用の検討
○西村礼子（東京医療保健大学医療保健学部看護学科 / 大学院医療保健学研究科）、太田雄馬（東京医療保健大学医療保健学部看護学科）、笠原康代（東京医療保健大学医療保健学部看護学科）、松尾絵美子（東京医療保健大学医療保健学部看護学科）、横山美樹（東京医療保健大学医療保健学部看護学科 / 大学院医療保健学研究科）

13AM2C-4　ICT を活用した物理実験の取り組み
○西山枝里（国士舘大学理工学部）、杉本隆之（国士舘大学理工学部）、関口宗男（国士舘大学理工学部）、和田浩明（国士舘大学理工学部）

13AM2C-5　複数の院内学級、小児病棟におけるサウジアラビアとの異文化理解授業
○山本裕一（北海道大学）、佐藤修（キングサウード大学）、小柳千佳子（札幌市立北辰中学校ひまわり分校）

13AM2C-6　コロナ禍における九州大学での LINE を用いた教育支援体制の構築
○野口岳（株式会社イマーゴ / 九州大学）、徳永大空（九州大学）、東原萌々子（九州大学）、藤本俊介（九州大学）、ウンクアンイー（九州大学）、島田敬士（九州大学）

13AM2D　HPC テクノロジー 2

日時：2022/12/13　10：45 ～ 12：00　　場所：D 会場（展示棟・会議室 4）　　座長：塙敏博（東京大学）

13AM2D-1　九州大学スーパーコンピュータと AWS クラウドサービスによるハイブリッド計算環境の相互補完的利用方法に関する調査
○南里豪志（九州大学）、松山和広（株式会社 Fusic）、田代皓嗣（アマゾンウェブサービスジャパン合同会社）、原田浩睦（九州大学）

13AM2D-2　高性能計算機システムにおける研究データ管理のための来歴記録システムの実現に向けて
○並木悠太（日本電気株式会社）、細見岳生（日本電気株式会社）、田主英之（大阪大学）、片岡直記（日本電気株式会社）、山下晃弘（大阪大学）、伊達進（大阪大学）

13AM2D-3　量子アニーリングを用いたレビュアー割当最適化の検討
○峯尾真一（高度情報科学技術研究機構）、野口孝明（高度情報科学技術研究機構）、草間義紀（高度情報科学技術研究機構）、松田佳希（（株）フィックスターズ）

13AM2D-4　FX700 によるデータ通信プロトコル HpFP の高速化
村田健史（京都大学）、○柿澤康範（株式会社クレアリンクテクノロジー）、川鍋友宏（情報通信研究機構）、深沢圭一郎（京都大学）、高木文博（株式会社クレアリンクテクノロジー）、水原隆道（株式会社クレアリンクテクノロジー）

13AM2D-5　今後の「広報」の取り組みについて
吉川浩（北海道大学）、吉川潤（北海道大学）、東沙耶（北海道大学）、高口智美（北海道大学）、佐久間有希（北海道大学）、角鹿千枝（北海道大学）、○更科高広（北海道大学）

13PM1B　情報リテラシー教育

日時：2022/12/13　13：45 ～ 15：00　　場所：B 会場（展示棟・会議室 2）　　座長：稲垣知宏（広島大学）

13PM1B-1　**大学生の著作権意識についての調査と分析**
○天野由貴（東京工業大学）、隅谷孝洋（広島大学）、井上仁（中村学園大学）

13PM1B-2　**チャットボットを用いたデータサイエンス導入教育の実践報告**
○村上祐子（広島大学）

13PM1B-3　**地域課題解決のためのシステム・サービスデザインワークショップの実践**
- プロトタイプ開発よるアイデア検証 -
○蛭田雅貴（香川大学）、神田亮（香川大学）、矢谷鷹将（香川大学）、鈴木貴久（津田塾大学）、小舘亮之（津田塾大学）、浅木森浩樹（香川大学）、山田哲（香川大学）、八重樫理人（香川大学）

13PM1B-4　**大学の一般教育における一齣漫画を用いた著作権教育の実践**
○布施泉（北海道大学情報基盤センター）、野々村安紀子（北海道大学情報基盤センター）

13PM1B-5　**シニア世代のパソコン学習に対するニーズについての検討**
―生涯学習に係る意識調査の二次分析をもとに―
○伏木田稚子（東京都立大学）

13PM1C　情報基盤 1

日時：2022/12/13　13：45 ～ 14：45　　場所：C 会場（展示棟・会議室 3）　　座長：中村誠（東京大学）

13PM1C-1　**核融合研における IDaaS を用いた学認 IdP の構築**
○高山有道（自然科学研究機構核融合科学研究所）、山本孝志（自然科学研究機構核融合科学研究所）

13PM1C-2　**データ活用の実現に向けた京都大学教育研究活動データベースの刷新**
○高岸岳（京都大学情報環境機構）、澤田浩文（京都大学情報環境機構）、梶原弘貴（京都大学情報環境機構）、赤坂浩一（京都大学情報環境機構）、石井良和（京都大学情報環境機構）、渥美紀寿（京都大学情報環境機構）

13PM1C-3　**京都大学学生用メールのための学生アカウントと Microsoft 365 の連携**
○中井隆史（京都大学）、外村孝一郎（京都大学）

13PM1C-4　**Wi-Fi プロファイルを用いた eduroam/OpenRoaming のパスワードレス設定**
○後藤英昭（東北大学）、原田寛之（札幌学院大学）、漆谷重雄（国立情報学研究所）

13PM1D　HPC テクノロジー 3

日時：2022/12/13　13：45 ～ 15：00　　場所：D 会場（展示棟・会議室 4）　　座長：片桐孝洋（名古屋大学）

13PM1D-1　研究成果情報管理業務のシステム化による業務プロセスの改善

○林秀和（東海国立大学機構情報環境部情報システム運用課）、山田一成（東海国立大学機構情報環境部情報システム運用課）、田島嘉則（東海国立大学機構情報環境部情報システム運用課）、片桐孝洋（名古屋大学情報基盤センター大規模計算支援環境研究部門）、大島聡史（名古屋大学情報基盤センター大規模計算支援環境研究部門）、永井亨（名古屋大学情報基盤センター大規模計算支援環境研究部門）

13PM1D-2　大阪大学スーパーコンピュータの電力コスト算定の仕組み

○木越信一郎（大阪大学情報推進部情報基盤課）、勝浦裕貴（大阪大学情報推進部情報基盤課）、寺前勇希（大阪大学情報推進部情報基盤課）、上野雅矢（大阪大学情報推進部情報基盤課）、伊達進（大阪大学サイバーメディアセンター）

13PM1D-3　JHPCN 広域分散クラウドを用いた超高解像度時系列画像の多拠点共有実験の報告

○川鍋友宏（情報通信研究機構）、村田健史（情報通信研究機構 / 京都大学）、山本和憲（情報通信研究機構）、深沢圭一郎（京都大学）、樋口篤志（千葉大学）、豊嶋紘一（東京大学生産技術研究所 / 千葉大学）、小野謙二（九州大学）

13PM1D-4　豊橋技術科学大学における小規模研究用システムの運用

○中村純哉（豊橋技術科学大学）、小林真佐大（豊橋技術科学大学）、土屋雅稔（豊橋技術科学大学）

13PM1D-5　Oakforest-PACS の導入・運用を振り返って

○塙敏博（東京大学情報基盤センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、中島研吾（東京大学情報基盤センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC）/ 理化学研究所計算科学研究センター）、建部修見（筑波大学計算科学研究センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、朴泰祐（筑波大学計算科学研究センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、梅村雅之（筑波大学計算科学研究センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、中務孝（筑波大学計算科学研究センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、高橋大介（筑波大学計算科学研究センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、額田彰（筑波大学計算科学研究センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、多田野寛人（筑波大学計算科学研究センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、小林諒平（筑波大学計算科学研究センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、藤田典久（筑波大学計算科学研究センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、田浦健次朗（東京大学情報基盤センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、中村宏（東京大学情報基盤センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、下川辺隆史（東京大学情報基盤センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、星野哲也（東京大学情報基盤センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、三木洋平（東京大学情報基盤センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、芝隼人（東京大学情報基盤センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、河合直聡（東京大学情報基盤センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、石川裕（国立情報学研究所アーキテクチャ科学研究系）、佐藤三久（理化学研究所計算科学研究センター / 筑波大学計算科学研究センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、大島聡史（九州大学情報基盤研究開発センター）、伊田明弘（海洋研究開発機構付加価値情報創成部門）、近藤正章（慶應義塾大学情報工学科 / 理化学研究所計算科学研究センター）、宮嵜洋（東京大学情報基盤センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、山本和男（東京大学情報基盤センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、小林弘幸（筑波大学計算科学研究センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、田川善教（東京大学情報基盤センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、前田光教（東京大学情報基盤センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、小川大典（東京大学情報基盤センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、坂井朱美（東京大学情報基盤センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、佐島浩之（東京大学情報基盤センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、安部達巳（東京大学情報基盤センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、佐藤孝明（東京大学情報基盤センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、福沢秋津（東京大学情報基盤センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、中張遼太郎（東京大学情報基盤センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、下條清史（東京大学情報基盤センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））、山田新（東京大学情報基盤センター / 最先端共同 HPC 基盤施設（JCAHPC））

13PM2B　オンラインとセキュリティ

日時：2022/12/13　15：30 ～ 16：30　　場所：B 会場（展示棟・会議室 2）　　座長：渡邉英伸（広島大学）

13PM2B-1　オンラインプラットホームの利用で広がるハイブリッド型カンファレンスの可能性
○庄ゆかり（広島文教大学）、村上祐子（広島大学）、隅谷孝洋（広島大学）、匹田篤（広島大学）、井上仁（中村学園大学）、Tom Barker（APAC, Howspace）

13PM2B-2　NIST SP800-30 をベースにした簡易リスクアセスメントの検討と実施について
○戸田庸介（京都大学情報部）、片桐統（京都大学情報部）、山口倉平（京都大学情報部）、石橋由子（京都大学情報部）

13PM2B-3　脆弱性情報を用いたセキュリティ保護システム “BEYOND” の開発
○中村友昭（香川大学）、竹原一駿（香川大学）、大野真伯（香川大学）、山下俊昭（香川大学）、宗雪勝也（香川大学）、小野滋己（香川大学）、喜田弘司（香川大学）、後藤田中（香川大学）、最所圭三（香川大学）

13PM2B-4　香川大学ハイブリッドクラウドによる教学データに基づく EBPM に向けた基礎的検討
○末廣紀史（香川大学）、亀井仁志（香川大学）、永安良浩（香川大学）、中川えんじゅ（香川大学）、後藤田中（香川大学）、藤本憲市（香川大学）

13PM2C　情報基盤 2

日時：2022/12/13　15：30 ～ 16：45　　場所：C 会場（展示棟・会議室 3）　　座長：元木正和（東北大学）

13PM2C-1　ACME プロトコルを利用した UPKI サーバ証明書の自動更新システムの試験的な実装
○宇田川暢（名古屋大学）

13PM2C-2　学術無線 LAN ローミング基盤 eduroam における IoT デバイス・周辺機器の接続手法の調査検討
○原田寛之（札幌学院大学情報処理課）、後藤英昭（東北大学サイバーサイエンスセンター）、漆谷重雄（国立情報学研究所）

13PM2C-3　京都大学　桂地区電話交換機システム設備更新（IP-PBX の導入）について
○福本翔太（京都大学情報環境機構 IT 企画室）、中村素典（京都大学情報環境機構 IT 企画室）

13PM2C-4　学内向け Wi-Fi 環境観測システムの構築
○岩瀬雄祐（名古屋大学全学技術センター）、山口由紀子（名古屋大学情報基盤センター）、川瀬友貴（名古屋大学全学技術センター）、石原正也（名古屋大学全学技術センター）、嶋田創（名古屋大学情報基盤センター）

13PM2C-5　学生・教職員の協働によるワンストップの ICT サポート窓口運営の実践
○竹内朗（東京大学情報システム本部）、玉造潤史（東京大学情報システム本部）

13PM2D　情報教育

日時：2022/12/13　15：30 ～ 17：00　　場所：D 会場（展示棟・会議室 4）　　座長：林豊洋（九州工業大学）

13PM2D-1　**コンピュータ基礎教育における成果と授業運用について**
○明田川紀彦（駒沢女子大学）

13PM2D-2　**2010 − 2022 年度新入学生の情報教育に関する意識調査**
○篠政行（駒沢女子大学人間総合学群住空間デザイン学類）、スワット・チャロンニポンワーニッチ（文化学園大学総合教養・体育学研究室）

13PM2D-3　**デバイス別文字入力速度と利用実態から明らかにする大学新入生のための情報教育の検討**
○八重樫直希（広島大学）、稲垣知宏（広島大学）、村上祐子（広島大学）、滑川裕介（広島大学）

13PM2D-4　**共通教育におけるプログラミング未経験者向け入門講義**
○石黒克也（高知大学学術情報基盤図書館）、佐々木正人（高知大学学術情報基盤図書館）、遠藤隆俊（高知大学学術情報基盤図書館）

13PM2D-5　**演習に基づく適応的学習システムにおける診断と誘導について**
○金西計英（徳島大学）、石田基広（徳島大学）、戸川聡（四国大学）

13PM2D-6　**プログラミング教育における新しい教室 AV 環境について**
○土肥紳一（東京電機大学）、今野紀子（東京電機大学）、齊藤剛（東京電機大学）

14AM1B　デジタルトランスフォーメーション 2

日時：2022/12/14　9：00 ～ 10：30　　場所：B 会場（展示棟・会議室 2）　　座長：森村吉貴（京都大学）

14AM1B-1　**勤務時間記録システム「カダキンタイ /KadaKintai」の勤務時間データ可視化機能**
○浅木森浩樹（香川大学 / 株式会社リコー）、八木悠介（香川大学）、末廣紀史（香川大学）、武田啓之（香川大学）、山田哲（香川大学 / 株式会社リコー）、米谷雄介（香川大学）、八重樫理人（香川大学）

14AM1B-2　**汎用性の高い Q&A データからのチャットボット構築・運用法と導入事例**
○小田昌宏（名古屋大学）、松原茂樹（名古屋大学）

14AM1B-3　**医療系大学におけるデジタルヘルス人材育成の取り組み**
○今泉一哉（東京医療保健大学）、齋藤さな恵（東京医療保健大学）、瀬戸僚馬（東京医療保健大学）

14AM1B-4　**大学事務 DX における法人文書のデータ管理に関する検討：「大学法人データ管理」構想**
○清重周太郎（北海道大学附属図書館）

14AM1B-5　**京都大学本部構内（文系）共通事務部における教職員に対する情報系支援業務の推移**
○武田鋼（京都大学情報部）

14AM1B-6　**事務職員を対象とするファイル暗号化の導入**
○齋藤彰一（名古屋工業大学）、松尾啓志（名古屋工業大学）

14AM2B　教育学習支援システム 1

日時：2022/12/14　10：45 ～ 12：00　　場所：B 会場（展示棟・会議室 2）　　座長：畠山久（東京工業大学）

14AM2B-1　**続 全学的 LMS への問い合わせ対応から見えること**
○田中弓子（東北大学）、田中秀樹（東北大学）、長谷川真吾（東北大学）、大山智也（東北大学）、三石大（東北大学）

14AM2B-2　**東北大学における ISTU/DC システムの運用実績報告**
○長谷川真吾（東北大学）、三石大（東北大学）、田中秀樹（東北大学）、大山智也（東北大学）、田中弓子（東北大学）

14AM2B-3　**Building Moodle-based Learning Management Systems for Universities: A Development Report of the Gikadai LMS**
○ Jingjing Lin（Toyohashi University of Technology）、Hitoshi Goto（Toyohashi University of Technology）

14AM2B-4　**学習基盤システムの活用状況と教育コンテンツの構成調査**
○大西淑雅（九州工業大学）、山口真之介（九州工業大学）

14AM2B-5　**新型コロナ騒動前後に実施した高知大学 moodle の運用方針の見直し**
○三好康夫（高知大学）、高畑貴志（高知大学）

15AM1B　教育学習支援システム 2

日時：2022/12/15　9：00 ～ 10：30　　場所：B 会場（展示棟・会議室 2）　　座長：青木謙二（宮崎大学）

15AM1B-1　**名古屋大学における学生の利便性向上を目指した LMS 連携システムの開発**
○澤田桂都（名古屋大学情報学部）、山本実央（名古屋大学情報学部）、木迫璃玖（名古屋大学情報学部）、大平茂輝（名古屋大学情報基盤センター）、後藤明史（名古屋大学情報基盤センター）、戸田智基（名古屋大学情報基盤センター）

15AM1B-2　**Moodle と JupyterHub を用いた Web 型プログラミング教育環境の改善事例：複数科目・複数講師による Nbgrader の共同利用**
○齊藤智也（山口大学）、王躍（山口大学）、西井淳（山口大学）、末長宏康（山口大学）、大平康旦（山口大学）、西村世志人（山口大学）、金山知余（山口大学）、村永聡（山口大学）、爲末隆弘（山口大学）、岡田耕一（山口大学）、レール・マルク（山口大学）

15AM1B-3　**広島大学における全学 LMS の移行**
○隅谷孝洋（広島大学）、秋元志美（広島大学）、近堂徹（広島大学）

15AM1B-4　**医療系大学の学びの過程と成果の可視化を目指した ICE ルーブリックシステムの導入**
○今泉一哉（東京医療保健大学）、瀬戸僚馬（東京医療保健大学）

15AM1B-5　**Google Classroom のログイベントデータを用いた成績不良学生の検知の試み**
○吉田健一郎（麗澤大学）、横田理宇（麗澤大学）

15AM1B-6　**Learning Analytics のための LRS 環境の構築**
○大山智也（東北大学）、田中秀樹（東北大学）、長谷川真吾（東北大学）、田中弓子（東北大学）、三石大（東北大学）

15AM1D　オンライン教育

日時：2022/12/15　9：00～10：30　　場所：D 会場（展示棟・会議室 4）　　座長：松居辰則（早稲田大学）

15AM1D-1　ハイフレックス授業に対応した教室機材の導入を通じて

○田中秀樹（東北大学データ駆動科学・AI 教育研究センター）、三石大（東北大学データ駆動科学・AI 教育研究センター）、長谷川真吾（東北大学データ駆動科学･AI 教育研究センター）、大山智也（東北大学データ駆動科学･AI 教育研究センター）、田中弓子（東北大学データ駆動科学・AI 教育研究センター）

15AM1D-2　オンデマンドとオンタイムを併用した双方向授業の実践報告

○山田修平（東京医療保健大学和歌山看護学部）、納谷和誠（東京医療保健大学和歌山看護学部）、北得美佐子（東京医療保健大学和歌山看護学部）

15AM1D-3　利用者によるウェブアーカイブの意義、技術とその課題

○武田俊之（関西学院大学）

15AM1D-4　コロナ禍におけるハイフレックス授業の取り組み

○佐々木正人（高知大学）、石黒克也（高知大学）

15AM1D-5　看護大学におけるオンライン授業の準備に関する研修会の実施報告

○佐藤考司（日本赤十字秋田看護大学）

15AM1D-6　模擬電子カルテを活用した看護実践力育成の取り組み

○田久保由美子（東京医療保健大学千葉看護学部）、篠木絵里（東京医療保健大学千葉看護学部）石井まりえ（東京医療保健大学千葉看護学部）、佐野貴康（東京医療保健大学千葉看護学部）

ポスター発表

13PM2P　ポスターセッション

日時：2022/12/13　15：30～17：00　　場所：展示会場ポスターコーナー（展示棟・展示室 2・3）　　座長：伊藤彰則（東北大学）

13PM2P-1　LTI による学習管理システムと授業評価アンケートシステムの連携の試み
○畠山久（東京工業大学）、山下幸彦（東京工業大学）、加藤由香里（東京工業大学）

13PM2P-2　石川高専における情報ネットワーク・セキュリティ教育の実践と評価
○長岡健一（石川工業高等専門学校）、飯田忠夫（石川工業高等専門学校）

13PM2P-3　クラウド環境構築システム VCP ポータブル版の開発と活用事例の紹介
○大江和一（国立情報学研究所）、丹生智也（国立遺伝学研究所）、竹房あつ子（国立情報学研究所）、合田憲人（国立情報学研究所）

13PM2P-4　事業部門の DX 推進を担う「デジタル ONE アンバサダー」の設置
○渡部昌尚（香川大学）、小寺賢志（香川大学）、武田啓之（香川大学）、末廣紀史（香川大学）、亀井仁志（香川大学）、米谷雄介（香川大学）

13PM2P-5　資料公開を早めた情報リテラシー講義における学習活動と効果の分析
○山口真之介（九州工業大学）、近藤秀樹（神田外語大学）、福丸浩史（九州工業大学）、大西淑雅（九州工業大学）、西野和典（太成学院大学）

13PM2P-6　コロナ禍の QR コードによる座席登録システムから出席管理システムへの展開
○中野裕司（熊本大学）、喜多敏博（熊本大学）、中村順子（熊本大学）、石本智裕（熊本大学）、佐藤大輝（熊本大学）、鶴田博信（熊本大学）、川越明日香（熊本大学）、平英雄（熊本大学）

13PM2P-7　Power Automate によるグループ発表相互評価のフィードバック半自動化
○高畑貴志（高知大学）、塩崎俊彦（高知大学）、杉田郁代（高知大学）、廣瀬淳一（高知大学）、坂本智香（高知大学）、大崎優（高知大学）

13PM2P-8　大学間での一般情報教育コンテンツの共有と授業実践
○稲垣知宏（広島大学）、川﨑梨江（比治山大学）、村上祐子（広島大学）、長登康（広島大学）

13PM2P-9　災害看護研修におけるルーブリック自己評価システムの活用
○宮崎誠（帝京大学）、渡辺博芳（帝京大学）、眞坂美江子（帝京大学）、高井久美子（帝京大学）、堀内美由紀（奈良学園大学）

13PM2P-10　安全性と柔軟性を備えたリモート保守接続環境の運用管理
○長瀬祥子（東北大学）、中村直毅（東北大学）、白川宣行（東北大学）、小川諭（東北大学）、齊藤智（東北大学）、木下賢吾（東北大学）

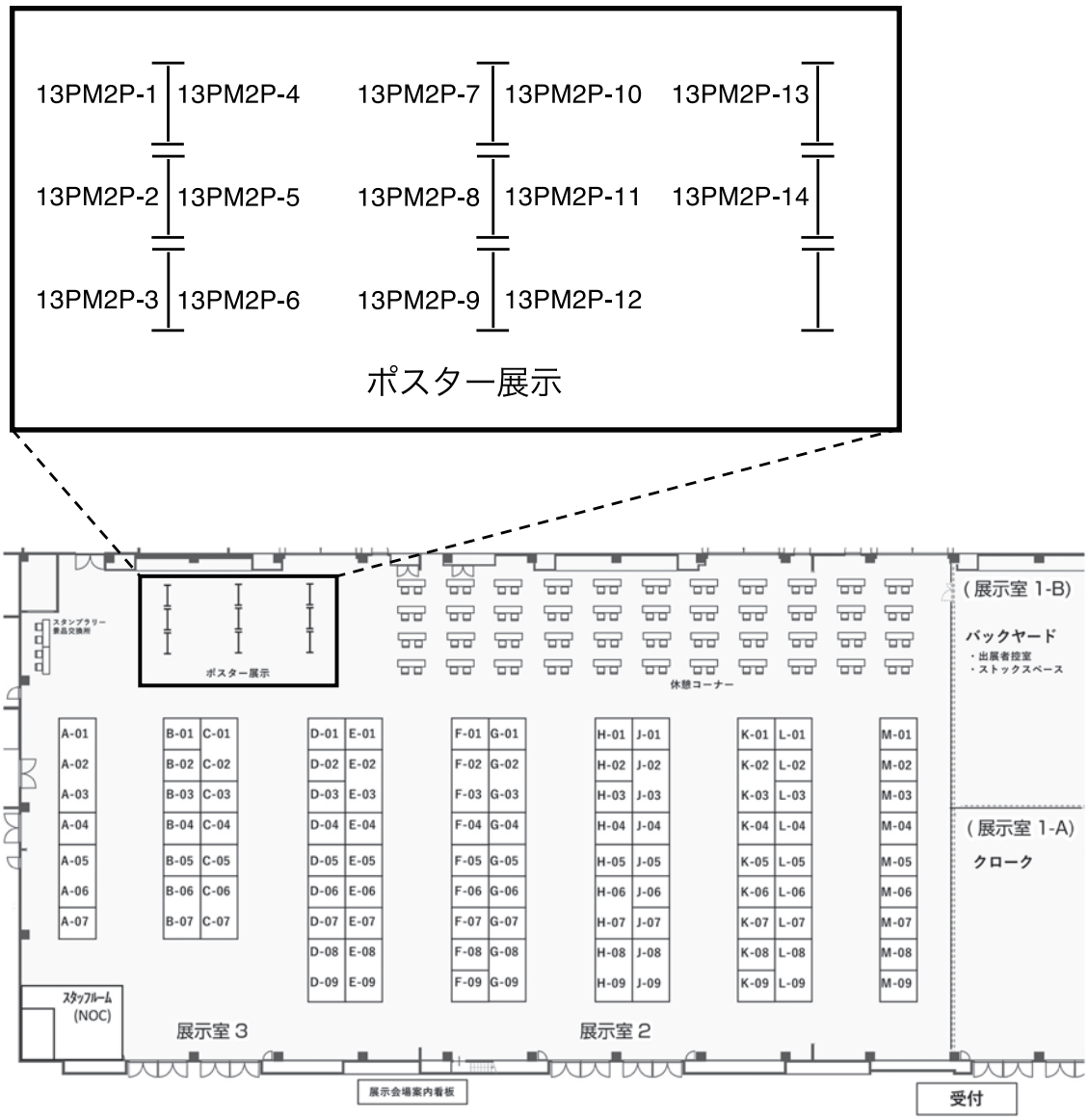
13PM2P-11　SINETStream を用いた船上での多種センサデータ収集実験
○竹房あつ子（国立情報学研究所 / 総合研究大学院大学）、北川直哉（国立情報学研究所）、大島浩太（東京海洋大学）、小林久美子（国立情報学研究所）、吉田浩（国立情報学研究所）、合田憲人（国立情報学研究所 / 総合研究大学院大学）

13PM2P-12　東京農工大学における IDaaS を用いた新たな統合認証基盤
○三島和宏（東京農工大学総合情報メディアセンター）、根本貴弘（東京農工大学総合情報メディアセンター）、長島和平（東京農工大学総合情報メディアセンター）、石橋みゆき（東京農工大学 総合情報メディアセンター）、青山茂義（東京農工大学 総合情報メディアセンター）

13PM2P-13　熊本大学総合情報環構想 2022 について
○戸田真志（熊本大学）、久保田真一郎（熊本大学）、鶴田博信（熊本大学）、武藏泰雄（熊本大学）、右田雅裕（熊本大学）、冨永将史（熊本大学）、後藤哲也（熊本大学）、後藤正三（熊本大学）、中野裕司（熊本大学）、杉谷賢一（熊本大学）、宇佐川毅（熊本大学）

13PM2P-14　複数種の多要素認証必須化に伴う運用とその支援
○尾崎拓郎（大阪教育大学）、松井聰治（大阪教育大学）、佐藤隆士（大阪教育大学）

ポスターマップ



memo

企画セッション

企画セッション

13AM1A　教育研究機関におけるオンラインによる本人確認と認証機能強化の実現に向けて

認証基盤部会（提案責任者：清水さや子）
日時：2022/12/13　9：00～10：30　　場所：A 会場（展示棟・会議室 1）

■オーガナイザ
中村　　誠（東京大学）

■講師・パネリスト・司会者等
司会：
中村　　誠（東京大学）
講師・パネリスト：
佐藤　周行（東京大学）
込山　祐介（国立情報学研究所）
坂根　栄作（国立情報学研究所）
清水さや子（国立情報学研究所）
鈴木　茂哉（慶應義塾大学）
鈴木　彦文（信州大学）
浜本　信州（群馬大学）

■セッション概要
大学などの教育研究機関においては、コロナ禍により、アカウントの配布時や、授業や試験などの出席時に行われる本人確認が、オンラインで行われる機会が増えた。今年度より、従来通りの対面による授業形態に戻りつつあるが、一方で、「新しい生活様式」としての本人確認の在り方について様々な工夫も検討されつつある。
本セッションでは、これらにおける大学等の取り組み事例を参考に、これからの本人確認と認証機能強化に向けて、IAL2（Identity Assurance Level）への対応も含めつつ、ディスカッションを行う。

13AM1B　永続的研究者識別子 ORCID の現状と将来

ORCID 部会（提案責任者：森雅生）
日時：2022/12/13　9：00～10：30　　場所：B 会場（展示棟・会議室 2）

■オーガナイザ
森　　雅生（東京工業大学）

■講師・パネリスト・司会者等
TBA

■セッション概要
研究者の永続的識別子（PID）の一つである ORCID は、現在デファクトスタンダードとなりつつあり、学術情報の流通に欠かせないものとなっている。デジタルオブジェクトへの PID である DOI、研究リソースの PID である RRID、人の PID である ORCID、さらに研究機関の PID である ROR（Research Organization Registry）が発足し、これらの ID により学術情報の流通が促進していくことが期待されている。このパネルディスカッションでは、これら PID の活用や期待、抱えている問題点などを議論する。

13AM1E　クラウドファースト戦略からクラウドネイティブ戦略を見据えた人材育成の展望

クラウド部会（提案責任者：渡邉英伸）
日時：2022/12/13　9：00 ～ 10：30　　場所：E 会場（会議棟・萩）

■オーガナイザ
渡邉　英伸（広島大学）

■講師・パネリスト・司会者等
パネリスト：
八重樫理人（香川大学）
Eddy Taillefer（沖縄科学技術大学院大学）
渡利　雅之（レッドハット株式会社）
秋元　　禮（グーグル・クラウド・ジャパン合同会社）
モデレーター：
吉田　　浩（国立情報学研究所）

■セッション概要
これまで大学を含む学術機関では、オンプレミスのシステムをクラウドで動かすことを優先して構築を推し進めてきた。近年はクラウドの導入が進み、多様なユーザ要求に機敏かつ迅速に対応することが求められる中で、クラウドの利活用はクラウド上で優先して動かすクラウドファーストの考え方よりも、クラウドの利点を徹底的に活用する考え方のクラウドネイティブに向かいつつある。一方で、クラウドサービスや便利なツールが乱立する現状があり、クラウドを用いることを前提に特性を活かし最適化できる人材は非常に少ないのが現状である。
本セッションでは、クラウドを積極的に活用している事例を共有するとともに、今後のクラウド活用人材やセキュリティ人材の育成を組織としてどうすべきかについても考える。

13AM2A　教室の未来像を考える -- 次世代型教室、DaaS 型 PC 教室、VR / メタバース演習室

教育技術開発部会（提案責任者：上田浩）
日時：2022/12/13　10：45 ～ 12：15　　場所：A 会場（展示棟・会議室 1）

■オーガナイザ
上田　　浩（法政大学）

■講師・パネリスト・司会者等
司会：
武田　考正（株式会社内田洋行）
パネリスト：
平岡　公英（ソニーマーケティング株式会社）
山田　晃久（株式会社早稲田大学アカデミックソリューション）
丸山　　伸（株式会社シー・オー・コンヴ）
水野　義之（関西外国語大学）

■セッション概要
オンライン授業の拡大やデジタル化の流れにより大学の教室が大きく変わろうとしている。
本セッションでは、新たな教育技術を活用した教室として次世代型教室・DaaS 型 PC 教室・VR / メタバース演習室への取り組みを共有するとともに、今後の教室の在り方について考える。
1．早稲田大学におけるオンライン、対面、収録など多様な授業スタイルに対応した次世代型教室の取り組み
2．従来型 PC 教室の代替として AVD (Azure Virtual Desktop) を活用する際の課題と解決策
3．関西外国語大学「英語・デジタルコミュニケーション学科」の創設、特に VR / メタバース演習室の取り組み

13AM2B　IT ベンチマーキング調査事業中間報告

IT ベンチマーキング部会（提案責任者：岡田義広）
日時：2022/12/13　10：45 ～ 12：15　　場所：B 会場（展示棟・会議室 2）

■オーガナイザ
岡田　義広（九州大学）
森村　吉貴（京都大学）

■講師・パネリスト・司会者等
詳細は、以下のページをご覧ください。
https://contsrv.icer.kyushu-u.ac.jp/web/AXIES/axies2022/sig-itb/

■セッション概要
AXIES の IT ベンチマーキング部会は、各大学が ICT 戦略を進めるための重要な指針となるデータを提供することを目的としています。また、EDUCAUSE Core Data Service（CDS）を参考に日本版 CDS を実施したいと考えています。昨年度の当企画セッションで議論した内容を反映した今年度の調査事業の進捗について報告いたします。

13AM2E　クラウドネイティブ戦略を見据えたクラウド最適化ソリューション

クラウド部会（提案責任者：渡邉英伸）
日時：2022/12/13　10：45 ～ 12：15　　場所：E 会場（会議棟・萩）

■オーガナイザ
渡邉　英伸（広島大学）
脇　　昌弘（ネットアップ合同会社）

■講師・パネリスト・司会者等
司会：
脇　　昌弘（ネットアップ合同会社）
講師：
櫻田　　武（アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社）
村上　大河（グーグル・クラウド・ジャパン合同会社）
神原　豊彦（ネットアップ合同会社）
加藤　英将（ヴイエムウェア株式会社）
小野　友和（伊藤忠テクノソリューションズ株式会社）

■セッション概要
クラウドの導入が著しく増加・定着する昨今、クラウドリソースを最適化するための戦略的な考えと重要性が益々注目されている。クラウドのパフォーマンスを最大化するために、クラウドにかけるコストを分析、自動化、最適化するための「リソース最適化ソリューション」に関心を寄せる企業、大学も世界的に増えてきている。クラウド利用の拡大は、IT 担当の増員が追い付かないほど進んでいるため、クラウドリソース最適化を自動化できればクラウドコストも最適化でき、IT 部門担当者の業務効率を改善して、より価値の高い業務に取り組むことができるようになる。本セッションでは、最先端のクラウド最適化ソリューションを先進企業からアップデートしてもらうことで、今後急拡大が見込まれる各大学のクラウド運用の最適化を検討するきっかけになればと考えている。

13AM2F　大学の事務用業務システムの現状

実行委員会（提案責任者：山中敏正）
日時：2022/12/13　10：45 ～ 12：15　　場所：F 会場（会議棟・橘）

■オーガナイザ
山中　敏正（高知大学研究国際部長 / 国立大学法人等情報化連絡協議会会長）

■講師・パネリスト・司会者等
①服部　　実（名古屋工業大学）
②武田　啓之（香川大学）
　末廣　紀史（香川大学）
　大野　真伯（香川大学）
③藤本　一之（東北大学）
　安孫子寛樹（東北大学）
　瀬成田　智（東北大学）
　山岸　樹矢（東北大学）
　川上　　翔（東北大学）
　鈴木　翔太（東北大学）
　小野﨑伸久（東北大学）

■セッション概要
国立大学法人等情報化連絡協議会が開催する事務用業務システム改善についての情報化発表会（事例発表会）での優秀な事例発表について、本企画セッションでも発表を行います。また、上記発表会での傾向等についても報告します。

13PM1A　Jupyter 等の環境を用いたプログラミング教育支援の現状

オープンソース技術部会（提案責任者：大西淑雅）
日時：2022/12/13　13：45 ～ 15：15　　場所：A 会場（展示棟・会議室 1）

■オーガナイザ
大西　淑雅（九州工業大学）

■講師・パネリスト・司会者等
佐藤　重幸（東京大学）
政谷　好伸（国立情報学研究所）
桑田　喜隆（室蘭工業大学）

■セッション概要
近年、初等・中等教育においてプログラミング教育が開始され、タブレット端末等を用いた実践的な教育が実施されている。また、多くの高等教育機関では、ノートパソコン必携化が浸透しつつあり、学習者が所有する情報デバイスを用いた教育も期待されている。本企画セッションでは、学習者が利用可能な情報環境（キャンパス内のサーバ環境や情報端末を含む）とインターネット上の各種サービスを用いたプログラミング教育支援について議論を行う。3 名の講師の方に、プログラミング教育・教育環境の支援に関する話題を提供頂き、セッション参加者と共に議論を深める。なお、最新の情報はオープンソース技術部会のホームページ https://oss.axies.jp/activity/y2022/kikaku202212a/ にてお知らせする。また、公開可能な資料等は、年次大会終了後に提供する予定である。

13PM1E 「理解されない」マニュアルからの脱却 ～ユーザーとのコミュニケーションを向上するマニュアル・ウェブページのつくり方～

ユーザーコミュニケーション部会（提案責任者：森村吉貴）
日時：2022/12/13　13：45～15：15　　場所：E 会場（会議棟・萩）

■オーガナイザ
森村　吉貴（京都大学）
近堂　　徹（広島大学）
尾崎　拓郎（大阪教育大学）
森本　尚之（三重大学）

■講師・パネリスト・司会者等
講師 1：
小野　英理（京都大学）
講師 2：
天野　由貴（東京工業大学）
講師 3：
谷村　　昇（立命館大学）

■セッション概要
ICT サービスの運用者が、問い合わせやクレームの対応を行う時に「もっとマニュアルやウェブページでの内容を充実させておけば！」と感じる機会は多い。
ユーザーとのコミュニケーションを行う上では、そもそもの情報提供の時点から理解度を高めることが後々の全ての段階において効果的である。しかし、ICT サービスについてのマニュアルやウェブページを作成するためのノウハウは広く共有されているとは言い難く、担当者個人の知見として蓄積されている場合が多い。
そこで本セッションでは、ICT サービスの情報提供において要となるマニュアル・ホームページの作成方法・運用方法について、参考となる大学の事例を紹介した上で、聴講者を含めて意見交換を行うパネルディスカッションを行い、理解されやすいマニュアルやウェブページの作成を行う上で有益な知見を共有する。

13PM1F　EDUCAUSE 年次カンファレンス 2022 参加報告

国際連携室（提案責任者：梶田将司）
日時：2022/12/13　13：45～15：15　　場所：F 会場（会議棟・橘）

■オーガナイザ
梶田　将司（京都大学）

■講師・パネリスト・司会者等
講師：
松浦　孝紀（沖縄科学技術大学院大学）
梶田　将司（京都大学）
山田　恒夫（放送大学）
John Augeri（パリデジタル大学）

■セッション概要
国際連携室では、EDUCAUSE 年次カンファレンスにおいて、AXIES レセプションやセミナーを開催し、日本からの参加者に対して EDUCAUSE 首脳陣との意見交換や他国の EDUCAUSE ライクな組織との交流を行ってきた。今年度から開始した EDUCAUSE 年次カンファレンス派遣事業では、ポストコロナ時代を見据えた国際的センスのある後継者を育成しつつ、EDUCAUSE 年次カンファレンスを通じた知見の共有や大学 ICT 活用推進機関との連携を強めることにより、AXIES の人的ネットワークのグローバル化を推進することを目的としている。今年の EDUCAUSE 年次カンファレンスは、開催地（デンバー）でのオンサイト参加だけでなく、新たな試みとしてオンラインイベントが翌週に開催されることになった。本企画セッションでは、EDUCAUSE 年次カンファレンス 2022 の参加報告を行うとともに、試行期間と位置付けた今年度の活動を振り返る。

13PM2F　EDUCAUSE John O'Brien 会長と語る大学 ICT の将来像

CIO 部会（提案責任者：深澤良彰）
日時：2022/12/13　15：30 ～ 17：00　　場所：F 会場（会議棟・橘）

■オーガナイザ
深澤　良彰（早稲田大学）

■講師・パネリスト・司会者等
講師：
EDCAUSE　John O'Brien 会長
（指定討論者：大学 CIO などを想定）

■セッション概要
将来の大学 ICT の方向性について、EDUCAUSE John O'Brien 会長にご講演をいただくとともに、参加いただく大学 ICT 関係者との質疑応答を通して議論を深める。

14AM1A　BYOD 時代の情報教育環境を考える

情報教育部会（提案責任者：和田智仁）
日時：2022/12/14　9：00 ～ 10：30　　場所：A 会場（展示棟・会議室 1）

■オーガナイザ
喜多　　一（京都大学）
和田　智仁（鹿屋体育大学）

■講師・パネリスト・司会者等
三島　和宏（東京農工大学）
梶田　将司（京都大学）
東田　　学（大阪大学）

■セッション概要
個人が購入した情報機器を教育活動で使用するいわゆる BYOD 施策が多くの大学で実施されています。さらに、コロナ禍以降のオンライン授業の普及とそれに伴う学生の学習環境の変化、GIGA スクール構想の開始など、大学の情報教育を取り巻く状況は大きくかわりつつあります。
大学での情報教育、特にアカデミック ICT リテラシーに関する内容については、従来はパソコン教室において一斉授業として行っている大学が多数でした。しかし、BYOD の導入や授業のオンライン化などが進行する中で、大学のパソコン教室を含め、情報教育環境の再定義が必要となっていると考えられます。
本セッションでは、先進的な大学での取り組み事例や関連するシステムの紹介を行いながら、今後の大学における情報教育環境を議論していきます。

14AM2A　大学でのローカル 5G の現状：導入と性能チューニング

高品質・セキュリティ ICT 部会（提案責任者：村瀬勉）
日時：2022/12/14　10：45 ～ 12：15　　場所：A 会場（展示棟・会議室 1）

■オーガナイザ
小畑　博靖（広島市立大学）

■講師・パネリスト・司会者等
荒川　伸一（大阪大学 准教授）
芳賀　　敦（東京都公立大学法人東京都立大学管理部 5G・南大沢まちづくり担当課長）

■セッション概要
大学でのローカル 5G の導入が散見されるが、未だ、性能の報告などはほとんどなされておらず、運用実態があまり知られていない。今回は、大阪大学と東京都立大学において導入しつつある研究用ローカル 5G につて、大阪大学の荒川先生と東京都立大学の芳賀氏に、現状について運用状況や課題などについて語って頂く。

■ローカル 5G 運用は大学に何をもたらすのか～研究と運用で得られた可能性と課題～
大阪大学大学院情報科学研究科では、ローカル 5G を活用する情報ネットワーク技術、遠隔ロボット制御、自動運転高度化などの実証研究を目的として広大なキャンパスを実証実験の場としてリビングラボ化／スマートキャンパス化すべく 4.7GHz 帯の無線局を設置し運用している。
本講演では、キャンパスの通信インフラの観点から商用 5G とローカル 5G の位置づけを述べ、ローカル 5G の導入経緯や運用により得られた知見を述べる。また、スマートキャンパス化の実現にあたって生じうる運用上の課題も述べる。

■環境構築から 2 年～ローカル 5G 環境運用における課題と取組
東京都立大学ではローカル 5G 環境を 2021 年 1 月より運用しており、間もなく構築から 2 年を迎えようとしている。研究活動や実証実験に広く活用できる環境とするため、28GHz 帯及び 4.7GHz 帯それぞれの電波特性を組み合わせ、南大沢・日野の両キャンパスの広範囲をカバーしているのが特徴である。東京都が策定した「『未来の東京』戦略」では、南大沢地区は「『スマート東京』先行実施エリア」の一つとして挙げられており、東京都立大学も、ローカル 5G など最先端の研究環境を整備し、研究支援や産学連携の取組を進めている。
本講演では、ローカル 5G 環境の構築及び運用の中で直面してきた様々な課題と対応策について、また今後の機能拡張や活用の方向性などの展望について述べる。

15AM1A　ハンズオンパッケージの教材化と授業への活用

ソフトウェアライセンス部会（提案責任者：丹羽量久）
日時：2022/12/15　9：00 ～ 10：30　　場所：A 会場（展示棟・会議室 1）

■オーガナイザ
丹羽　量久（長崎大学）

■講師・パネリスト・司会者等
司会：
丹羽　量久（長崎大学）
講　師：
櫻田　武嗣（アマゾン ウェブ サービスジャパン合同会社）
中田　寿穂（日本マイクロソフト株式会社）
シン　ジン（Oracle Academy Japan & Korea）

■セッション概要
最近の大学の授業では、教養科目や専門科目に限らず、講義に加えて単元ごとに演習を組み込む形式で授業設計されることが多い。その中で、ICT を活用する演習について考えてみると、教員と学生それぞれに、講義を聴講するのみで構成される科目であれば、必要がなかった次のような付随作業が要求されることがある。
- 実習の準備としての環境設定
- バージョンアップに伴う資料改変

他方、企業で行われるセミナーも近年では無償かつ体験型となるハンズオン形式のものが流行しているようだ。両者ともにソフト等を実際に動作させる形態であり、さらに事前事後の両学習を含めて考慮すると、ハンズオンセミナーを再構成し、大学授業の演習部分として流用した授業設計も考えられる。
本セッションでは、ハンズオンセミナーを大学の授業に組み込むような相互補完の可能性を探る。

15AM1E　大学における研究データガバナンスを考える

研究データマネジメント部会（提案責任者：松原茂樹）
日時：2022/12/15　9：00 ～ 10：30　　場所：E 会場（会議棟・萩）

■オーガナイザ

松原　茂樹（名古屋大学）
船守　美穂（国立情報学研究所）
元木　正和（東北大学）
金子　康樹（慶應義塾大学）
高田　良宏（金沢大学）
甲斐　尚人（大阪大学）

■講師・パネリスト・司会者等

司会：
松原　茂樹（名古屋大学）
講師：
松原　茂樹（名古屋大学）
船守　美穂（国立情報学研究所）
金子　康樹（慶應義塾大学）
甲斐　尚人（大阪大学）
高田　良宏（金沢大学）

■セッション概要

研究活動における研究データの役割が増すにつれ、研究データマネジメントを組織的に推進すること、すなわち、研究データガバナンスを確立することが大学の重要な課題となっている。研究データガバナンスを構築するために、単にデータポリシーを策定すればよいというわけではなく、体制、人材、規程、システムなど大学における様々な基盤を整備する必要がある。本企画セッションでは、大学における研究データガバナンスについて、先進的な事例を共有し、その在り方について検討することを目的とする。具体的には、データポリシー、ガイドライン、支援体制、情報基盤、データマネジメントプラン、人材育成、教材等を取り上げ、実践例に関する講演、及び、パネル討論を実施する。

15AM2A　教育コンテンツ共有の課題と将来：OER と授業目的公衆送信補償金制度

学術・教育コンテンツ共有流通部会（CSD）（提案責任者：山田恒夫）
日時：2022/12/15　10：45 ～ 12：15　　場所：A 会場（展示棟・会議室 1）

■オーガナイザ

山田　恒夫（放送大学）

■講師・パネリスト・司会者等

司会：
布施　　泉（北海道大学）
講演・パネルディスカッション：
1）OER とは何か：日本における現状（放送大学・山田恒夫）
2）大学における改正著作権法第 35 条運用の実際（広島大学・隅谷孝洋）
3）オンライン授業と大学の将来（京都大学・喜多一）

■セッション概要

わが国では、教育コンテンツの共有･再利用をめぐって、コロナ禍（COVID-19 パンデミック）の少し前から、大きな動きがあった。1 つは、ユネスコの「オープン教育資源（OER）に関する勧告」（2019 年 11 月 25 日第 40 回ユネスコ総会にて採択）が、2020 年 11 月 24 日の閣議決定を経て国会報告され、日本でも社会的に認知されるに至ったこと、もうひとつは、2020 年 4 月施行の改正著作権法により、授業目的公衆送信補償金制度の運用が始まったことである。後者は当初補償金額 0 円で開始されたが、補償金管理団体の SARTRAS を中心に制度整備が進められ、現在では集められた補償金の分配が始まっている。
コロナ禍において、多くの教育機関や教員がオンライン授業の実施を余儀なくされ、授業記録ビデオやオンライン教材を作成したり利用したりすることも珍しくなくなった。なかには、作成したコンテンツを SNS 等で共有し利用するようなケースも増えてきた。本セミナーでは、教員あるいは教育機関が OER として公開する場合にどのような配慮が必要なのか、一方、教員あるいは教育機関が OER を授業で利用する場合、著作権法第 35 条適用コンテンツをどう併用すべきか、課題を整理し、将来への展望をうる。

15AM2B　賛助会員が AXIES に期待するもの　～会長と語ろう！～

AXIES 会長企画セッション（提案責任者：深澤良彰）
日時：2022/12/15　10：45 ～ 12：15　　場所：B 会場（展示棟・会議室 2）

■オーガナイザ
深澤　良彰（早稲田大学（AXIES 会長））

■講師・パネリスト・司会者等
深澤　良彰（早稲田大学（AXIES 会長））

■セッション概要
賛助会員が AXIES に期待するものや AXIES が賛助会員に期待するものについて、AXIES 会長と賛助会員との情報交換を行う。

15AM2E　大学における研究データの利活用を支える最先端ストレージソリューション

研究データマネジメント部会（提案責任者：松原茂樹）
日時：2022/12/15　10：45 ～ 12：15　　場所：E 会場（会議棟・萩）

■オーガナイザ
脇　　昌弘（ネットアップ合同会社）
渥美　紀寿（京都大学）

■講師・パネリスト・司会者等
司会：
脇　　昌弘（ネットアップ合同会社）
講師：
脇　　昌弘（ネットアップ合同会社）
渥美　紀寿（京都大学）
神原　豊彦（ネットアップ合同会社）
前川　和也（エクイニクス・ジャパン株式会社）
矢萩　陽一（エクイニクス・ジャパン株式会社）
櫻田　武嗣（アマゾンウェブサービスジャパン合同会社）

■セッション概要
研究活動における研究データの役割が増すにつれ、信頼性のある研究データの適切な管理・利活用促進のため、研究データの管理・利活用を支える環境整備が喫緊の課題となっている。そのベースとなる共有ストレージについては、最新の情報をアップデートする必要がある。このセッションでは、IT 部門の運用・管理負担の軽減を視野に入れたマネージドサービスとしての従量課金型のストレージやパブリッククラウドで提供される先進的な技術機能をこれまで以上に迅速かつ有効に利用できるようハイブリッドクラウドやマルチクラウドアーキテクチャを視野に入れたストレージについて賛助企業から最新アップデートの機会を設ける。

15PM1A　高等教育機関における ICT 利活用の現状と展望　～ 2020 年度調査の分析結果から～

ICT 利活用調査部会（提案責任者：重田勝介）
日時：2022/12/15　13：45 ～ 15：15　　場所：A 会場（展示棟・会議室 1）

■オーガナイザ
重田　勝介（北海道大学）

■講師・パネリスト・司会者等
重田　勝介（北海道大学）
酒井　博之（京都大学）
辻　　靖彦（放送大学）
稲葉利江子（津田塾大学）
平岡　斉士（熊本大学）
伏木田稚子（東京都立大学）

■セッション概要
本セッションでは、2020 年度に全国の高等教育機関向けに実施した ICT 利活用調査の分析結果について報告する。本調査では、各大学における ICT 利活用教育に関する組織戦略、実施状況、利点・欠点、支援体制、オンライン授業の実施状況等について調査した。本セッションでは調査結果の分析から、高等教育機関の ICT 利活用における可能性や課題について議論する。

15PM1B　Shedding Light on Shadow: Global Open Source and Open Standards to advance teaching and learning

オープンソース技術部会（提案責任者：大西淑雅）
日時：2022/12/15　13：45 ～ 15：15　　場所：B 会場（展示棟・会議室 2）

■オーガナイザ
梶田　将司（京都大学）

■講師・パネリスト・司会者等
Patrick Masson（Apereo Foundation）

■セッション概要
オープンソース部会では、Apereo Foundation と大学 ICT 推進協議会との間の覚書に基づき、Apereo Foundation Interim General Manager の Patrick Masson 氏を招へいします。本企画セッションでは、2030 年頃のオープンソース利活用を想定し、どのようなベネフィットや機会があり得るのか、また、そのプロセスについて前任の Open Source Initiative での経験や知見に基づいてお話し頂きます。なお、最新の情報はオープンソース技術部会のホームページ https://oss.axies.jp/activity/y2022/kikaku202212b/ にてお知らせします。また、公開可能な資料等は、年次大会終了後に提供する予定です。

memo

ランチョンセミナー
出展者セミナー

ランチョンセミナー

12月13日（火）

13LB1C　教育DXで実現する学習評価ワークフロー ～レポート課題の効果的なフィードバック＆効率的なデジタル採点～

出展者：ターンイットイン・ジャパン合同会社
日時：2022/12/13　12：30～13：30　　場所：C会場（展示棟・会議室3）

授業の質的向上と学生の満足度向上において、教員の学生へのフィードバックの有用性は研究で報告されていますが、時間と労力の面で教員への負担が少なくないことが懸念されます。本セミナーでは、学生のレポートや課題の添削・採点・評価のワークフロー最適化によるフィードバックの効率化、デジタル採点システム導入による採点業務全般の負担軽減について、研究で検証された弊社ツールの有用性や導入事例を交えて紹介いたします。

13LB1D　今そこにあるセキュリティリスクは見えていますか？ IT資産の衛生管理サイバーハイジーンとは

出展者：タニウム合同会社
日時：2022/12/13　12：30～13：30　　場所：D会場（展示棟・会議室4）

ランサムウェアなどの攻撃にどう備えるか？何からセキュリティ対策をすべきなのかといった課題はありませんか？新型コロナウィルスの感染リスク低減のため、うがい、手洗い、予防接種などが重要なようにIT資産においても全ての資産をリアルタイムに把握し脆弱性を確実に対処することでリスクを低減し、重大なインシデントを防ぐ効果があります。本セッションではサイバーハイジーンのユースケースをデモを交えご紹介いたします。

13LB1F　AWSで実現する研究・教育のデジタルトランスフォーメーション

出展者：アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社
日時：2022/12/13　12：30～13：30　　場所：F会場（会議棟・橘）

教職員・研究者・学生がどのようにICTの恩恵を受けるべきか「利用者視点」のシステム提供が求められています。クラウドは単なる計算資源のアウトソーシングではなく、従来は実現できなかったことを可能にします。本セミナーではクラウド導入・移行に対して期待と不安の両方をお持ちの皆さまに、基本的な情報から組織としてクラウドを導入するノウハウをご提供するとともに、国内外の事例をご紹介します。

12月14日（水）

14LB1B　学生の個人持ち PC を有効活用するための情報・環境づくりのご提案 ～ BYOD に対応する各種システムや事例のご紹介～

出展者：株式会社内田洋行
日時：2022/12/14　12：30～13：30　　場所：B 会場（展示棟・会議室 2）

各大学では、学生の個人持ち PC の普及から活用へと関心がシフトしてきています。本セミナーでは活用促進のための「BYOD に対応する授業支援・語学学習システム」、什器を含めた「教室環境整備」、AV・ICT の「一括制御・操作システム」の 3 点についてご紹介します。さらに、BYOD への変化の中で提供される新たな学生サービス（認証、コンビニ証明書、等）も合わせてご紹介します。

14LB1C　国立大学法人東京農工大学　進化を続ける学内情報基盤！ 仮想デスクトップサービスと認証をクラウドで統合管理する IDaaS 導入の事例紹介

出展者：ユニアデックス株式会社
日時：2022/12/14　12：30～13：30　　場所：C 会場（展示棟・会議室 3）

実際に学内情報基盤に携わっている東京農工大学の先生をお招きして、進化を続ける学内情報基盤の在り方、学生の持ち込み PC 端末で授業／自習を可能とする仮想デスクトップサービスの今後、IDaaS 導入における全体最適化のポイント等について、体験談を交えてご講演頂きます。

14LB1D　2022 年度版、全国 791 大学の最新アカウント漏洩調査レポートから読み解く、不正アクセス・情報漏洩の実態と対策

出展者：株式会社ソースポッド
日時：2022/12/14　12：30～13：30　　場所：D 会場（展示棟・会議室 4）

ソースポッドが毎年調査・発行している「全国 788 大学のアカウント漏洩調査レポート」より、大学における情報漏洩の実態と、不正アクセスによる被害状況について解説。
ご参加特典として、所属大学のアカウント漏洩状況と危険度を可視化した「アカウント漏洩調査レポート」を無償提供いたします。

14LB1E　大学・研究機関における AWS 活用事例 ～クラウドの調達方法から活用事例までをご紹介～

出展者：MEGAZONE 株式会社
日時：2022/12/14　12：30～13：30　　場所：E 会場（会議棟・萩）

弊社は大学・学術機関様向けに AWS の活用を支援するパートナー企業です。昨今、大学・学術機関様において教育・研究の本質に集中する為、AWS の利用が拡大しています。本セミナーでは AWS の買い方、支払い方から、情報基盤システム、研究用途など様々なシーンで活用される AWS の具体的な活用事例について紹介します。弊社の請求管理ツール Hyper Billing の活用、構築や運用のサービスをご紹介します。

14LB1F　大学 DX を成功させるために ～唯一無二の大学 DX を大学内外の組織と階層を超えて、かつセキュアに実現しよう

出展者：日本マイクロソフト株式会社
日時：2022/12/14　12：30～13：30　　場所：F 会場（会議棟・橘）

大学 DX を成功させるため大学内外の組織や階層を超えて多様なコミュニケーションスタイルを用いながら実践く事例をもとに識者とのディスカッションを通じ、これからの DX を考えます。

12月15日（木）

15LB1C　Rubrikが提供する次世代データセキュリティ ～オンプレ、クラウド、MS365でも～

出展者：Rubrik Japan
日時：2022/12/15　12：30～13：30　　場所：C会場（展示棟・会議室3）

サイバーセキュリティ企業であるRubrikは、The Zero Trust Data Security（TM）カンパニーの先駆者です。機械学習を活用したRubrik Security Cloudは、オンプレミス、クラウド、およびSaaSアプリケーション全体のデータを安全に保護します。サイバー攻撃からデータを自動的に保護し、データリスクを継続的に監視し、データとアプリケーションを迅速に復旧させます。

15LB1D　講義動画収録／配信・視聴／クラウド型　総合ビデオプラットフォーム「Panopto（パノプト）」の活用方法

出展者：株式会社映像センター
日時：2022/12/15　12：30～13：30　　場所：D会場（展示棟・会議室4）

学生と教員の双方にメリットをもたらす、クラウド型・講義用動画／収録/配信プラットフォーム「Panopto（パノプト）」の特長紹介と、コロナ禍以降におけるオンライン／オフライン／ハイブリッド／ハイフレックス型授業での活用手法をご紹介。

15LB1E　国内大学の事例をご紹介！大学ネットワークの共通課題を知り、Mist AIOpsによるスマートな解決法を学ぶ60分

出展者：ジュニパーネットワークス株式会社
日時：2022/12/15　12：30～13：30　　場所：E会場（会議棟・萩）

無線LAN、有線LAN、SD-WAN、セキュリティ、クラウドまで、キャンパスネットワーク全体を一気通貫でユーザー体感を分析・可視化し、運用管理の自動化・省力化に最適なAIドリブンの運用を実現するプロアクティブ型AIOps（AIを活用した運用）ソリューションを国内事例を交えてご紹介◆オンライン授業に繋がらない・遅い◆日々のトラブルシューティングに時間が掛かるといった課題を解決します。

15LB1F　Google Cloudが推進する最新のAIソリューションを活用した研究DX

出展者：グーグル・クラウド・ジャパン合同会社
日時：2022/12/15　12：30～13：30　　場所：F会場（会議棟・橘）

研究DXにおける、Vertex AI導入事例についてご紹介いたします。Vertex AIはデータサイエンスやAI・機械学習の研究・開発において求められる多くのツールを1つの統合されたUIで提供するAIプラットフォームです。Vertex AIを導入いただき、AIモデルの開発を加速いただく事例についてご紹介します。

出展者セミナー

12 月 14 日（水）

14AM1C　総合大学導入事例に学ぶ人事トータルシステムの効用
出展者：スマカン株式会社
日時：2022/12/14　9：00 ～ 10：00　　場所：C 会場（展示棟・会議室 3）

人事トータルシステム“スマカン”につきまして、その機能、導入メリット等を、総合大学向け導入事例、導入に際しての目的及びそれに至った課題、それが“スマカン”でどの様に解決できるのか（なぜそう判断できたのか）、将来展望などを交えながらご紹介いたします。

14AM1D　迫りくるランサムウェアの魔の手！感染を防ぐデータ保護戦略とは
出展者：株式会社クライム
日時：2022/12/14　9：00 ～ 10：00　　場所：D 会場（展示棟・会議室 4）

昨今、猛威を振るうランサムウェア。最近ではバックアップデータもそのターゲットとなっており、バックアップデータも含めて暗号化／削除されてしまうことで、復旧もできず、被害が大きくなってしまう例も報告されています。本セミナーでは、クライム取り扱い製品によるランサムウェア対策、日々の監視によるランサムウェアの早期発見や、バックアップデータ堅牢化による防止策など、様々なデータ保護戦略について紹介します。

14AM1E　SINET6 とデータ収集・解析基盤
出展者：国立情報学研究所
日時：2022/12/14　9：00 ～ 10：30　　場所：E 会場（会議棟・萩）

今日の学術研究において研究データはその重要性をますます強くしています。NII では 2021 年、研究データ基盤のサービス提供を開始しましたが、実際の研究活動ではデータの流通を担うネットワーク基盤もこれまで以上に重要となっています。本セミナーでは、2022 年から提供を開始した学術ネットワーク「SINET6」をご紹介するとともに、データ収集・解析の場面でどのように活用できるのか皆様と議論したいと思います。

14AM1F　Google Cloud で実現する大学業務改革と DX
出展者：グーグル・クラウド・ジャパン合同会社
日時：2022/12/14　9：00 ～ 10：00　　場所：F 会場（会議棟・橘）

Google Cloud が大学における業務改革や DX をどのようにお手伝いさせていただけるかをご紹介いたします。Google Workspace for Education や Chromebook を活用した業務改革や、Google Cloud をクラウド基盤とした LMS など実際のご活用事例も合わせてご紹介させていただきます。

14AM2C　IDaaS「Extic」へ全面移行！東北学院大学様の取組みとは／散在する学内 ID を統合管理する新クラウドサービスのご紹介
出展者：エクスジェン・ネットワークス株式会社
日時：2022/12/14　10：45 ～ 11：45　　場所：C 会場（展示棟・会議室 3）

学認に対応した IDaaS「Extic」のご紹介と、実際に導入いただいた東北学院大学様の導入背景や効果を具体的にご紹介します。また、人事給与や学務システムなどに散在する学生や教職員の ID をひとつのクラウド DB へ集約できる新サービスをご紹介します。

14AM2D　攻撃者よりも優位な立場で組織を守るために

出展者：KELA 株式会社
日時：2022/12/14　10：45 ～ 11：45　　場所：D 会場（展示棟・会議室 4）

「いつか来るかもしれないサイバー攻撃から組織を守るために備える」というこれまでのセキュリティ対策の概念を取り払い、「守る側が能動的に情報を集め、シミュレートして対策する」ことで、攻撃される前に対策を行うことができます。その対策は、守る側ではなく攻撃者側の情報や技術、知見などを活用しなければ意味がありません。本セッションでは、その闇の部分に迫りながら、事例とともに弊社の技術を紹介いたします。

14AM2E　実践的セキュリティ人材育成に関する取り組み

出展者：東北大学大学院情報科学研究科 実践的情報教育推進室
日時：2022/12/14　10：45 ～ 12：15　　場所：E 会場（会議棟・萩）

先進技術の知識に加え、理解・応用できる実践的能力あるセキュリティ人材育成のために全国の大学で連携・運用しているセキュリティ人材育成コース Basic SecCap/SecCap/ProSec を運営しています。本セミナーでは取り組み事例を紹介し、実践的人材育成に関して参加者との意見交換を行います。

14AM2F　世界の潮流　Salesforce for Education　～　CRM で生涯にわたる学習者と教育機関とのエンゲージメントを支援

出展者：株式会社セールスフォース・ジャパン
日時：2022/12/14　10：45 ～ 11：45　　場所：F 会場（会議棟・橘）

社会環境の急激な変化とともに、入学候補者や学生、卒業生、保護者などあらゆるステークホルダーが求める体験も変化しています。こうした期待に応えるために、生涯にわたって学習者と教育機関とのエンゲージメントを実現する教育機関向け CRM プラットフォームとして Tableau・MuleSoft・Slack を含む「Salesforce for Education」について顧客事例を交えながらご紹介します。

14PM3A　AI・データサイエンス教育の全学導入に備える

出展者：日経パソコン Edu ／日経 BP
日時：2022/12/14　16：30 ～ 17：30　　場所：A 会場（展示棟・会議室 1）

政府は「AI 人材育成」の観点から、大学･高等専門学校で、文理を問わず AI･データサイエンス教育を展開する方針を打ち出し、取り組みに対する認定制度も動き出しています。これを受けて、教育機関ではどのように教育を進めていけばよいのでしょうか。文部科学省の政策や大学での実践事例を紹介し、AI・データサイエンス教育の全学導入のポイントと具体的な対応策について解説します。

14PM3B　進化を続ける「in Campus シリーズ」で共創し実現を目指す教育 DX の姿

出展者：キヤノン IT ソリューションズ株式会社
日時：2022/12/14　16：30 ～ 17：30　　場所：B 会場（展示棟・会議室 2）

LMS・ポータルを中心に 2014 年にリリースし、今なお進化し続ける教育支援プラットフォーム「in Campus シリーズ」の全容とストロングポイントについて直接、開発に携わるメンバーが解説するとともに今後の進化の方向性についてもコメントします。

14PM3C　クラウドネイティブ時代のテレワークと FIDO2 による認証強化

出展者：ジェイズ・コミュニケーション株式会社
日時：2022/12/14　16：30 ～ 17：30　　場所：C 会場（展示棟・会議室 3）

クラウドネイティブに伴うシステム構成の複雑化や、働き方の多様化が進みつつある今、テレワークには柔軟かつ簡易な運用とセキュリティ強化が求められています。ネットワーク管理とセキュリティ機能が包含された SASE を活用したテレワークと、FIDO2 認証による多要素認証の仕組みとシングルサインオンについてご紹介します。

14PM3D　Axis システムオンチップ (SoC)/DLPU によるネットワークのエッジにおけるディープラーニング分析の新たな時代の到来

出展者：アクシスコミュニケーションズ株式会社
日時：2022/12/14　16：30 ～ 17：30　　場所：D 会場（展示棟・会議室 4）

Axis は、20 年以上にわたる独自画像処理 CPU 開発の積み重ねにより、カメラ自体の内部で処理されるリアルタイムでの物体検知や分類などの分析機能を提供しています。カメラ内蔵の分析機能自体は新しいものではなく、Axis では高画質な映像とディープラーニングの組み合わせにより分析機能に変革をもたらします。本セミナでは、Axis Edge IoT における基礎技術と今後の方向性のご紹介をいたします。

14PM3E　大学で実績多数のゼロトラスト・セキュリティ - フィッシング・ランサムウェア・在宅勤務対策の事例紹介 -

出展者：アカマイ・テクノロジーズ合同会社
日時：2022/12/14　16：30 ～ 17：30　　場所：E 会場（会議棟・萩）

昨今は、大学におけるクラウドの活用やパンデミック対策など、従来型のネットワーク基盤とセキュリティの考え方が通用しなくなっています。その様な中、クラウドサービス型でセキュリティを提供するアカマイのソリューションは、日本の多くの大学で採用されています。
本セッションでは、アカマイのゼロトラスト関連ソリューションの紹介と大学における事例について情報をお届けします。

14PM3F　Amazon ビジネスによる新しい購買システム

出展者：アマゾン ウェブ サービス　ジャパン合同会社
日時：2022/12/14　16：30 ～ 17：30　　場所：F 会場（会議棟・橘）

公的資金の利用ガイドラインや電子帳簿保存法の改正、調達対象の物品の多様化など研究・教育機関を取り巻く調達・購買の環境は大きく変化しています。そのため機関内の調達に関わるルールやシステムの刷新が求められています。本講演では、組織が Amazon の法人向け EC サービスである Amazon ビジネスを活用し、どのように調達・購買の公正さを維持しつつ効率化出来るのかについて、実例を交えながらご紹介いたします。

12 月 15 日（木）

15AM1C　現場でできる大学 DX

出展者：キーウェアソリューションズ株式会社 東北支店
日時：2022/12/15　9：00 ～ 10：00　　場所：C 会場（展示棟・会議室 3）

入力や集計などの事務作業でお困りのことはありませんか？スマホひとつで作業ができればいいのに…そんなお悩みの解決手段としてノーコード開発ツールを活用する大学が増えています。ノーコードは、専門的な知識が不要なため、職員の方々で開発することができ、“ 幅広い業務 ” の DX を “ 短期間 ” かつ “ 低コスト ” で実現することが可能です。本セミナーではノーコードによる DX を実現された大学の活用例についてご紹介いたします。

15AM1F 【第 4 のクラウドサービス】が凄い !? 今、注目の OCI とは

出展者：日本オラクル株式会社
日時：2022/12/15　9：00 ～ 10：00　　場所：F 会場（会議棟・橘）

本セミナーで得られる情報
・予算が足りなくなる !? 知らないと危ないクラウド調達時の落とし穴
・クラウドを先行して導入した業界から学ぶ !! メリットを最大化させるその方法とは
・今、注目の【第 4 のクラウドサービス】OCI を徹底解説
・OCI の HPC が自動車業界を席巻 !? クラウドの常識を覆したそのヒミツ
・学生がクラウドを使って市長に施策を提案 !? 教育 × 地域課題解決を実現する新たな DX

15AM2C　サーチ・セキュリティ・オブザーバビリティ、高速でスケーラブルな検索エンジン Elasticsearch の活用法

出展者：Elasticsearch 株式会社
日時：2022/12/15　10：45 ～ 11：45　　場所：C 会場（展示棟・会議室 3）

オープンな開発プロセスで、リアルタイムな検索性能とペタバイトのデータに対応できる拡張性を備えた Elasticsearch は、世界で最も多くのエンジニアに支持されている検索エンジンとして評価されています。また単に情報を検索する用途だけでなく、サイバーセキュリティやオブザーバビリティの分野でも広く活用されています。Elastic が提供するそれぞれのソリューションを、利用事例を交えてご紹介いたします。

15AM2D　AI チャットボットを活用した大学 DX について ～成功事例から見る学生サービス向上とデータ活用～

出展者：株式会社 PKSHA Workplace
日時：2022/12/15　10：45 ～ 11：45　　場所：D 会場（展示棟・会議室 4）

コロナウイルスの流行をきっかけに、大学では授業のデジタル化への対応のみならず、DX の推進によって更に質の高い教育や学校生活を提供することが求められています。これに応える方法として、学内コミュニケーションのデジタル化、そして蓄積したデータの活用について実際の大学事例とともにお話します。

15AM2F　あらゆる DX の根底に共通してある「コラボレーション」。Cisco が大学様と描くその未来とは？

出展者：シスコシステムズ合同会社
日時：2022/12/15　10：45 ～ 11：45　　場所：F 会場（会議棟・橘）

コロナ渦における緊急対応として広がったオンライン会議システム。
教育、研究など現場に広く浸透した一方、その利用は「緊急対応としてのオンライン会議システム」の延長線上に今なお留まっていませんか？
DX が加速する今、従来の枠を超えた「DX を支えるコラボレーションプラットフォーム」を実現していくことは必要不可欠であり、その実現をご支援する Webex の最新ソリューションをご紹介します。

15PM1C　デジタル資格証明に関する標準化動向と ID 基盤サービス「SELMID」

出展者：CTC
日時：2022/12/15　13：45 ～ 14：15　　場所：C 会場（展示棟・会議室 3）

大学において資格証明の発行は重要なトピックです。
世界的にも Verifiable Credentials 等の標準策定や実証実験が進んでいます。
本講演ではそれら動向及び弊社 ID 基盤サービス「SELIMD」の対応状況をご紹介いたします。

15PM1D　あらゆる脅威から大学を守る自己学習型 AI

出展者：ワールドビジネスセンター株式会社
日時：2022/12/15　13：45 ～ 14：15　　場所：D 会場（展示棟・会議室 4）

利用者による持込みデバイスや勝手に繋がれるルーターなど、不安・心配になることはありませんか？
メールからの侵入や最新の脆弱性をつく攻撃等、脅威はどこから入ってくるのか、わかりません。
本セミナーでは、従来型のセキュリティ製品では防げない脅威を独自の AI 技術でリアルタイムに検知および自動対処する仕組み・機能を実装した製品をご紹介します。

15PM1E　顔認証などセンシングを使ったソリューションとオンデマンド配信ツール Panopto で教育現場の DX をバックアップ

出展者：パナソニック コネクト株式会社
日時：2022/12/15　13：45 ～ 14：15　　場所：E 会場（会議棟・萩）

顔認証技術を活用したお役立ちをご提案。出欠管理、混雑検知など大学全体のセンシング技術を使った課題解決提案を実施します。
動画収録配信サービスの Panopto は授業のオンデマンド配信だけでなく、教育現場での動画の活用を効果的、効率的に実施可能です。世界の教育現場で 1,300 を超える実績で安心安全に活用いただけます。実際の活用事例もご紹介させていただきます。

15PM1F　教育デジタル ID が変革する大学のありかた

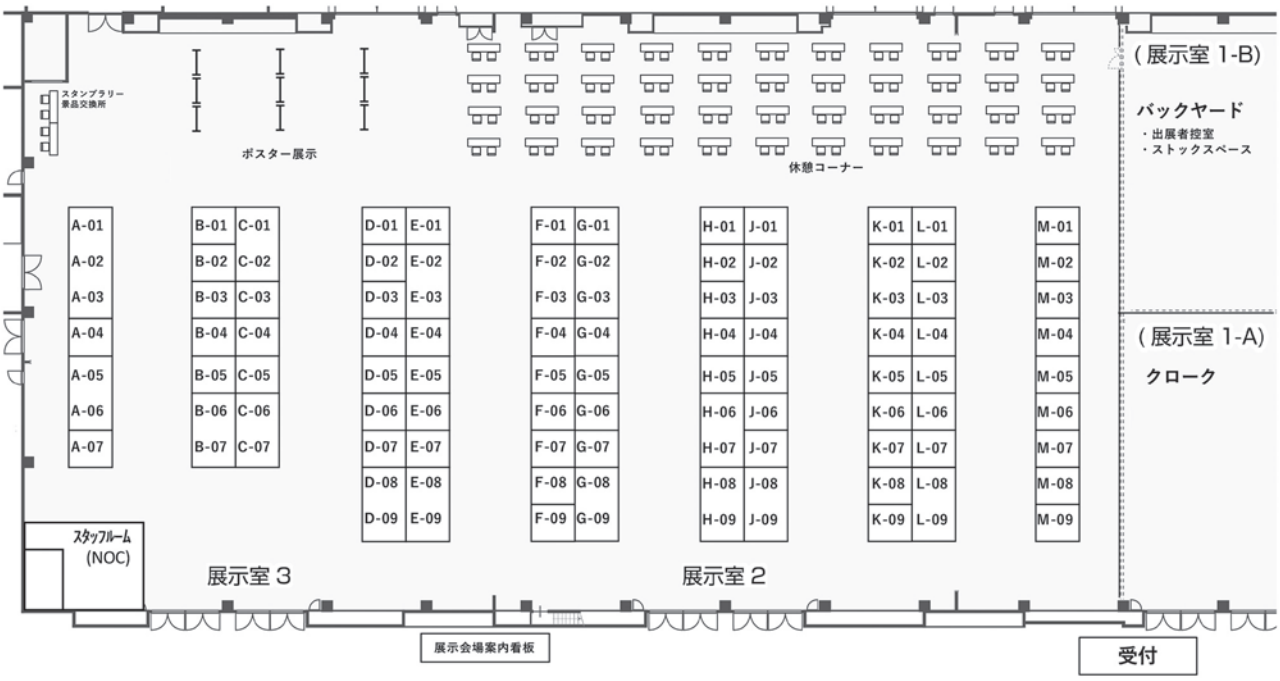
出展者：日本電気株式会社
日時：2022/12/15　13：45 ～ 14：15　　場所：F 会場（会議棟・橘）

デジタル庁が公表している「教育データ利活用ロードマップ」の通り、初等中等教育から高等教育、さらにはリカレント教育など生涯にわたる学びの環境整備や学習歴証明に向けて、教育機関内や機関間の ID 統合が必要です。NEC では、教育機関へ提供してきた統合 ID 管理にマイナンバーカード連携機能を付加し、生涯の教育データを一元化し本人にとって最適なデータ利活用を実現する仕組みを提供します。

memo

展示

展示マップ



出展者一覧

A-01-03	株式会社内田洋行
A-04	京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社 東北営業部
A-05/06	株式会社映像センター
A-07	日本オラクル株式会社
B-01	株式会社ネットスプリング
B-02	サイオステクノロジー株式会社
B-03	ユニアデックス株式会社
B-04	ワールドビジネスセンター株式会社
B-05	ターンイットイン・ジャパン合同会社
B-06/07	SRA 東北 SRA グループ
C-01/02	東北インテリジェント通信株式会社
C-03	Infoblox 株式会社
C-04	株式会社東和エンジニアリング
C-05	パナソニック コネクト株式会社
C-06/07	シスコシステムズ合同会社
D-01	スマカン株式会社
D-02	株式会社ソリトンシステムズ 東北営業所
D-03	キーウェアソリューションズ株式会社 東北支店
D-04	株式会社アドックス
D-05	日本データパシフィック株式会社
D-06	CTC
D-07	アカマイ・テクノロジーズ合同会社
D-08/09	株式会社セールスフォース・ジャパン
E-01	ネットアップ合同会社
E-02/03	エイチ・シー・ネットワークス株式会社 日本ヒューレット・パッカード合同会社
E-04	パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社
E-05	富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社 宮城支社
E-06	ソニーマーケティング株式会社

E-07	MEGAZONE 株式会社
E-08/09	アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社
F-01	エクスジェン・ネットワークス株式会社
F-02/03	株式会社シー・オー・コンヴ
F-04	株式会社レスターコミュニケーションズ
F-05	SCSK 株式会社
F-06	チエル株式会社
F-07	クラウディアン株式会社
F-08	KELA 株式会社
F-09	株式会社 PKSHA Workplace
G-01	Rubrik Japan
G-02/03	ジェイズ・コミュニケーション株式会社
G-04	三谷商事株式会社
G-05	システムギア株式会社
G-06	株式会社 Fusic
G-07	株式会社エヌジーシー 日本クアンタムストレージ株式会社
G-08/09	日本マイクロソフト株式会社
H-01	ジュニパーネットワークス株式会社
H-02	Elasticsearch 株式会社
H-03	株式会社フォトロン
H-04	株式会社シーイーシー
H-05	株式会社コムネット
H-06/07	アラクサラネットワークス株式会社
H-08/09	フォーティネットジャパン合同会社
J-01	株式会社サテライトオフィス
J-02/03	日本システム技術株式会社
J-04	株式会社 NTTPC コミュニケーションズ
J-05	oVice 株式会社
J-06	F5 ネットワークスジャパン合同会社

J-07	富士フイルム株式会社
J-08/09	グーグル・クラウド・ジャパン合同会社
K-01	タニウム合同会社
K-02/03	丸紅情報システムズ株式会社
K-04	リコージャパン株式会社
K-05	株式会社カオナビ
K-06	株式会社アルファシステムズ
K-07	日鉄ソリューションズ株式会社
K-08	東日本電信電話株式会社
K-09	西日本電信電話株式会社
L-01	株式会社クライム
L-02	Sky 株式会社
L-03	株式会社ソースポッド
L-04	株式会社ネクステージ
L-05	日本電気株式会社
L-06	トレンドマイクロ株式会社
L-07	キヤノン IT ソリューションズ株式会社
L-08/09	アクシスコミュニケーションズ株式会社
M-01	日経パソコン Edu 日経 BP
M-02	国立情報学研究所
M-03	大阪大学 サイバーメディアセンター
M-04	名古屋大学 情報連携推進本部
M-05	東北大学データシナジー創生機構
M-06	東北大学病院
M-07	東北大学大学院情報科学研究科 実践的情報教育推進室
M-08	一般社団法人高度 IT アーキテクト育成協議会
M-09	一般社団法人大学 ICT 推進協議会

展示（正会員）

M-02　国立情報学研究所
「SINET6 とデータ収集・解析基盤」
NII では 2021 年に研究データ基盤、2022 年に SINET6 の提供を開始しました。展示では、SINET6 や研究データ管理基盤などのサービスをご紹介します。

M-03　大阪大学 サイバーメディアセンター
「大阪大学 サイバーメディアセンター」
大阪大学サイバーメディアセンターの教育研究を支える様々な活動をご紹介します。

M-04　名古屋大学 情報連携推進本部
「継続的な情報環境改善を進める名古屋大学」
情報連携推進本部の活動、サービス、基盤整備、情報基盤共同利用等について、特に、認証基盤等の情報基盤の統合推進や AP / クライアント両情報を使う無線 LAN 不調報告ページ等の継続的な改善について紹介を行う。

M-05　東北大学データシナジー創生機構
「東北大学データシナジー創生機構の紹介と業務の DX 推進プロジェクト・チームの活動について」
サイバーサイエンスセンター、データ駆動科学・AI 教育研究センター及び未踏スケールデータアナリティクスセンターの紹介と業務の DX 推進プロジェクト・チームの活動内容を展示する。

M-06　東北大学病院
「東北大学病院での COVID19 対応にみる医療 DX」
東北大学病院は、県内の医療機関、行政と密に連携し、COVID19 の感染制御に積極的に対応してきました。医療体制が逼迫する中、迅速かつ機動的に対応してきた医療 DX の取り組みなどについてご紹介いたします。

M-07　東北大学大学院情報科学研究科 実践的情報教育推進室
「SecCap セキュリティ人材育成」
知識と理解・応用の実践的能力をもつセキュリティ人材育成のために全国 の大学及び企業の連携で運用しているセキュリティ人材育成コース Basic SecCap/SecCap/ProSec を紹介します。

M-09　一般社団法人大学 ICT 推進協議会
「大学 ICT 推進協議会（AXIES）の活動状況」
・大学 ICT 推進協議会の概要、現況
・情報倫理デジタルビデオ小品集 8 の案内
・AXIES 論文誌「学術情報処理研究」の案内

展示（賛助会員・非会員）

A-01　株式会社内田洋行
「学生の個人持ち PC を有効活用するための情報・環境づくりのご提案」
「EC サイトにおける大学推奨 PC 販売」「複雑な AV 機器をスマホで楽々操作」「学生の育成／成長の可視化を促進する支援システム」「大学様ポータルアプリの決定版」「世界標準の CBT プラットフォーム」

A-04　京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社 東北営業部
「多くの国内大学から選ばれている学生向けプリント管理のプラットフォーム
～ TASKGUARD ID マネージメントシステム」
様々な BYOD 環境に対応できる印刷管理システムです。
環境・資源・コストに配慮しながら、学生向けにプリンターや複合機による印刷環境を提供するためのプラットフォームです。

A-05　株式会社映像センター
「学生と教員の双方にメリットをもたらす、クラウド型・講義用動画／収録／配信プラットフォーム
「Panopto（パノプト）」」
収録・配信・編集・視聴・管理機能がひとつになった教育市場向け・総合ビデオプラットフォーム「Panopto（パノプト）」。

A-07　日本オラクル株式会社
「【第４のクラウドサービス】が凄い !? 今、注目の OCI とは」
学生がクラウドを使って市長にスマートシティ施策を提案 !?
クラウドの常識を覆したことで、自動車業界の HPC を席巻 !?
あのクラウドと比べてコストが半分以下 !?
今、注目の OCI を徹底解説。

B-01　株式会社ネットスプリング
「ネットスプリング製品展示コーナー」
LDAP/RADIUS ベースのアプライアンス製品「AXIOLE」、ネットワークエッジ製品「eFEREC」両製品の新機能や導入事例など、ネットスプリング製品の最新情報をご紹介します。

B-02　サイオステクノロジー株式会社
「校務 DX におけるペーパレスの実現、ネットワーク認証サービスについて」
ネットワーク認証の多要素化ソリューションのデモ・Shibboleth 関連：ID プロビジョニング、LDAP セルフメンテナンスの紹介・校務をクラウドで完結！ワークフロー「Gluegent Flow」の紹介。

B-03　ユニアデックス株式会社
「進化を続ける学内情報基盤！
仮想デスクトップサービスとクラウド型 ID 統合管理サービス IDaaS の大学様導入事例のご紹介」
学生の持ち込み PC 端末で授業／自習を可能とする仮想デスクトップサービスのご紹介と、大学の ID 管理、認証をクラウドで統合管理する IDaaS の導入に関し、それぞれ事例を交えてご紹介いたします。

B-04　ワールドビジネスセンター株式会社
「未知の脅威への対策強化！ AI 活用型サイバーセキュリティ製品のご紹介」
従来型のセキュリティ製品では、多種多様化したサイバー攻撃を防ぐことが難しくなってきております。
弊社ブースでは、AI を活用した次世代型サイバーセキュリティ製品をご紹介・展示いたします。

B-05　ターンイットイン・ジャパン合同会社
「レポートの類似度判定・添削・採点ツール Feedback Studio、AI を活用したデジタル採点ツール Gradescope ご紹介」
レポートの類似度判定・添削・採点ツール Feedback Studio、および AI を活用したデジタル採点ツール Gradescope で採点作業を合理化し、学習管理に役立つ機能をご紹介します。

B-06　SRA 東北／SRA グループ
「SRA 東北／SRA グループが提供するキャンパスソリューション」
学内の IT サービス利用における申請管理システムや通信教育課程も対応する教務システムの UniVision、学内の運用アウトソース等 SRA グループ各社が提供する多彩な文教向けサービスをご紹介します。

C-01　東北インテリジェント通信株式会社
「自社の光ファイバー網を基盤に構築した通信サービスにて、お客さまに最適な情報環境を最新の ICT 技術を活用しご提供します。」
自社のファイバー網を活用し、働き方改革やテレワーク等お客様のニーズに沿った通信サービスをご紹介。デジタルプラットフォーム『よりそう東北コネクト』では、お客様の課題を解決する情報発信をしています。

C-03　Infoblox 株式会社
「DNS セキュリティ最新動向紹介」
UTM などのゲートウェイ製品で防御できない、DNS を用いた攻撃が、マルウェアの 90％以上で利用されていることをご存じでしょうか。DNS を正しく保護し、リスクを低減しする方法をご紹介します。

C-04　株式会社東和エンジニアリング
「BYOD に最適なソリューションのご紹介」
BYOD を活用した教室設備の操作やリモート管理ツール、ワイヤレスでディスプレイやスクリーンへ簡単に表示できるビジュアルコラボレーション。AI を用いたコミュニケーションサポートツールをご紹介します。

C-05　パナソニック コネクト株式会社
「顔認証などセンシングを使ったソリューションとオンデマンド配信ツールPanoptoで教育現場のＤＸをバックアップ」
顔認証技術を活用したお役立ちをご提案。出欠管理、混雑検知など大学全体のセンシング技術を使った課題解決提案を実施。Panoptoは授業配信だけでなくデータを活用も可能。世界での実績も1,3000超。

C-06　シスコシステムズ合同会社
「教育・研究のためのハイブリットラーニング・ワークスタイル」
教育・研究のためのコラボレーション・ネットワーク・クラウド・セキュリティを展示いたします。
生産的・効果的な環境づくりに向けコラボレーションの活用方法、それを支えるインフラをご紹介いたします。

D-01　スマカン株式会社
「高等教育機関向けスマカン One 人事トータルシステム」
スマカンは、高い信頼性と安定した運用実績により670機関以上の大学・企業等への導入実績があります。タレントマネジメント、人事給与、就業管理、人事評価、等のシステムは、人事業務のDX化を支えています。

D-02　株式会社ソリトンシステムズ 東北営業所
「クラウドシフト、大学DXを推進するために不可欠な“ゼロトラスト”“セキュリティ”の実現例のご紹介」
国産セキュリティーメーカーであるソリトンシステムズでは、学内の無線認証、学外のクラウドサービス認証やSSOなどを、導入が簡易で安価に実現できる認証サービスをご紹介しております。

D-03　キーウェアソリューションズ株式会社 東北支店
「大は小を兼ねない！身近なとこから始める現場DX」
専門的な知識がないと始めることができないと感じているシステム開発。ベンダーに頼らない自らが推進できるDXを始めませんか？ RPA、AI-OCR、ローコードなど「迅速・安価・伴走」をテーマに紹介します。

D-04　株式会社アドックス
「魅力度がUPする！経験と実績に基づいた大学・研究機関向け広報ツールのご紹介」
ホームページ・映像・e-learningコンテンツ・イベントサポート・パンフレット等多種多様なニーズに社内一貫体制でお応えします。目的にあったコンテンツをこれまでの業務実績を交えてご紹介いたします。

D-05　日本データパシフィック株式会社
「『情報倫理デジタルビデオ小品集8』と、WebClassによる学修成果可視化の取り組みをご紹介致します。」
情報倫理デジタルビデオ小品集に「学部ライセンス」を新設。無料モニターも受付中。WebClassはeポートフォリオの土台となる「学習記録ビューア」、学修成果の可視化に使える「修学カルテ」をご紹介。

D-06　CTC
「分散型IDと検証可能なクレデンシャルによるデジタル資格証明」
弊社ID基盤サービス「SELIMD」により実現する検証可能なクレデンシャル（W3C Verifiable Credentials）の発行・検証についてご紹介します。

D-07　アカマイ・テクノロジーズ合同会社
「大学で実績多数のゼロトラスト？セキュリティ＆本年日本上陸IaaSのご紹介」
日本の大学が多数採用したゼロトラスト関連ソリューションとその事例、そして新たに日本でサービス提供を開始したシンプルで安価なクラウドコンピューティングサービス「Linode」を展示しております。

D-08　株式会社セールスフォース・ジャパン
「Salesforce for Education：CRM・Tableau・MuleSoft・Slackで実現する教育機関の変革」
VUCAの時代において多様な学習者への個別化対応や生涯を通じてのデータ管理がますます重要になっています。CRMのグローバルリーダーであるSalesforceの教育機関における活用についてご紹介します。

E-01　ネットアップ合同会社
「学術研究機関におけるData Fabricとクラウド最適化ソリューション」
ICT部門の運用・管理負担軽減を視野に入れたストレージのマネージドサービス、ハイブリッドマルチクラウドを視野に入れたストレージ、また最先端のクラウド最適化ソリューションについてアップデートいたします。

E-02　エイチ・シー・ネットワークス株式会社／日本ヒューレット・パッカード合同会社
「HCNET ／ Aruba 共同企画。
これからの大学 DX に必要不可欠な次世代インフラ Wi-Fi 6E とゼロトラスト・セキュリティのご紹介」
クラウドへの移行･アクセス多様化が進む大学 DX 化をささえる、次世代高速無線規格 Wi-Fi 6E、ゼロトラスト･セキュリティ、多要素認証の管理ツールなど新たなソリューションをご紹介します。

E-04　パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社
「大学 DX を支える次世代型 LMS・VDI ソリューション」
学修者本位の教育を実現する次世代型 LMS や、シラバス連携など大学に適した機能を持つ VDI ソリューションをご紹介します。

E-05　富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社 宮城支社
「大学事務管理の DX　～ AI による自動翻訳とワークフローの進化～」
国・文化の壁を越え多様な背景を持つ教職員のコミュニケーションと、時間・距離に制約されない意思決定を実現する、AI を用いた翻訳・データ入力の自動化、ミーティングボード、ワークフローをご紹介します。

E-06　ソニーマーケティング株式会社
「新世代の学びがはじまる。ソニーの教育ソリューション　先進のハイフレックス授業を実現する DX ソリューションと学生同士の主体的学びに資するラーニングコモンズのご提案」
ソニーの次世代型教育 ICT ソリューションを通し、一体感のある教室環境や高質なラーニングコモンズの構築に加え、反転授業や振り返り学習を支援する学習コンテンツの収録～配信までの一貫したワークフローをご紹介

E-07　MEGAZONE 株式会社
「大学・研究機関における AWS 活用事例　～クラウド活用状況と調達方法のススメ～」
AWS コストマネジメントツール「Hyper Billing」をご紹介。Hyper Billing は AWS 利用料を可視化しコスト削減に役立ちます。大学・研究機関における AWS 活用事例も展示いたします。

E-08　アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社
「One Amazon での学術・研究機関のご支援のご紹介」
AWS と Amazon が提供するサービス・ソリューションを展示します。AWS の 200 以上のクラウドサービス、Amazon ビジネス（法人向け EC）、Amazon Pay の寄付の仕組みなどをご紹介します。

F-01　エクスジェン・ネットワークス株式会社
「学認対応 クラウド型認証基盤「Extic」と 国内シェア No.1 ID 管理 PKG「LDAP Manager」」
学認に対応したクラウド認証基盤「Extic」と、多くの大学様でご利用いただいている ID 管理パッケージ「LDAP Manager」をご紹介いたします。

F-02　株式会社シー・オー・コンヴ
「PC 教室・VDI・AVD の運用支援ソリューション
～講義をスムーズに進めるための共通環境を提供する端末システムとその運用コストを抑えるディスクイメージ管理製品～」
BYOD 化が進んだこの先もなお大学での講義を効率良く行うには PC 教室や VDI による共通環境の整備が欠かせません。ネットブートや AVD を活用し共通環境の運用負担を減らす各種ソリューションを提案します。

F-04　株式会社レスターコミュニケーションズ
「講義収録 AI 音声解析システム」
講義を収録し音声解析・テキスト化・タグ化します。学生はワード検索すると、数ある講義動画の中から、その言葉を含む講義を見つけ出すことができ、さらにそのワード部分から動画を再生することができる。

F-05　SCSK 株式会社
「クラウド化が進む教育現場にセキュアな多要素認証を！安心安全を実現するセキュリティデバイス「Yubikey」」
文部科学省の「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」において、本人認証を強固する多要素認証の実装が推奨されました。当ブースでは簡単に実装できるツールとして YubiKey をご紹介します！

F-06　チエル株式会社
「統合 ID 認証・SSO 基盤構築を支援する『ExtraConsole?』シリーズとオンライン授業支援システム『CaLabo? Online』のご紹介」
チエルは学校教育市場に特化した ICT 専業メーカーです。全国 6 割以上の？学で、いずれかのチエル製品が 1 製品以上導？されています。豊富な導入実績を元に、教育現場の課題を ICT で解決します。

F-07　クラウディアン株式会社
「日本発祥のネイティブ S3 対応のオブジェクトストレージ『クラウディアン：HyperStore』」
HW アプライアンスだけでなく 10TB からの SW 容量ライセンスも提供しています。GakuNinRDM への採用実績もあります。ブースの目印は『忍者』です。

F-08　KELA 株式会社
「ダークネット脅威インテリジェンス」
攻撃者が常に優位な立場で行われるサイバー攻撃。この基本構造を覆し、守る側が攻撃者よりも優位な立場で攻撃されないようにするための、これまでにないソリューションを紹介します。

F-09　株式会社 PKSHA Workplace
「多くの大学で利用いただいている AI チャットボット「PKSHA Chatbot」のご紹介」
多くの大学で利用いただいている AI チャットボット「PKSHA Chatbot」および、Microsoft Teams との連携によって実現する学内コミュニケーションの自動化についてご紹介します。

G-01　Rubrik Japan
「Rubrik が提供する次世代データセキュリティ　～オンプレ、クラウド、MS365 でも～」
Rubrik Security Cloud は、オンプレ、クラウドおよび SaaS アプリケーションのデータを自動的に保護し、リスクを継続的に監視、データとアプリケーションを迅速に復旧します。

G-02　ジェイズ・コミュニケーション株式会社
「多要素認証と無線 LAN、SASE ソリューション」
FIDO2 とシングルサインオン「WisePoint」、キャンパス内の電波干渉に強い無線 LAN「Ruksus」、クラウドで守るテレワーク SASE「Cato」、NDR トッププロダクト「Darktrace」。

G-04　三谷商事株式会社
「M2DeployTools　～新時代の Mac キッティングツール～」
複製に変わる新しい Mac キッティングツールを開発しました。Mac 教室管理や個人配布としても最適なキッティングツール「M2DeployTools」デモ環境をご覧にお立ち寄りください。

G-05　システムギア株式会社
「大学向け出席打刻、入退室打刻収集端末」
次世代型ハイブリッド IC / 磁気リーダー PDC-310 を中心としたソリューションを出展します。学割証発行システムの発行オペレーション用途に応用したソリューションも参考出展予定です。

G-06　株式会社 Fusic
「学術機関における研究等を加速するクラウド活用事例のご紹介」
当社がこれまでに提供した学術・研究機関のお客様向けクラウド活用事例（クラウド環境構築・VDI 導入・SINET 関連・HPC 関連・調達支援等）をご紹介します。

G-07　株式会社エヌジーシー／日本クアンタムストレージ株式会社
「研究データの保護とセキュリティ対策のご提案」
国立情報学研究所が運営する研究データ基盤「NII Research Data Cloud」のプラットフォームに採用された、クアンタムのオブジェクト・ストレージ「ActiveScale」のご紹介。

G-08　日本マイクロソフト株式会社
「大学 DX を成功させるクラウド基盤とローコード開発ならびにデータ活用」
大学 DX を成功させるための学内アプリ開発とデータの活用をクラウドをベースに実施し次世代の大学を作っていくためのセキュアな最新のクラウド環境とデータ活用プラットフォームをご紹介。

H-01　ジュニパーネットワークス株式会社
「Juniper Mist AI　～ジュニパーの AIOps でハイブリッド授業も快適な有線・無線ネットワークを～」
無線 LAN、有線 LAN、SD-WAN、セキュリティ、クラウドまで、キャンパスネットワーク全体を一気通貫でユーザー体感を分析・可視化し、AIOps（AI を活用した運用）で運用管理を自動化・省力化します。

H-02　Elasticsearch 株式会社
「サーチ／セキュリティ／オブザーバビリティ、高速でスケーラブルな検索エンジン Elasticsearch の活用法」
オープンで、世界で最も多くのエンジニアに支持されている検索エンジン Elasticsearch は、単に情報を検索するだけではなく、様々な用途で活用されています。その利用例をデモを交えてご紹介致します。

H-03　株式会社フォトロン
「アフターコロナ時代の授業を支援する講義・実習収録配信システムのご紹介」
アフターコロナ時代の DX に向けた授業を強力に支援する講義収録配信システムおよび医学 OSCE / 看護系シミュレーション実習収録システムをご紹介させて頂きます。

H-04　株式会社シーイーシー
「大学 DX に不可欠なサイバーセキュリティ対策」
在宅勤務、リモート授業にともないデジタル技術の急速な導入が必要となるなかで、セキュリティ対策やサポート（SOC/MSS）について、ご紹介・ご相談をお受けします。

H-05　株式会社コムネット
「MFA for Shibboleth-IdP」
Shibboleth-IdP の多要素認証用拡張モジュールを開発しました。
多要素 g は SMS、メールアドレス、デバイス（USB、QR コード）に至るまで対応。

H-06　アラクサラネットワークス株式会社
「「いちばん近くで、もっと先へ」次世代のネットワーク基盤を支えるアラクサラの新たな製品＆ソリューション」
信頼性の高いスイッチ製品のポートフォリオ拡大に加えて、人材不足を補う運用管理ソリューション及び安全性を高めるセキュリティソリューションの進化により、安心・安全・快適・便利なネットワークを提供。

H-08　フォーティネットジャパン合同会社
「ネットワークとセキュリティのコンバージェンスをリードするフォーティネット」
学術ネットワークにおけるネットワークセキュリティ、ゼロトラストアクセス、クラウドセキュリティ、セキュリティオペレーションなどを幅広くご紹介いたします。

J-01　株式会社サテライトオフィス
「Google Workspace 向けアドオンと Chrome デバイスの紹介」
Google Workspace だけでは実現できない機能をアドオンとしてご提供しております。校務や授業支援の DX 化を実現できます。Chrome デバイスの実機も展示いたします。

J-02　日本システム技術株式会社
「GAKUEN ／ UNIVERSAL PASSPORT」
入学から卒業までの学生情報を一元管理する大学総合事務システム。充実したパッケージ標準機能をご用意し、大学業務の標準化と職員様の業務負荷軽減、教育の質向上を実現します。

J-04　株式会社 NTTPC コミュニケーションズ
「GPU ワークステーションと研究開発支援等プログラムのご紹介
～研究・AI 人材育成支援ツールとしてのハイパフォーマンスコンピュータと、その導入・活用支援プラグラム～」
NTTPC は GPU ワークステーションのハードウェアや、クラウドサービス、また産学連携プログラムである InnovationLAB など多彩なラインナップを用意して研究や AI 人材育成等をサポート致します。

J-05　oVice 株式会社
「場所にとらわれない教育機会の創出　～バーチャル空間を用いた教育 DX 化～」
これからの教育において、学生の教育機会を提供することは重要なテーマ。バーチャル空間「オヴィス」は教育と交流にお役立ていただける、教育現場を支える新しいバーチャルソリューションです。

J-06　F5 ネットワークスジャパン合同会社
「マルチ／ハイブリッドクラウド環境に求められる Web アプリケーションセキュリティ対策とは？
～ “TCO 削減 ” と “ 次世代 WAF・DDoS 対策 ” を同時に実現する～」
クラウド上での LMS 等の Web アプリケーションの利用が進み、セキュリティリスクと共に管理負担も増大しています。F5 の SaaS 型ソリューションがどのように課題解決できるか、デモを交えてご紹介します。

J-07　富士フイルム株式会社
「ランサムウェア対策で再注目！手のひらサイズ 580TB を実現する磁気テープ利用のアーカイブシステム」
GAMMAT/BAT をはじめ国内外の大学、研究機関で導入が進む磁気テープを利用した長期アーカイブシステムのご紹介。金沢大学様にご協力いただき、GakuNin RDM との接続確認も取れています。

J-08　グーグル・クラウド・ジャパン合同会社
「教育 DX を支える Google Cloud ソリューション」
Google Cloud が大学・研究機関における DX をどのようにお手伝いさせていただけるかを、実際の大学事例や製品デモを交えてご紹介します。

K-01　タニウム合同会社
「セキュリティ対策必須な IT 端末の衛生管理 サイバーハイジーン」
端末台数やパッチ適用状況を可視化できていますか？端末の衛生状態の維持、サイバーハイジーンの実現でランサムウェア等の攻撃を最小限にできます。弊社では、サイバーハイジーンソリューションの展示をしています。

K-02　丸紅情報システムズ株式会社
「MSYS の大学・教育機関向け ICT インフラソリューション」
丸紅情報システムズでは、大学・教育機関の情報システムを支える ICT インフラを幅広く提供しています。情報社会の中で、学校教育においても多様化している様々なニーズに対応いたします。

K-04　リコージャパン株式会社
「大学の業務改善を支援するリコーのクラウド型 DX サービスのご紹介」
対面と遠隔双方に対応した出席管理システム、入試や大学生活など問い合わせに自動回答するチャットアプリ、経理・仕入の作業時間を削減する AIOCR、業務アプリと組合せて働き方改革を支援する予約管理システム

K-05　株式会社カオナビ
「学校職員の個性・才能を発掘し、戦略人事を加速させる人材管理システム「カオナビ」」
紙・エクセルで散在する職員の人材情報をシステムに一元管理することで、ペーパーレス化や人事評価業務の効率化・納得度向上に貢献する「カオナビ」のデモと、立命館様をはじめとした学校導入事例をご紹介。

K-06　株式会社アルファシステムズ
「★ 12 月販売開始予定★授業支援 Web システム【alpha Vclass Cloud】ブラウザ利用で多数の OS 対応。ハイフレックス授業や BYOD 活用にお勧め！」
alpha Vclass Cloud 展示のほか、PC 運用システム【V-Boot】、環境復元システム【V-Recover】等をご紹介。GIGA スクール端末活用のお悩みに合わせたソリューションをご提案。

K-07　日鉄ソリューションズ株式会社
「学務情報システム CampusSquare は、「学生」「教員」「職員」三者間での学内情報共有と有効活用を実現します。」
「学生」「教員」「職員」が情報を共有化し、必要な情報を迅速かつ正確に収集・提供できる環境を構築、学生関連業務の豊富なサブシステム提供により大学様の種々の業務機能に対応しております。

K-08　東日本電信電話株式会社
「NTT 東日本の大学向けソリューション」
・NTT 東日本は戦略的な ICT の活用により大学全体の DX 推進をお手伝いいたします
・ネットワークやクラウド、電子教科書などを活用した学修者本位の教育の実現をめざします

K-09　西日本電信電話株式会社
「教育 DX を用いた学生サービスの向上と業務効率化の提案
（1. 教科書や教材の電子化　2. 証明書発行サービス　3. ひかりクラウド電話）」
教育 DX を推進する取り組み紹介
1 教科書や教材の電子化によるの利便性向上と学修ログを活用し学びの質向上
2 証明書のデジタル化や申込 / 決済のオンライン化により DX を推進
3 ひかりクラウド電話

L-01　株式会社クライム
「仮想／物理／クラウドの総合データ連携・保護・ランサムウェア対策」
クライムが提供する仮想／物理／クラウドのデータ連携・保護ソリューションを紹介します。
ランサムウェアへの対策をご検討されている方も是非お立ち寄りください。

L-02　Sky 株式会社

「名刺管理で拓く大学の新たな情報活用。学内や企業、自治体との連携強化。 ガバナンスを強化。 セキュリティと利便性を考慮した「名刺管理サービス SKYPCE」。」

1. 新たな時代の大学に求められている企業、自治体との連携
2. ガバナンスを強化
3. 学内の情報を共有
4. セキュリティ強化
5. その他大学の課題解決を支援

L-03　株式会社ソースポッド

「【100 大学での導入突破】情報漏洩・不正アクセス対策「SPC Leak Detection」のご紹介」

100 大学以上に導入の情報漏洩・不正アクセス対策サービスと、累計 4 桁の国内法人で導入された「SPC シリーズ」の PPAP 対策、メール誤送信対策、標的型メール訓練のご案内。

L-04　株式会社ネクステージ

「コロナ禍における DX および導入・運用コスト削減を、既存構内 NW をそのまま利用した構内電話 IP 化により実現」

世界のミッションクリティカルな環境で実績を誇る Brekeke 製品は電話環境の DX 化、各種通話デバイス導入で場所を問わない勤務形態を実現し、導入コスト、既設電話回線に係わる運用コストなどを削減します。

L-05　日本電気株式会社

「マイナンバーカードを活用した教育デジタル ID」

NEC ではマイナンバーカードを活用した教育デジタル ID 構想（特許出願中）を企画･推進しており、安全･安心なデータ利活用による教育 DX をより一層推進します（デジタル学生証発行・本人確認・出席管理）。

L-06　トレンドマイクロ株式会社

「サイバーリスク対策力を高める Trend Micro One「統合サイバーセキュリティプラットフォーム」で システム管理者の運用に寄り添います！」

組織に求められるより高度なリスクマネジメントの実行は、「資産 × 脅威 × 脆弱性」の特定・評価。システム管理者の運用に寄り添うソリューションとして「統合サイバーセキュリティプラットフォーム」をご提案します。

L-07　キヤノン IT ソリューションズ株式会社

「“ 共想共創カンパニー ” をめざすキヤノン IT ソリューションズが教育 DX 実現を支援すべく提供可能なソリューションの全容を紹介します。」

“ 共想共創カンパニー ” をめざすキヤノン IT ソリューションズが教育 DX の実現をサポートするために提供可能な、システム基盤構築や教育支援プラットフォームなどのソリューション全てをご紹介します。

L-08　アクシスコミュニケーションズ株式会社

「[Axis IoT Edge デバイス] は、新たな画像解析ソリューションにより人の目に代わり効率性と安全性向上を実現させます。」

アクシスコミュニケーションズ株式会社は、カメラなどの Edge デバイスを展示します。DLPU 搭載の AI カメラによる最高水準のビデオ映像とエッジ分析機能により高度な処理要件に対して優位性を発揮します。

M-01　日経パソコン Edu ／日経 BP

「「日経パソコン Edu」AXIES 特別プログラム」

この特別プログラムは、正会員様が所属する教育機関の学生様、教職員様の ICT リテラシー教育支援を目的に提供しております。最新情報が効率的に取得できることから教員の皆様の働き方改革の一助ともなっています。

M-08　一般社団法人高度 IT アーキテクト育成協議会

「一般社団法人高度 IT アーキテクト育成協議会（AITAC）の活動紹介」

高度 IT アーキテクト育成協議会は、IoT/AI 時代の新たなインフラエンジニアを育成すべく設立された一般社団法人です。今回はその育成イメージと講座の内容をご紹介いたします。

AXIES 2022 年次大会感染拡大防止指針

AXIES2022 年次大会実行委員会

本大会においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、以下を基本対策として徹底するものとします。

1. 会場到着までの注意事項について

1.1　各個人へホームページ（HP）を通して、事前に周知する。

- マスク着用にて大声による会話を控える。
- ３密を避ける行動をとる。(時間に余裕を持った移動をお願いする。)
- 当日、症状（発熱又は風邪等の症状）がある場合、参加を見合わせてもらう。

2. 会場において

2.1　徹底した感染防止等

2.1.1 マスク常時着用の担保

- マスク着用状況を確認し、個別に注意等を行い、マスクの常時着用を求める。
- マスクを持参していない者がいた場合には、入場を制限するなどにより、マスク着用 100％を担保する。

2.1.2　大声を出さないことの担保

- 大声を出す者がいた場合、個別に注意等を行う。
- 隣席の者との日常会話程度は可とする。(マスクの着用が前提)

2.2　基本的な感染防止等

2.2.1　手洗・手指消毒

- こまめな手洗・手指消毒をポスター / 館内放送等により奨励する。
- アルコール等の手指消毒液を設置する。

2.2.2　消毒の徹底

- 施設内のこまめな消毒を行い、消毒液を設置する。
- 手指消毒をポスター / 館内放送等により奨励する。

2.2.3　換気

- 仙台国際センター側の指示に従い換気の環境を整備し、こまめな換気（ドアの解放等）を行う。

2.2.4　密集の回避

- 必要に応じ、人員の配置、導線の確保等の体制を構築し、休憩時間や入退場時の密集も回避する。
- 入場口･トイレ･売店等の密集が回避できない場合はそのキャパシティに応じ、収容人数を制限する。

2.2.5　身体的距離の確保

- 大声を伴う可能性のある場面では参加者同士の身体的距離を確保する。
- 大声を伴わない場合、最低限人と人とが触れ合わない程度の間隔を確保する。
- 混雑時の身体的距離を確保した誘導、密にならない程度の間隔（最低限人と人とが触れ合わない程度の間隔）を確保する。

2.2.6　飲食の制限

● 飲食用の感染防止対策を行ったエリア以外での飲食を制限する。

● 飲食エリアのテーブルはスクール形式とし、着席での飲食に制限する。

● 食事中以外のマスク着用を徹底する。

● 休憩時間中及び会場内での食事等による感染防止を徹底する。

● アナウンス等により、飲食制限について周知徹底する。

2.2.7　感染の可能性のある参加者の参加制限

● 入場時の検温における有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）について　は、入場を制限する。

2.2.8　参加者の把握

● 可能な限り事前申し込みとし、あるいは入場時に連絡先を把握する。

● アプリの QR コードを入口等に提示し、具体的な促進措置を導入する。

2.2.9　出展関係者の行動管理

● 有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出展・準備を控える。

● 練習時、催物開催前も含め、声を発する演者間での感染リスクに対処する。

● 出展関係者間の適切な距離確保、換気等の対策を実施する。

2.3　大会前後の行動管理

2.3.1　イベント前後の感染防止の注意喚起をする。

●「3 つの場面」の注意喚起

▷飲酒を伴う懇親会等

▷大人数や長時間に及ぶ飲食

▷マスクなしでの会話

● 業種別ガイドライン遵守店舗の利用呼びかけ等をする。

● 交通機関・飲食店の分散利用の注意喚起をする。

● 可能な限り、予約システムを利用し事前申し込みするよう促す。

3. 大会開催の共通の前提

3.1　入退場やエリア内の行動管理

● 可能な限り来場者の区画を限定し、1. 身体的距離の確保、2. 密集の回避、3. 飲食制限、4. 大声禁止、5. 催物前後の行動管理、6. 連絡先の把握等を担保することに努力する。

3.2　地域の感染状況に応じた対応

● 宮城県復興・危機管理部復興・危機管理総務課、仙台市危機管理局危機管理課、施設提供元、青葉山コンソーシアム（仙台国際センター）の感染防止対策と相談の上対応する。

● 地域の感染状況に変化があった場合は柔軟に対応する。

以上

ご来場者の皆様へ

大学 ICT 推進協議会 2022 年度年次大会実行委員会は、2022 年 12 月 13 日～ 12 月 15 日に仙台国際センターで開催される AXIES 2022 において、ガイドラインを設け COVID-19 感染拡大予防に最善の努力をして行きます。

皆様が気持ちよく過ごせますよう以下のことについてご配慮、ご協力をよろしくお願いいたします。

- 当日の検温と体調の確認をし、発熱（37.5 度以上）や体調不良があれば来場を自粛してください。
- 会場入り口の検温機にて、37.5 度以上の発熱が見られた場合には、入場できません。
- 会場でのマスクの正しい着用と、頻繁な手洗い・消毒を実施してください。
- 密になり得る状況での長時間の会話はお控えください。
- 不特定多数の人が接触する箇所に触れた場合には、こまめに手指消毒をお願いいたします。
- 大声で話すことを避け、なるべくソーシャルディスタンス（1m 程度）を意識して、他者との距離を保つようにお願いいたします。
- 飲食は、所定の場所にて向かい合わずに着席の上、黙食でお願いいたします。
- 飲食物のゴミは、所定の場所にルールを守り廃棄してください。
- 帰途において「新しい生活様式」ルールに則って行動してください。
  参考：厚生労働省「新しい生活様式」の実践例
  https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html
- または、それぞれの所属機関で定めるルールがあれば、そちらを遵守するようお願いいたします。
- 大会実行委員会からの指示に従っていただけない場合には、退出をお願いすることもありますので、ご了承ください。
- 万一、会期中に体調不良・感染が確認された場合は、必ず大会実行委員会までご連絡をお願いいたします。

【感染が確認された場合の連絡先】

大会実行委員会：tu-axies2022@grp.tohoku.ac.jp

SOC　ゼロトラスト　EDR

セキュリティウェブゲートウェイ

HCNET

エイチ・シー・ネットワークス株式会社

×

aruba

a Hewlett Packard Enterprise company

Wi-Fi 6E　クラウド

Aruba9000

スマカン
SmartCompany

満足度 NO.1 ※1
カスタマイズ性 NO.1 ※1
導入しやすさ NO.1 ※1

1on1と **人事評価** の効果を最大化

従業員の **エンゲージメント** を高め組織を元気にする

タレントマネジメントシステム

- 人事評価
- 目標管理
- スキル管理
- 人材配置
- 人材育成
- 離職防止

スマカンで解決できる課題

テレワーク活用・人材情報の一元化と可視化

- 社員の顔とプロフィールが一目でわかる
- モチベーションやコンディションを把握

人材配置・組織シミュレーション

- 人材の特徴を活かした人材配置
- 人材育成のための戦略的ローテーション

納得感のある1on1評価の実現

- 進捗状況の可視化
- 1on1ミーティングの運用

人事制度運用の効率化

- 甘辛調整のシステム化
- MBO、コンピテンシー評価

スキル管理と人材育成

- スキル分析で人材の最適配置
- 育成計画の立案&実行、振り返り

360度評価とアンケートで従業員満足度を改善

- 従業員満足度を把握し、最適な施策の検討をサポート

社員の定着化と離職率の低減

- 離職者の傾向を分析
- 離職の予兆を検知

事業計画に合わせた最適な人材の採用計画

- 入社後に活躍できる人材を採用
- 欲しい人材のペルソナを定義し、採用面談を効率化

経営の意思決定のための情報支援

- 人材のクロス分析やダッシュボードで、戦略的な人材施策を行う

スマカン
SmartCompany
詳しい情報は「スマカン」で検索してください
スマカン

製品の機能や無料トライアルのお申し込み、
お見積もり等も、お気軽にお問い合せください
https://smartcompany.jp/contact/

※1　調査方法：インターネット調査　調査概要：2021年6月サイトイメージ調査　調査提供：日本トレンドリサーチ

シボレスでMFA、する？

MFA for Shibboleth-IdP

選べる要素！

- ☑ メールアドレス
  ワンタイムパスワード通知.
- ☑ FIDO2認証機能
  指紋認証/QRコード etc...
  WebAuthn
- ☑ SMS

※Amazon Simple Notification Service 契約が必要です

詳細はこちら

▼

サイトアクセス！

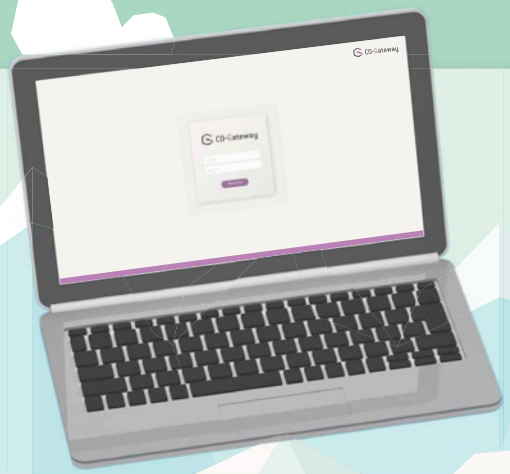
株式会社コムネット 認証

Shibboleth-IdP ＋ MFA モジュール

New!

＼CO-CONVオリジナル　VDIソリューション／

CO-Gateway with AVD

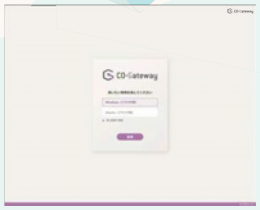


BYOD時代の共通環境として AVDを活用

CO-Gatewayは、
Azure/AVD環境の運用コストを削減する最高の管理ツール！

＼AVDを学生向けVDIとして利用する際に必須の機能／

- ブラウザのみでVDI環境を利用できる
- 講義履修者数相当分のみ、セッションホストを起動
- 講義時間終了後は「まだつかっていますか？」
- Linux環境のVDIも利用できる
- 開講情報・履修情報との連携
- LMSとの連携（LTI対応）



図左：「Windows」と「Linux」のいずれにも対応。使いたい環境を利用者自身が選択できる。
図右：講義時間ではない利用者に対して、定期的に「まだ使っていますか？」とダイアログを出す。

共通環境を効率的に管理し、BYOD を活かす各種製品群

BYOD の普及で役目を終える従来型の PC 教室に代わり、新たに必須となるソリューションをご提供します。

CO-Colors ほたて

ネットブートで複数の環境を自在に切り替えて、通常講義・CBT・講習会・リモート接続先など多用途に利用できます。学校の教室PCだからこそ、学生の持ち込みPCでは体験できないような大画面・2画面・多様な専門アプリケーション環境を提供できます。

USB Type-C ハブ

ケーブル長1m！持ち込みPC安定した電源・ネットワークに接続

KVM スイッチャー

教室PCと持ち込みPCをボタン1つで簡単切り替え

株式会社 シー・オー・コンヴ
〒606-8301　京都市左京区吉田泉殿町1番地7 百万遍ビル3F
TEL：075-606-5394　FAX：075-606-5395
E-mail：info@co-conv.jp

さらに詳しいご案内は
弊社Webページで！
https://www.co-conv.jp/

Copyright 2022.10 CO-CONV All rights reserved

CLOUD INNOVATOR
MEGAZONE

アジア最大級の
AWS プレミアティアサービスパートナー

大学・研究所での豊富な導入実績をもとに
AWS 活用時の構築から運用保守まで包括的にご支援します

京都大学 KYOTO UNIVERSITY
岐阜大学 GIFU UNIVERSITY
山形県立産業技術短期大学校
Genoplan
SAMSUNG
LOTTE Homeshopping
NEXON
ASIANA AIRLINES
LG Electronics
GAMEVIL

AWS 利用料金 5% 割引※1
請求代行手数料ゼロ

クラウドを解析プラットフォームとして
活用する為のコンサルティング

蓄積されたノウハウを活かした
構築・運用保守

※1 大学・研究所様向けのキャンペーンとしての適用となります。詳細はお問い合わせ下さい。

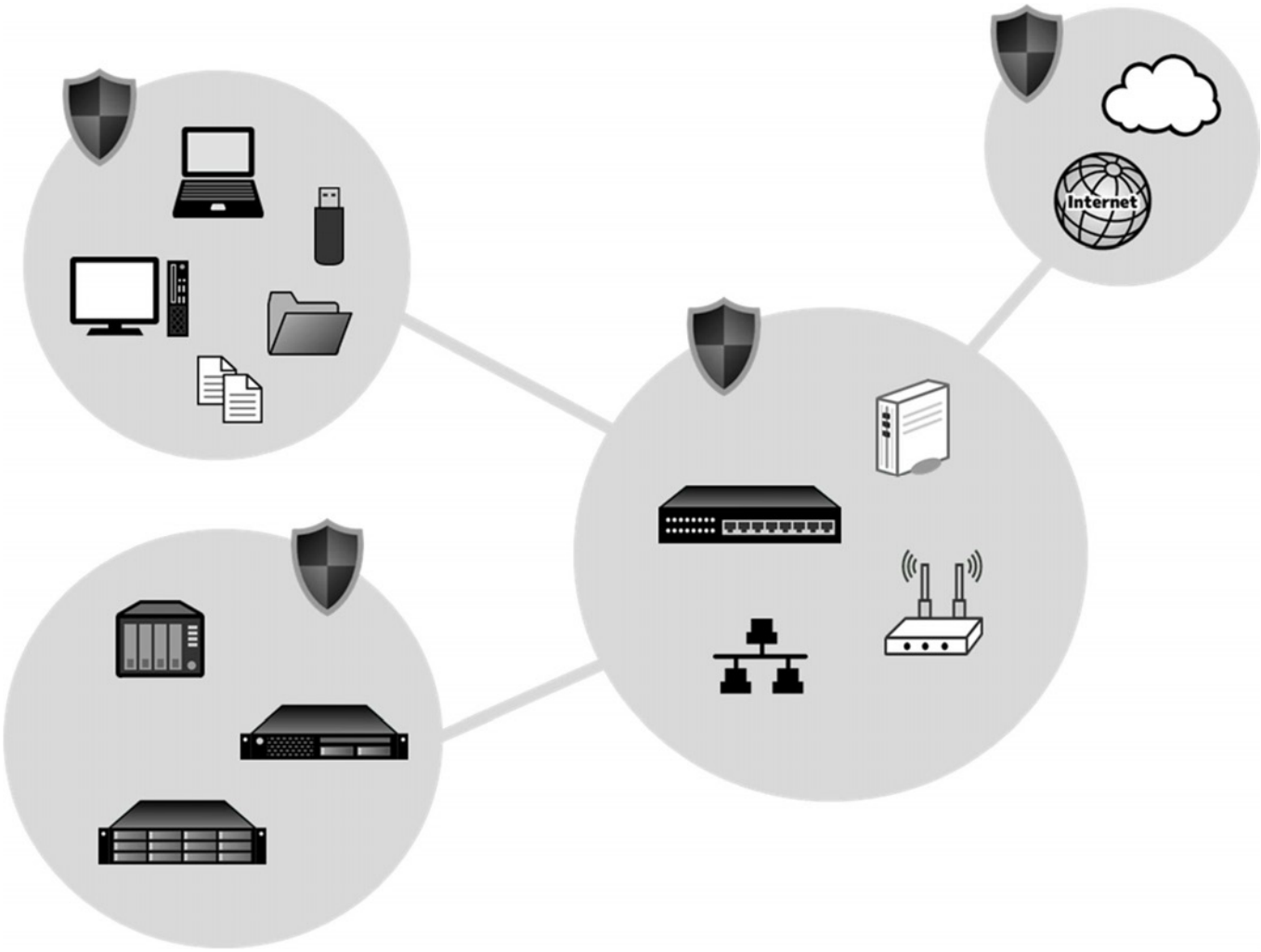
お問合せ
MEGAZONE株式会社
TEL 03-5468-8344
MAIL jp.sales@megazone.com URL https://www.megazone.com/jp/

CLOUD INNOVATOR MEGAZONE

WBC Cyber Security Solution

THREATS EXIST.
FEAR DOESN'T HAVE TO.

DARKTRACE



DARKTRACE

END-TO-END SECURITY
Machine Learning Techniques

deep instinct

ENDPOINT SECURITY
Advanced Artificial Intelligence

Tintri

SECURE VDI SOLUTION

＊DARKTRACEは、Darktrace社の商標または登録商標です。　＊deep instinctは、DeepInstinct社の商標または登録商標です。
＊Tintriは、DataDirect Networks社(Tintri by DDN)の商標または登録商標です。

WBC ワールドビジネスセンター株式会社

https://www.wbc.co.jp/　　e-mail： eigyo@wbc.co.jp

Gluegent

校務DXの要
クラウド型ワークフローシステム

Gluegent Flow

グルージェントフロー

校務系データの連携を実現するためには、標準的な帳票データが必要です。ワークフローシステム「Gluegent Flow」は、出席簿、学生名簿、在学証明書など各種帳票や申請類を電子化し、いつでもどこからでも手続き・確認・承認業務ができます。「Gluegent Flow」は校務処理を効率化し、校務DXに寄与します。

紙そっくりに電子化し
ペーパーレスを実現！

いつでもどこでも
端末に依存せず利用可能！

詳細	ご案内・デモンストレーション承ります。お気軽にお問い合わせください！

連携グループウェア　：　Google Workspace / Microsoft 365
オプション　：　Gluegent Bridge / Gluegent Flow 情シスクラウド / 電子契約連携サービス
価格（税抜）：　初期費 0円　月額費 300円/ユーザー　＊年間契約あり
サポート（無償）　：　専任スタッフがお客様と伴走しお悩み・お困り事を解決します。

サイオステクノロジー株式会社　お問合せはこちら　https://go.gluegent.com/inquiry/general/

企業名および企業ロゴ、Gluegent および Gluegent ロゴは、弊社の登録商標です。本資料は改良のため予告なく形状、仕様を変更することがあります。
© 2022 SIOS Technology, Inc. All Rights Reserved.

FUJIFILM
Value from Innovation

dternity
FUJIFILM Archive Solutions

あまり見ないそのデータ、 もっと賢く保存しませんか？

ディターニティ オンサイト アーカイブ ［アタッチモデル］

参照頻度の低いデータを自動抽出し安価 / 安全 / 大容量保管を実現！

ディターニティ オンサイト アーカイブ［アタッチモデル］とは？

データアーカイブに適したストレージソリューションです。
現状お使いの各種ストレージから、 参照頻度など設定条件に従い選択されたデータを、 テープに自動保管し、 既存のストレージの容量を大幅削減することで、 TCO 削減・大容量データの効率管理を実現します。
既存サーバーに“アタッチ（追加）”するだけでアーカイブ機能を追加できる手軽さが最大の特徴です。

重要データの長期保存、 こんなお困りごとありませんか？

データ量が膨らみ、保存コストが増加の一方
どんどん増えていくデータをとりあえず HDD の増強で保存しているがコストが高い。

セキュリティー性の高いデータ保管場所がない
クラウドには上げられない機密データなどが山ほどある。

データの階層管理ができず重要データが埋もれている
重要データとそれ以外を分別しないで保存しており、効率的なデータ管理ができていない。

そのお悩み…テープへのデータ保管で解決します！

テープはアーカイブデータの保存に最適なストレージメディアです。

経済性
容量当たりのコスト削減・省電力性により大容量のデータ保管にメリット大。

×

安全性
オフラインのオンプレミス管理で、 保存データの安全性を確保します。

×

将来性
低い故障率と容量技術革新により長期的なデータ蓄積が可能。

ディターニティはテープ運用を効率化いたします

ディターニティ オンサイト アーカイブ［アタッチモデル］はテープでのデータ管理を効率化いたします。

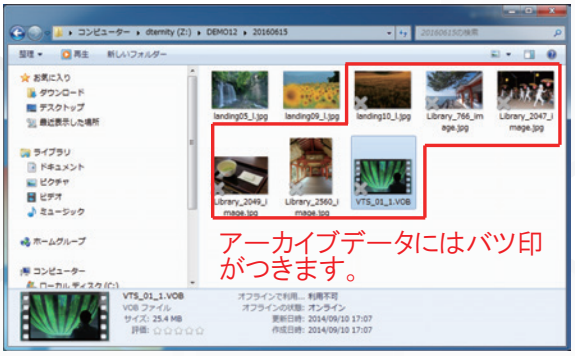
1 データ選別が手間いらず！

一度データの選別ポリシーを設定していただくと、以後自動でテープにデータをアーカイブし、 効率的なデータの階層管理ができます。

アーカイブポリシーの設定	設定単位
ファイル名や拡張子	aaaaa*.doc／*.txt
ファイルが変更されていない期間	時分秒または日数
ファイルがアクセスされていない期間	時分秒または日数
ファイルのデータ内容が変更されていない期間	時分秒または日数
設定サイズより大きいファイル	1KB～

2 新たな作業を覚える必要なし！

テープに保管されたデータは HDD 保管データと同様に Explorer 画面からのアクセスが可能です。



大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
国立情報学研究所
National Institute of Informatics

教育機関 DX シンポ

継続開催中！

アーカイブ視聴可　オンライン　参加無料

2020 年 4 月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、大学等においては遠隔講義に関する検討がなされてきました。国立情報学研究所ならびに大学の情報環境のあり方検討会では、大学等における遠隔授業や教育 DX 等に関する情報を共有することを目的に、大学等におけるオンライン教育とデジタル変革に関するサイバーシンポジウム「教育機関 DX シンポ」を継続的に開催しています。アフターコロナ、ウイズコロナ時代の教育変革についてともに議論します。

教育機関シンポ

edx Archives - 教育機関 DX シンポジウムアーカイブズ
https://edx.nii.ac.jp/

教育機関向け遠隔授業・プログラミング教育支援

第 3 期募集中！

国立情報学研究所では、学校現場におけるデジタルトランスフォーメーション (DX) への支援の一環として、遠隔授業でご利用いただけるデジタルカメラやスピーカーフォン、プログラミング学習で活用できる機器の無償貸与を行っております。

これまで機器を貸与した機関からの活用事例もご覧いただけます。

教育機関向け遠隔授業・プログラミング教育支援第 3 期募集
https://www.nii.ac.jp/event/other/decs/ds3.html

活用事例
https://www.nii.ac.jp/event/other/decs/ds_casestudies.html

情報犬ビットくん Twitter

フォローよろしくびっと！

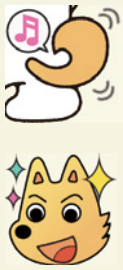
Twitter@NII_Bit

国立情報学研究所 LINE スタンプ

絵文字もあるびっと！

LINE スタンプ

LINE 絵文字



クラウドシフト、大学 DX を推進するために不可欠な

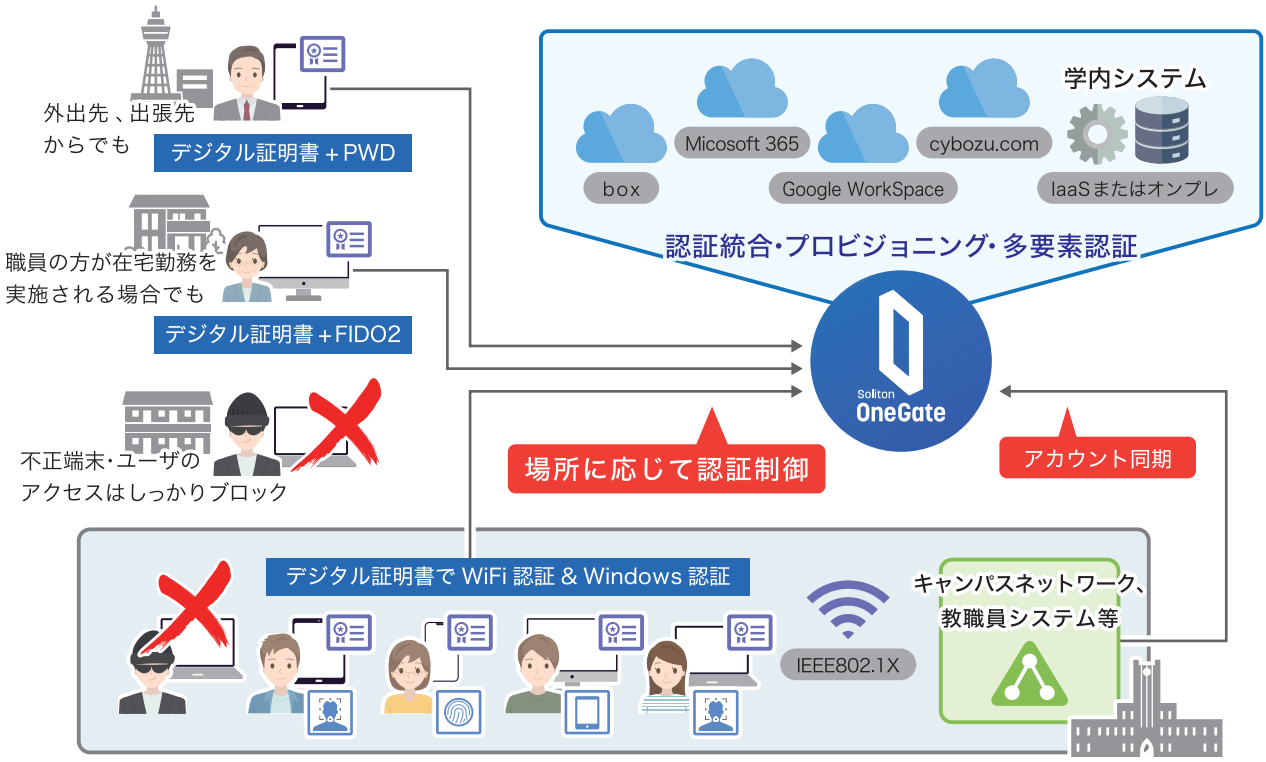
ゼロトラストセキュリティの実現

Soliton OneGate

クラウドと学内の「ID」と「認証情報」を統合する

情報システム基盤のクラウド化が進んでいるのは、民間企業だけでなく、公共 、とりわけ文教・大学の分野でも同じです。この場合、学内だけでなくクラウド上にも分散する、教職員・学生の「ID」とその「認証情報 」をどこで・どのように守るか 、いわゆる「ゼロトラスト」の考え方が課題となっています。

国産 IDaaS「Soliton OneGate」なら、
クラウドと学内にまたがる業務システムの ID と認証情報を統合し 、管理された端末のみ
アクセスを許可することが可能となり、クラウドシフトにおける運用とセキュリティの課題を解決します。



- ☑ クラウドに持たない・入力しない「パスワードレス」
- ☑ デジタル証明書の簡単運用で、二要素認証を徹底
- ☑ オンプレ業務システムの「認証」もまとめて管理

https://www.soliton.co.jp/onegate/

Soliton®
株式会社ソリトンシステムズ https://www.soliton.co.jp/
TEL : 03-5360-3825　お問い合わせ : pubcon@list.soliton.co.jp

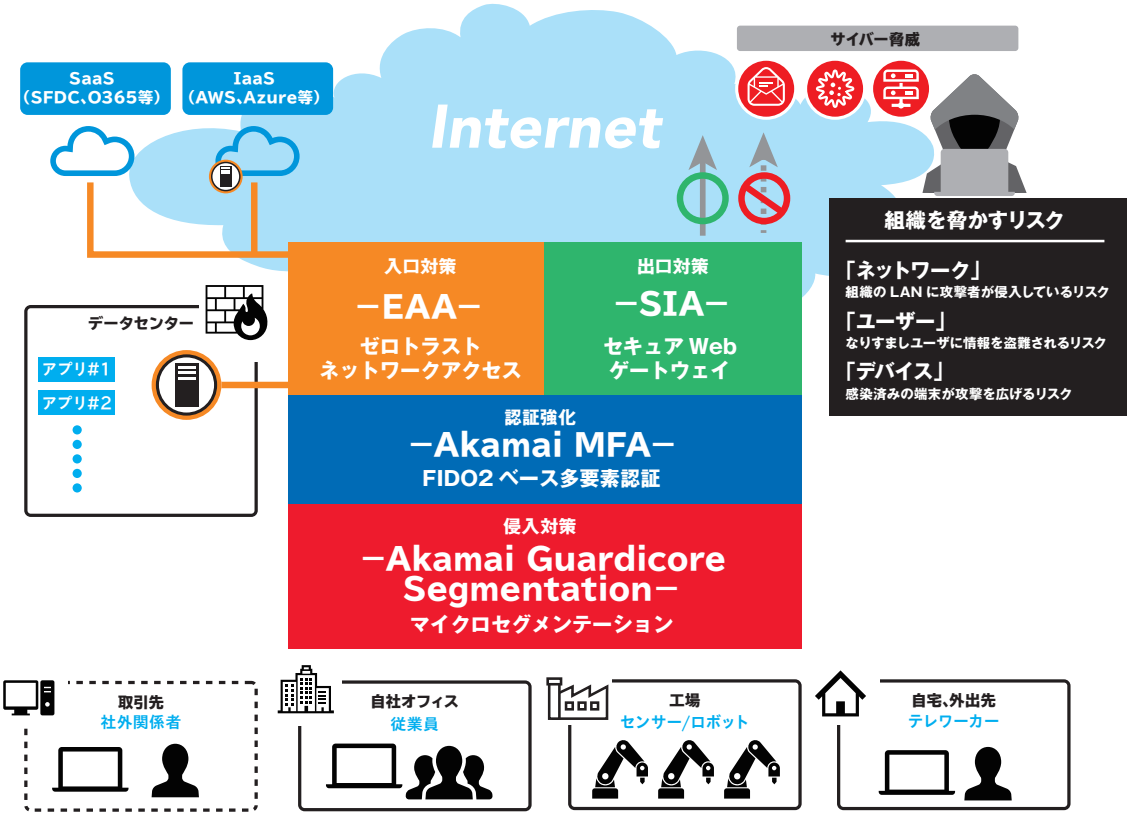
すぐに始められるテレワーク環境

ハイブリッドクラウドの業務システムに簡単接続

一元管理でセキュリティ運用の効率化

アカマイの進めるセキュリティ

クラウド上にゼロトラストの機能を集約



こんなお悩みを持つお客様におすすめ！

- ✔ 安全で拡張性の高いテレワーク環境が必要
- ✔ 様々なクラウド上にある業務アプリへの接続が複雑
- ✔ ランサムウェア、標的型攻撃対策を検討している

各製品は、無償トライアルが可能です。以下の宛先までご連絡ください。

Akamai

アカマイ・テクノロジーズ合同会社 マーケティング本部
Email:info_jp@akamai.com　TEL：03-4589-6640

情報倫理

デジタルビデオ小品集

the information ethics digital video collection

8

ネットワーク社会で、学生が安全かつ有効にインターネットを利用していくための基礎知識を、身近な問題をテーマに学習することができるビデオクリップ集です。

新規収録 **8話**

Story

1. みんなにやさしいホームページ
2. 何がダメで何がOK？ 著作権法の改正とネット配信
3. AIは万能じゃないのね。
4. オンライン授業での心がけ
5. フィッシングに釣られるな！
6. フェイクニュースの社会への影響
7. 「どこに」「だれと」は秘密にしたい スマホとプライバシー
8. Cookieでパーソナライズ あなたの意見は？

企画・制作 一般社団法人大学ICT推進協議会

総販売代理店 日本データパシフィック株式会社

ラーニング・カンパニーでありたい。

日本データパシフィック株式会社

〒186-0002 東京都国立市東1-4-15 国立KTビル

TEL：042-573-6721 FAX：042-573-6728

www.datapacific.co.jp

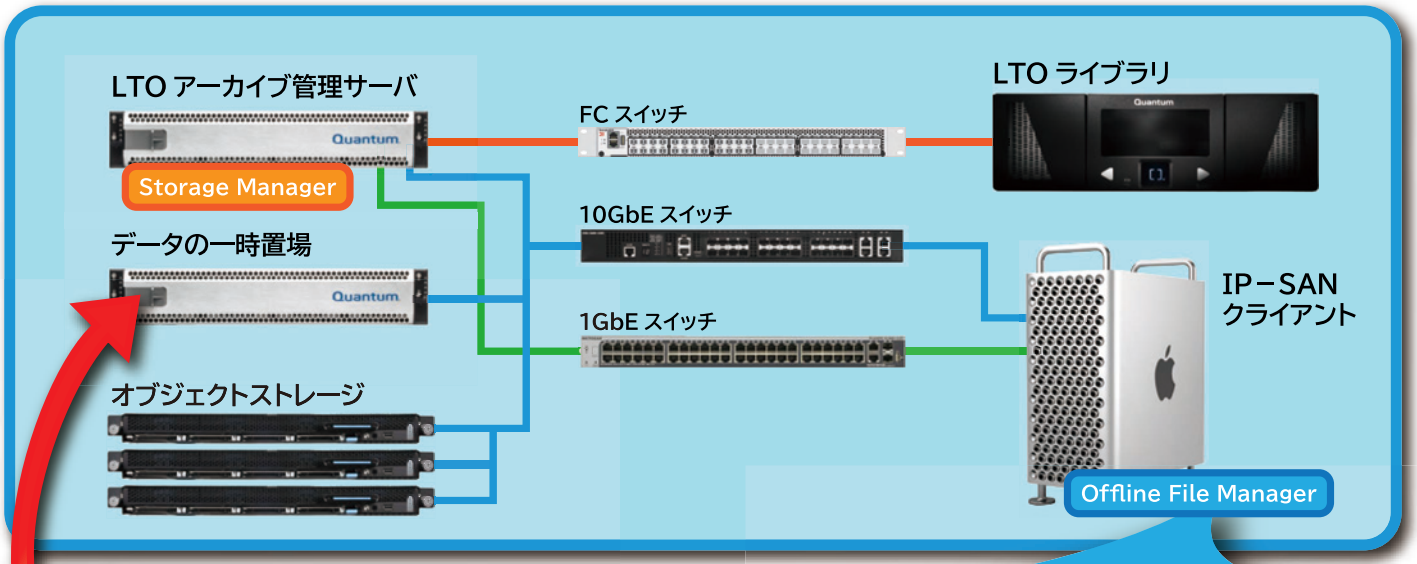
ngc

Quantum

テープバックアップ

データーを自動バックアップ、Mac でオフラインファイルを可視化

LTO アーカイブ構成図



バックアップしたい
データをここに入れる

Offline File Manager（OFM）

MacFinder にはオフラインファイルの概念はありません。
OFM をインストールすることで、MacFinder 上で
オフラインファイルを扱うことができるようになります。

Mac のデスクトップ上で、
バックアップポリシーを設定
したフォルダーを開くと！

OFM のアイコンが
追加されます！

OFM のアイコンによって、オンライン・オフライン
ファイルの現状を把握する事が可能になります

アイコン	説　明
	このファイルはオンラインであり マルチティアがあります
	このファイルはオンラインであり オブジェクトストアメディアに裏付けがあります
	このファイルはオンラインであり テープライブラリに裏付けがあります
	このファイルはオンラインであり sdisk に裏付けがあります
	このファイルはオンラインです
	このファイルはオフラインであり マルチティアがあります
	このファイルはオフラインであり オブジェクトストアメディアに裏付けがあります
	このファイルはオフラインで テープライブラリに裏付けがあります
	このファイルはオフラインであり sdisk に裏付けがあります
	このファイルはオフラインです

OFM によって、ファイルを右クリックしたメニューから、
ファイルのオンライン・オフライン操作が、Mac 上から
可能になります

お問合せ：（株）エヌジーシー　BSI事業部　TEL: 03-6380-8142 FAX: 03-6700-1826 Mail: bsi_sales3@ngc.co.jp

Verifiable Credentials対応の次世代ID基盤による デジタル資格証明ソリューション

大学間・産学連携の推進、パンデミックによるオンライン化の進行等により
学位や履修証明などのデジタル資格証明発行のニーズが高まっています。
従来の学生・保護者の認証強化・ID連携に加え
W3C標準化のVerifiable Credentials、Decentralized Identifiersおよび関連技術を用いた
デジタル資格証明の発行に対応した次世代ID基盤「SELMID」をご紹介いたします。

Verifiable Credentials / Decentralized Identifiers 利活用のメリット

検証可能性の担保

比較的長期間にわたり
資格証明の真正性の検証が可能

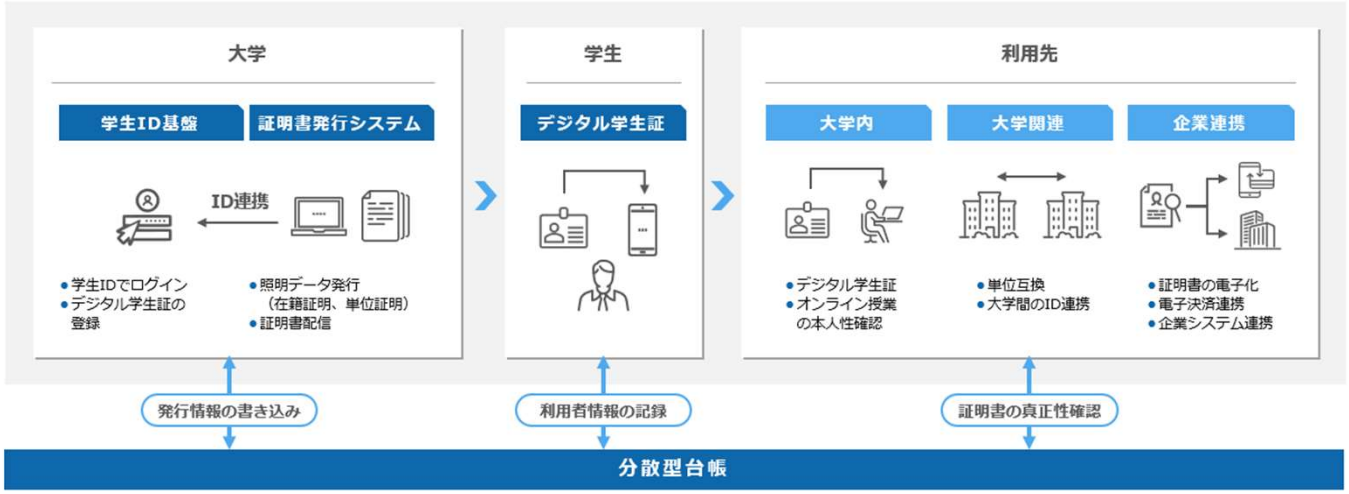
相互運用性の向上

独自発行した証明書に比べ
標準仕様に準拠しているため
広く利活用が可能

スケーラビリティ

資格証明を発行側と利用側の
直接のシステム連携が不要なため
スケールしやすい

デジタル資格証明の活用例



【お問い合せ先】
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
西日本ビジネス開発部
mail: selmid@ctc-g.co.jp

SELMID製品概要はこちら

システムギア 文教ソリューション

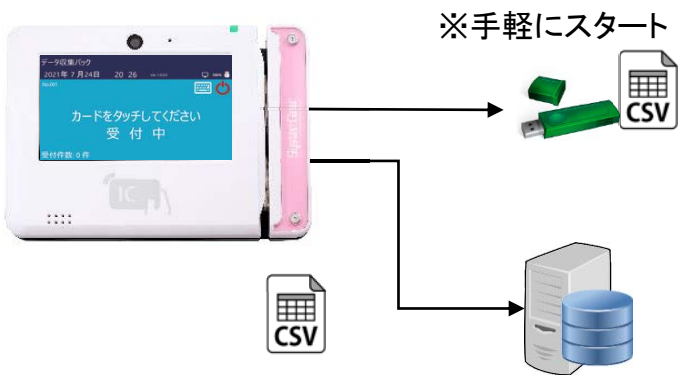
SystemGear
Always the next news

出席打刻収集/入退打刻収集

出席打刻収集や入退室打刻についてはご相談下さい。
学校様のご要望に合わせてご提案いたします。

次世代型ハイブリッドIC/磁気リーダー PDC-310
WIndows10 IoT搭載、無線対応の最新機器となります。
固定運用、ポータブル運用に対応しており、
入退室打刻、勤怠打刻等にも活用可能です。

<打刻収集のイメージ>



証明書自動発行機

ADC-3200

窓口の受付時間に依存することなく、証明書を即時発行し、学生サービスを向上します。

業界最小クラスのコンパクトなサイズながら、筐体一体型で本格的な機能を実装しております。

大画面液晶、LEDでの表示など、従来モデルより使いやすさを向上しております。

学割証専用自動発行機

学割証発行機

学割証発行に特化したコンパクトな筐体。
バラックでカウンター上に設置しての運用も可能です。

手軽に導入いただき、学生サービス向上に役立てていただけます。
IC学生証に対応し、タッチパネル画面にて操作可能です。

【お問い合わせ】
システムギア株式会社　プロダクト事業本部　営業1部　営業第1グループ
〒108-0073 東京都港区三田3丁目13 番16 号 三田43MTビル５F　TEL: 03-6858-2535
〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目 9番 14号システムギア大阪ビル　TEL: 06-7663-3076

デジタル時代の学びを支えるコンテンツ

日経パソコンEdu

日経BPが発行する「日経パソコン」を中心に、専門誌と書籍の最新コンテンツをPDFで提供するクラウドサービスです

詳しい情報は
Webサイトでもご覧いただけます

https://nkbp.jp/npcedu

1 大学・高等学校の1人1台端末に最適なデジタル教材

定額で1年～4年間、専門書籍と専門誌の最新コンテンツが読み放題のサブスクサービスです

2 高校「情報I」に対応した解説、用語集、練習問題

国立大学の受験に必須となった「情報I」に対応したコンテンツが授業と入試対策に役立ちます

3 AI・データサイエンスの授業に活用できるコンテンツ

大学における授業と自学自習に使えるデータ分析やプログラミングなどの解説があります

4 図版や写真を自作の教材にコピーして使用可能

提供するコンテンツは原則として著作権処理済みなので、教材にコピーして利用できます*

5 1冊丸ごと読める専門書籍と連携テキストブック

通常価格が2000円以上の書籍を多数収録。高校、大学、教員向けのテキストブックも用意しています

＊教材等に2次利用にするには、原則として授業の受講者全員がライセンスを購入する必要があります。また、一部に2次利用できない書籍があります

Cybermedia Center Osaka University, Japan

大阪大学サイバーメディアセンターの主な活動内容

大阪大学サイバーメディアセンターは、全国共同利用施設として、情報処理技術基盤の整備、提供および研究開発、高度な教育の実践ならびに知的資源の電子的管理および提供を行うことを目的としています。超高速スーパーコンピュータシステム等を有し、高度な大規模計算機システム環境を全国の大学などの研究者に提供するとともに、学内では、大阪大学総合情報通信システムやキャンパスクラウドを整備し、電子図書館システムなど多くの情報サービスを提供しています。また、教育・学修支援を目的に、学修管理システム（LMS）の運用、教育用計算機システムやICTを活用した多様なサービスを用いた情報教育・言語教育支援および一般情報教育の提供を行っています。

教育

情報教育システム

仮想デスクトップ環境による情報教育用端末やWebベースの学修支援サービスを提供。さらに、これらを活用した一般情報教育科目を提供することで、学修環境・教育の両面から全学の情報教育を支援

情報教育教室

言語教育システムPLS

iPadやMacBookを使用し、ブレンデッド教育を実現する教室環境を提供し、効果的な外国語教育・学習を支援

言語教育システム「PLS+c」

CLE

授業ごとに学生と教員、学生同士のコミュニケーションを促進するためのディスカッションボード、配付資料やスライドなど各種教材の公開、オンラインでのレポート受付などの機能を有する、Web を利用した授業支援システム

Echo

教室での授業や講義に使用する映像・音声資料を収録し、公開することができる「いつでもどこでも学べる」講義自動収録配信システムで、CLE上の各授業ページから視聴することが可能

教育

OUMail

全学生にメールやクラウドストレージ等のサービスをMicrosoft社のMicrosoft 365により提供し、授業に関する連絡やファイル保管などで広く活用。また、卒業生には大阪大学の最新の話題やイベント情報などをメール配信

全学教育推進機構との連携

学生が主体的に問題を発見し解を見出していく能動的学習「アクティブラーニング」などの新しい教授法を、最先端情報通信技術を利用して効果的に実施するための学修環境整備やe-Learning環境の構築等、様々な点において全学的な観点から教育支援・学習支援の企画・開発・実施を行うために連携

研究

大規模計算機システム

ベクトル型およびスカラ型のスーパーコンピュータを有し、高性能計算環境を学内外の学術研究者や産業界の研究者に提供、さらに計算機群の一部は、革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ（HPCI）として連携し、計算機資源として提供

2017年に導入した「OCTOPUS」に加え、2021年には、「SQUID（Supercomputer for Quest to Unsolved Interdisciplinary Datascience）」を導入

大規模計算機システム「SQUID」

学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点

東京大学情報基盤センターが中核拠点として機能する「ネットワーク型」共同利用・共同研究拠点に認定

HPCI（High Performance Computing Infrastructure）

大学や法人がスーパーコンピュータや大規模ストレージおよび「富岳」をネットワークで結び、利用者の多様なニーズに応える計算機環境を提供

教育研究支援

図書館システム

附属図書館と協力し、コンピュータやインターネット上の情報を活用しながら教育・研究活動が行える環境を整備。蔵書検索や各種申込のオンラインサービス、学術情報データベースや電子ジャーナルへのリモートアクセス、図書館内の好きな場所で使えるマルチメディア端末などを提供

情報ネットワーク

情報インフラとして、キャンパスネットワークである大阪大学総合情報通信システム（ODINS）の整備・運用を支援。高速通信を支えるインフラ整備に加え、堅牢な情報セキュリティ対策により、安心・安全な通信環境を提供

キャンパスクラウド

大学内に分散しているメールサーバやWebサーバ等を共通基盤プラットフォームに集約化することを目的に、リソースやサービスを提供

社会貢献・人材育成

スーパーコンピューティングコンテスト

高校生・高専生のチームを対象としたプログラミングコンテストで東京工業大学・理化学研究所と共同開催。スーパーコンピュータを用いて難題演算に挑む夏の電脳甲子園と呼ばれる戦いで、2021・2022年度はホストコンピュータに「富岳」を採用し、オンライン開催。この大会での経験を活かして、将来日本のコンピュータサイエンスの一翼を担える人材の育成に寄与

SuperCon

コンテストのロゴ

市民講座

外国語を楽しみながら効果的に学ぶ講座を2014年より実施。2019年度からは「複言語学習のススメ」と題し、スマホやタブレットを活用し、複数の言語で自己紹介などの表現を、文字を使わず、聞いた音を発音する練習を通して学びながら参加者同士が交流する場として社会に貢献

吹田本館（左）とITコア棟（右）

豊中教育研究棟

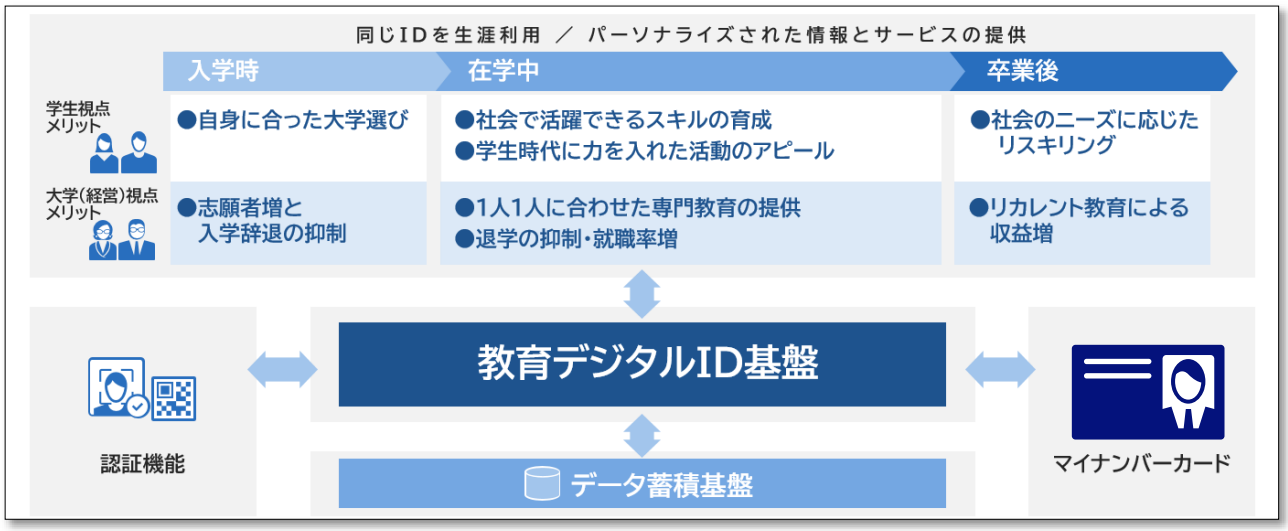
箕面キャンパス外国学研究講義棟4階（中央のフロア）

大阪大学 サイバーメディアセンター　https://www.cmc.osaka-u.ac.jp/

データやサービスを”つなぐ”

教育デジタルID基盤（仮称）

マイナンバーカードを活用し、教育に関する様々なIDを統合



スマートフォンの学生証アプリと連携し、円滑な本人確認を実現

■お問い合わせ
NEC　官公ソリューション事業部門
文教・科学ソリューション統括部　大学ソリューショングループ
E-Mail：edu-did@1kan.jp.nec.com

© NEC Corporation 2022

SRAグループが提供するキャンパスソリューション

私たちが提供するのはシステムだけではありません
システムのその先へ

総合文教ソリューション UniVision

「学生」「教員」「職員」の利用者へ Web ブラウザを通してサービスを提供します。入学から履修、成績管理、就職情報や卒業生まで多数のサブシステムにて構成されているソリューション情報の一元管理を実現します。

ICT サポート キャンパス ITO サービス

文教 IT インフラ運用の知見を活かした運用アウトソースサービスを提供します。CITO 運用センターのシェアードリソースを活用し、常駐と変わらないクオリティの運用を提供します。サービスは常駐・訪問と組み合わせたハイブリッド運用が可能です。

学内サービス 申請管理ソリューション

株式会社SRA東北

学内の IT サービス利用における申請・決裁管理とサービス適用の自動化を行います。ID 管理システムと連携することで、アカウントの払い出しや停止などの自動化も可能となります。また、認証基盤（学認 Idp、SSO 基盤）と連携することでサービスの認可制御も可能となります。

設備情報データベースシステム EquipmentDB

学内の研究設備の情報を管理・共有し、研究設備の予約から利用手続き、利用後の学内での請求手続きまでを行うことが可能です。また、研究設備の予約や利用実績を出力することで設備単体の利用状況を把握し、研究設備の有効活用とともに効果的・効率的な研究の実施に貢献します。

株式会社 SRA　〒171-8513 東京都豊島区南池袋 2-32-8 プロダクトサービス事業部
E-Mail：uv-info@sra.co.jp　TEL：03-5979-2617
株式会社 SRA 東北　〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町 3 丁目 1 番 2 号 アーバンネット定禅寺ビル 5 階
E-Mail：solution@sra-tohoku.co.jp　TEL：022-221-9061

Panasonic CONNECT

大学ＤＸソリューション

ハイブリッド授業に活用できる
クラウド型動画収録・配信サービス「**Panopto**」

本人認証や出欠管理にも活用できる
顔認証クラウドサービス「**KPAS**」

動画収録・配信サービス「Panopto」

簡単・安全に動画の収録・編集・配信が行える動画プラットフォーム。
対面・ライブ・オンデマンド授業を効果的に活用する新時代の教育環境に最適と導入校も増加中です。

収録・編集・動画管理が簡単でフレキシブル！

LMSやWEB会議ツールと連携し便利・安全に動画を配信

ライブ配信と同時に収録もOK！用途にあわせた多様な使い方が可能

顔認証クラウドサービス「KPAS」

学生証の顔写真データを活用し、キャンパス内での様々なサービスに顔認証をご活用いただけます。

現状

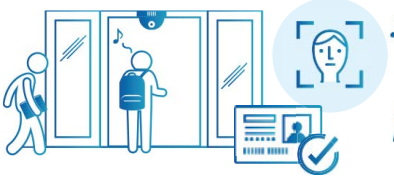
出席確認の時間や代理出席のリスクが発生

ICカードで出席を打刻

なりすましや紛失などトラブルの可能性

将来

スムーズな出席登録　**正確な出欠管理**



教室の入り口で各個人が顔認証

オンライン授業の認証にも

■お問い合わせ先

パナソニック コネクト株式会社　現場ソリューションカンパニー
パートナー営業本部　マーケティング課　重田
pana_education@ml.jp.panasonic.com
〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目21番1号　汐留浜離宮ビル

「Panopto」サイト

「顔認証」サイト

あしたの医療に、あなたのご寄附を

「みんなのみらい基金」にご支援をお願いします

当院は「患者さんにやさしい医療と先進医療との調和」の実現のため、いまだ解決されていない病気の治療法の確立やそれらを担う医療従事者の育成に取り組むとともに、東北地区の医療の要として地域の医療体制を守るべく、職員一同、日々、研鑽と努力を重ねております。皆さまからいただいたご寄附は、これらの使命の実現のために活用させていただきます。あたたかいご支援を心よりお願い申し上げます。

ご支援使用用途（例）

1. 新たな医療の研究・開発

2. 医療スタッフの育成

3. 医療体制の整備・拡充　ほか

本基金へのご寄附につきましては、税制上の優遇措置を受けることができます

東北大学病院 みんなのみらい基金　TUH 東北大学病院　東北大学

お問い合わせ
東北大学病院みんなのみらい基金（東北大学病院総務課内）
〒980-8574　仙台市青葉区星陵町 1-1
TEL. **022-717-7013**　e-mail mirai@grp.tohoku.ac.jp
https://www.hosp.tohoku.ac.jp/kikin/

名古屋大学 情報連携推進本部
Information and Communications, Nagoya University

情報連携推進本部は、平成18年4月1日に運営支援組織である情報連携統括本部として発足し、名古屋大学の情報戦略の企画立案、情報インフラの整備、情報セキュリティ対策、更には文部科学省の共同利用・共同研究拠点として国内トップクラスのスーパーコンピュータの使用環境を提供するとともに、教育研究を支援するための各種の情報化支援サービスを実施しています。

計算機資源の提供

スーパーコンピュータ「不老」

複数計算機システムからなるスーパーコンピュータシステムを維持し、学内外に計算機資源を提供しています。その特長は以下のとおりです。

- 「富岳」と同型サブシステムを含め合計15.9PFLOPSの計算機資源
- NVIDIA Tesla V100 884ユニットからなるGPUクラスタ
- 研究データ保存に対応する大規模コールドストレージ(光ディスク)と30PBの大容量ホットストレージの複合ストレージシステム
- 8K高精細モニタや遠隔可視化機能を有する可視化システム
- 外部計算機資源と高バンド幅ネットワーク(40Gbps x2)で接続

「富岳」と同型のType I サブシステム

学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点(JHPCN)

JHPCNでは公募型共同研究を毎年募集します。採択されると共同研究を通じ、全課題合計で228ノード年(Type I)、21ノード年(Type II)の計算機資源を無償利用可能です(2023年1月締切予定)。特に、(1)超大規模データ処理、(2)超大容量ネットワーク技術、の研究を強く募集しています。

スーパーコンピュータの産業利用促進

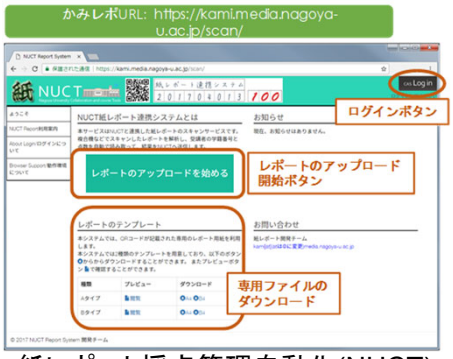
スーパーコンピュータ利用を希望する企業に対し、書類審査の上で、アカデミック料金の2倍(成果公開型)、および、4倍(成果非公開型)で計算機資源を提供可能です。

GPUクラスタのType II サブシステム

ICTによる教育/研究のDX支援

教育学習支援システム(NUCT)

NUCT(NU Collaboration and course Tools)はLMS型のWebアプリケーションです。教員は、教材の配布、テスト実施、講義関連アナウンス、チャットなど、様々なツールを使って授業の実施/補完ができ、また、紙レポートも含めた採点管理も電子化できます。学生は、いつどこでも教材/資料を閲覧したり、テストを受けたり、課題を提出したりできます。



紙レポート採点管理自動化(NUCT)

教育研究用ストレージサービス(NUSS/NSSS)

NUSS(NU Storage Service)は、データの保管/共有のためのサービスであり、Webブラウザ、WebDAV、専用同期クライアントを通して利用可能で、学内外へのデータの配布、学内教職員間でのデータ共有管理などが可能です。また、認証レベルを高めたNSSS(NU Secure Storage Service)も提供しています。

情報メディアスタジオによる映像コンテンツ制作

講義/研究等において映像コンテンツを制作したい教員に対し、収録スタジオの貸し出し、撮影/編集機材の貸し出し、撮影や編集方法の相談対応などしています。また、収録した映像コンテンツのスタジオチャンネルを通じた配信も行っています。

映像コンテンツライブラリ

UNIADEX

同じ未来を想うことから。

お客さまの次世代 ICT インフラに向けて

マルチクラウド活用を導き、全体最適化をいたします

ビジネスを強くする視点で

伴走してまいります

BIPROGY グループの ICT インフラトータルサービス企業

ユニアデックス株式会社

〒135-8560　東京都江東区豊洲 1-1-1　大代表：03-5546-4900

KDNA

KELA
TARGETED CYBER INTELLIGENCE

KELAダークネットアセスメント

概要

世界中でサイバー脅威が高まりを見せる中、企業や組織が自らのアタックサーフェスについて理解することはもはや必須となっています。ダークネットに関するKELAの専門知識と自動諜報技術を統合したKDNA（KELAダークネットアセスメント）は、ダークネットにおける脅威の勢力図を把握し、それらの脅威が自らのアタックサーフェスに及ぼす影響について理解したいと考えるお客様をご支援するサービスです。また、ダークネットの脅威アクターの視点でお客様企業・組織の状態を解説したインテリジェンスレポートも併せてご提供いたします。

サービス内容

ダークネットの専門家で構成された弊社チームがお客様に合わせてRADARKをカスタイマイズし、最長30日間にわたってお客様の資産を標的とする脅威を監視し検知します。さらに検知された情報をお客様専属の弊社アナリリストが精査し、脅威に関する調査結果、お客様のアタックサーフェスの評価、リスク低減にむけた推奨策をまとめた詳細なレポートを作成いたします。

成果物

1. お客様に興味を持っている脅威アクターについての包括的な分析
2. ダークネットから見たお客様のアタックサーフェスの詳細な分析
3. 漏洩した従業員または顧客の資格情報（お客様の既存システムに簡単に取り込んで頂けるよう、すべての未加工データを機械可読ファイルでご提供します)
4. 検知された脅威がもたらすリスクを軽減するための推奨策
5. 弊社のサイバーエキスパートによる詳細な解説及びご相談対応

0366347836 | JAPAN@KE-LA.COM | WWW.KELA.CO.JP

大学 ICT 推進協議会 AXIES

設置の目的

AXIESは，会員間の相互連携・協働を通じて，我が国の高等教育機関及び学術研究機関における情報通信技術を利用した教育，研究，経営等の高度化を図り，もって我が国の教育，学術研究，文化及び産業の発展に寄与することを目的として設置されました。

年次大会

次回の年次大会は
2023年12月に名古屋大学を中心に開催

全体会，基調講演,表彰式，
企画セッション，一般セッション，
展示会，情報交換会などを予定しています。

通常総会

次回の通常総会は2023年5月中旬に開催

事業報告，決算報告，事業計画，
予算計画，役員改選などを行います。
CIO部会会議，CIO向け講演会も
予定しています。

情報倫理デジタルビデオ小品集８

情報倫理
デジタルビデオ小品集8

大学生向けの情報倫理ビデオ教材を
作成しています。
2021年12月に第8版を作成しました。
正会員には，会員価格が適用されます。

会員特典

AXIESでは、正会員向けに種々の特典を用意しています。
・日本マイクロソフト株式会社との包括ライセンス契約
・トレンドマイクロ株式会社の専用特別ライセンス
・株式会社日経BP「日経パソコンEdu」特別プログラム
・Dropbox Japan株式会社の専用特別ライセンス
・株式会社内田洋行「ウチダのOffice学割」特別プログラム など

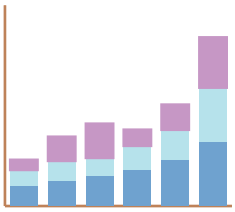
詳細は以下をご覧ください。
https://axies.jp/admission/benefits/

CIOセミナー（CIO向け講演会）

会員大学のCIO向けのセミナーを開催

【最近のテーマ】
・大学での研究データ管理の意義と情報基盤の役割

ICT利活用調査



我が国の高等教育機関における
ICT利活用に関する調査研究の
結果を踏まえ，国内外におけるICT
利活用の実態や課題を明らかにし，
我が国の高等教育におけるICT
利活用のあり方を提案しています。

部会のご案内

AXIESは，14の部会でそれぞれ活動しています。

CIO部会
ITベンチマーキング部会
情報教育部会
オープンソース技術部会
学術・教育コンテンツ共有流通部会
ソフトウェアライセンス部会
認証基盤部会
クラウド部会
ICT利活用調査部会
教育技術開発部会
高品質・セキュリティICT部会
研究データマネジメント部会
ORCID部会
ユーザーコミュニケーション部会

※部会活動への参加を希望される場合は，office@axies.jp までご連絡下さい。

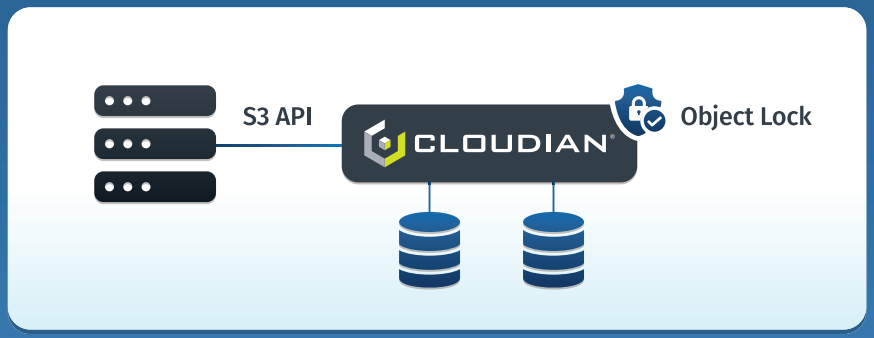
AXIES
一般社団法人大学ICT推進協議会
https://axies.jp/

事務局
〒606-0802
京都市左京区下鴨宮崎町119-1
WhateverSHIMOGAMO内
Tel: 075-781-2035
E-mail: office@axies.jp

CLOUDIAN®

We Bring The Cloud To You.

S3-Compatible Object Storage Software



Exabyte Scalability

Ransomware Protection

Runs on Servers, VMs, or Containers

DX推進・ICT活用 お任せください

大学市場で求められる機能を保有する『ExtraConsole®』シリーズ

ExtraConsole® ID Manager

- 統合ID管理システム
- 学内の複数システムのIDを統合し、ユーザー登録やパスワード管理など管理者作業の負担を軽減

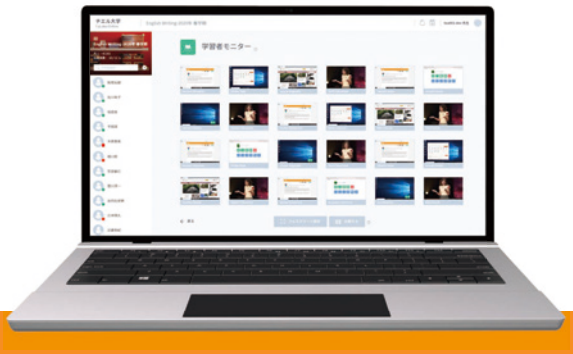
ExtraConsole® Secure Network

- シングルサインオンシステム
- 一度の認証でクラウドサービスや対応する各種WEBサービスへのログインが可能に

「Web会議システム+LMS」に欠けていた リアルタイムによる 授業支援機能・形成的評価機能 を補完

CaLabo® Online
《キャラボ オンライン》

- Microsoft Teamsとの連携で授業内容を自動保存
- 出席管理などの授業支援機能
- Teamsを補完する機能が双方向授業をさらに充実



※ Microsoft Teams は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

CHieru
チエル株式会社
本社：東京都品川区東品川2-2-24天王洲セントラルタワー3F
chieru-sales@chieru.co.jp
www.chieru.co.jp
営業時間：平日10時～17時
チエル株式会社

※記載されている会社名および商品名は各社の商標もしくは登録商標です。※記載の仕様などは予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。

2022年10月版

Canon
make it possible with canon

DO YOU KNOW Canon ICT?

ICTで、あなたとつくる。

キヤノンマーケティングジャパングループ
canon.jp/ict-partner

DX、はじめの一歩をお手伝い

なかなか踏み出せないDXのはじめの一歩をキーウェアソリューションズがお手伝い。
様々なソリューションをご用意して、お待ちしています。

DX ファーストステップソリューションはこんなお悩みを解決！

アナログ情報を
デジタル化したい！

Step 1 ：デジタル化ソリューション

あ A 亜
AI-OCR KeyRex
Platio

AI-OCRやモバイルアプリを利用してアナログ情報をデジタル化！

データの入力が大変！

Step 2 ：RPAソリューション

あ A 亜
NEC Software Robot Solution

作成したデータはRPAで自動入力。作業時間とミスを軽減！

別のシステムでも
データを使いたい！

Step3 ：データ連携ソリューション

Asteria warp
CSV

システム間の連携やデータの抽出でデータを利活用！

お問合せはこちらまで

KEYWARE SOLUTIONS

キーウェアソリューションズ株式会社
〒156-8588 東京都世田谷区上北沢5-37-18
TEL：03-3290-1111（代表）

キーウェアソリューションズ株式会社 東北支店
〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央3－2－1（青葉通プラザ11階）
TEL：022-713-8191（代表）Mail: tohoku-info@keyware.co.jp

Trend Micro One「統合サイバーセキュリティプラットフォーム」
～組織のサイバーリスク対策力を高める～

組織に求められるより高度なリスクマネジメントの実行は、「資産×脅威×脆弱性」の特定・評価。システム管理者の運用に寄り添うソリューションとして「統合サイバーセキュリティプラットフォーム」をご提案します。

Trend Micro one　A unified cybersecurity platform

攻撃対象領域の把握 → **リスクの評価** → **リスクの軽減**

エキスパートサービス

Trend Micro Service One

- マネージドXDR
- インシデント対応
- 標的型攻撃検知サービス
- オンボーディングとヘルスモニタリング
- 24時間365日のグローバルサポート

セキュリティオペレーション
ENT:Trend Micro Vision One / SMB:Worry-Free XDR

XDR
- 脅威ハンティング・ 検知・調査・ レスポンス
- ネイティブセンサと他社センサとの連携

統合された可視化
- 脅威ハンティング・ 検知・調査・ レスポンス
- ネイティブセンサと他社センサとの連携

攻撃対象領域の分析
- サイバーリスク指標と傾向
- 攻撃対象リスクの可視化

脅威アセスメント
- 脅威情報とアセスメントツール
- MITRE ATT&CK マッピング

レポート
- 脅威情報とアセスメントツール
- MITRE ATT&CK マッピング

エンドポイント・メール セキュリティ
Trend Micro Workforce One

- ランサムウェアの予防と復旧
- 情報漏洩対策
- 脆弱性保護
- Microsoft 365へのフィッシング対策

エンドポイント　Email　SaaSアプリ　モバイル

クラウド セキュリティ
Trend Micro Cloud One

- クラウド設定不備とコンプライアンス
- オープンソースレポジトリ分析
- 仮想パッチ
- ランサムウェア防御

クラウドアカウント　ワークロード/仮想マシン　クラウドネイティブアプリ　ファイルオブジェクトストレージ　クラウドネットワーク

ネットワーク・IoT セキュリティ
Trend Micro Network One

- ネットワークの脆弱性保護
- 管理されていないデバイスの可視化
- 高度なネットワーク分析
- ゼロトラストアクセス

組織のネットワーク　ICS / OT　セキュア アクセス サービスエッジ (SASE)

コアテクノロジー

セキュリティエンジン
- 機械学習、ふるまい分析、仮想パッチ、アプリ管理、 マルウェア対策、 統合監視など
- クラウドサンドボックス

ビッグデータ解析
- データ構築
- データレイク
- 解析とレポート

SaaSアーキテクチャ
- 地域分散型インフラ
- ロールベースアクセス制御
- 多要素認証

世界規模の脅威インテリジェンス

攻撃対象領域インテリジェンス
- クラウド、エンドポイント、email、ネットワーク、IoT を横断するセンサ
- 高度に自動化された技術インテリジェンス
- 専門家によるインテリジェンス

脅威リサーチ
- 脆弱性解析と情報公開 (Zero Day Initiative)
- 脅威予測リサーチ

サイバー犯罪
- アンダーグラウンド調査
- 法執行機関連と連携捜査協力

APIs

サードパーティ：エコシステム連携

攻撃対象領域の管理
Bit Discovery

ID・アクセス管理
Okta、Active Directory、Azure Active Directory

脆弱性アセスメント
Qualys、Rapid 7、tenable

SIEM / SOAR
Splunk、Paloalto、IBM Qradar、Fortinet

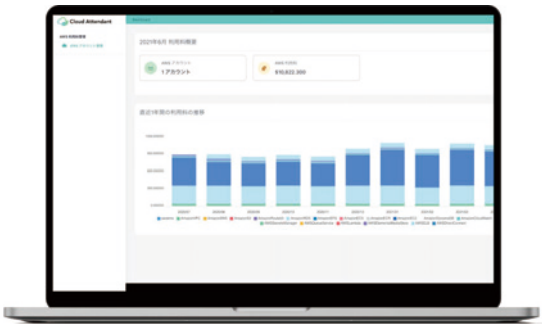
クラウドサービスプロバイダ

ITインフラ・アプリ
Microsoft、Google、Apple、box、Windows、Android、Linux、docker、Kubernetes、vmware、Service now、Check Point

様々なITソリューションで
学術・研究機関の課題解決をサポート

Fusic Co., Ltd.

Cloud Attendant



AWS請求代行サービス

○ 日本円・請求書でのお支払いが可能
日本円・請求書払いでAWSをご利用いただけます。

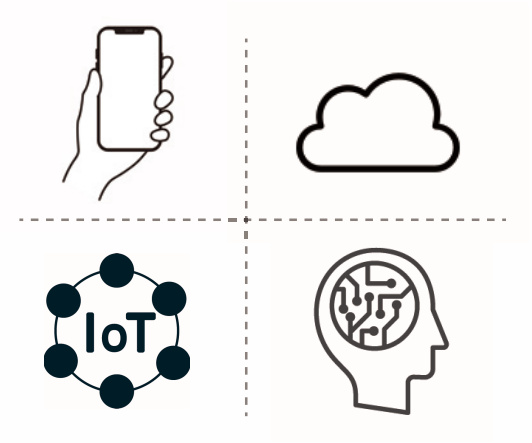
○ 安心の料金確認機能
直感的な操作で誰でも簡単にAWS利用状況をご確認いただけます。複数のAWSアカウントをご利用の場合にもそれぞれ個別に利用状況を確認することができますので、プロジェクトごとの予算管理にも最適です。

Lab.Console: バウチャー

研究のためのクラウドサーバと
ファイルサーバを簡単調達！

○ 簡単な操作ですぐに利用可能
いくつかの項目を入力選択して起動ボタンをクリックするだけで、サーバがすぐに起動。ファイルサーバへのアップロード/ダウンロードも簡単に行うことができます。

○ 使い過ぎによる予算超過を防止
設定した予算を超過しそうな際にはアラートメールを送信します。超過直前のサーバ自動停止機能も搭載。



オーダーメイドで
様々なITソリューションをご提供

Fusicは、お客様の課題解決にあたって、新たなテクノロジーを活用した各種システム開発など、様々なサービスを幅広く提供しています。
Webシステムやスマホアプリ開発, AI・機械学習, IoTシステム開発, クラウドインフラ（AWS）に関してのお困りごとはぜひFusicへご相談ください。

詳細につきましてはメールにてお問い合わせください
会場内展示もしておりますのでぜひお立ち寄りください

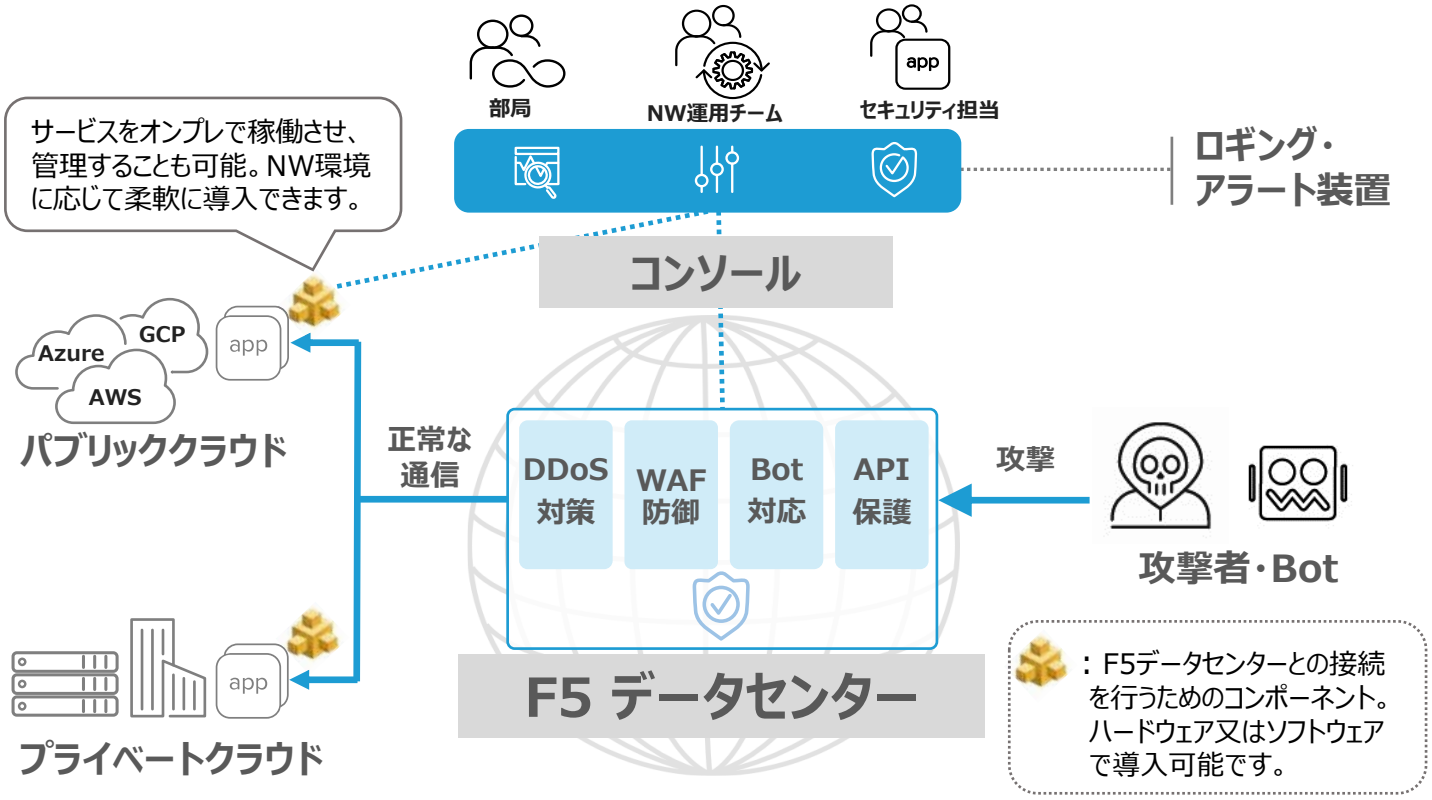
株式会社Fusic
〒810-0001
福岡市中央区天神4-1-7 第3明星ビル6F

integration-sales@fusic.co.jp

担当：インテグレーションセールスチーム
（室井、中林）

Webの新たな脅威をスマートに対処
F5 Distributed Cloud Services

パブリック/プライベートクラウドに分散したアプリケーションを統合的に管理・保護



単一のポリシーエンジンと管理コンソールを統合した
クラウドネイティブなプラットフォームで、サービス提供までの時間を短縮。
TCOを削減し、セキュリティの有効性を高めます。

■ 基本ライセンス（ベースパッケージ）の特徴

1. 下記の機能を基本ライセンスで使用可能です。WAFに加えて、DDoS制御やBot対策等の機能も含まれています。
2. 課金体系は保護対象アプリケーションのFQDN数がベースとなります。ユーザ数や帯域に基づいた課金は一切ございません。

基本ライセンスに含まれる機能		
送信元IP評価	TLS相互認証	手動L3/L4 DDoS対策
JavaScript/CAPTCHA チャレンジ	Bot対策（シグネチャベース）	L7レートリミット
L7セキュリティポリシー	WAF	自動DDoS対策

F5ネットワークスジャパン合同会社
〒107-0052 東京都港区赤坂4-15-1 赤坂ガーデンシティ 19階
お問い合わせはこちら → https://www.f5.com/ja_jp/ContactFormJP

turnitin

ターンイットインの オンライン学術支援 ソリューション

海外18,000以上、国内200以上の学術機関でご利用いただいています。

feedback studio

レポート剽窃チェック・採点ツール

アップロード数分で類似性チェック完了

Feedback Studio（フィードバックスタジオ）は学生に対して適切なレポートの書き方を指導できるよう、文章の類似性チェックやフィードバック機能が利用できます。オンライン上で提出されたレポートや論文の添削、採点、返却を一貫サポートし、教育の質を担保します。

LMS 連携可能

論文・レポートの独自性を保証

インターネット・学術論文誌・学生レポートから成り立つ、世界最大総合コンテンツデータベースとの類似性チェックを行うことで、論文やレポートの独自性を保証します。

学生同士のレポートの比較が可能

提出されたレポートをデータベースとして蓄積することで、過去の卒業生のレポートとの比較や学生間での不適切なコピペを発見しやすくします。

レポートの適切な引用指導の一環として

定型コメントやボイスコメントなどのフィードバック機能や英文法チェック、採点機能を活用して、教員は学生に正しい引用方法を指導することができます。

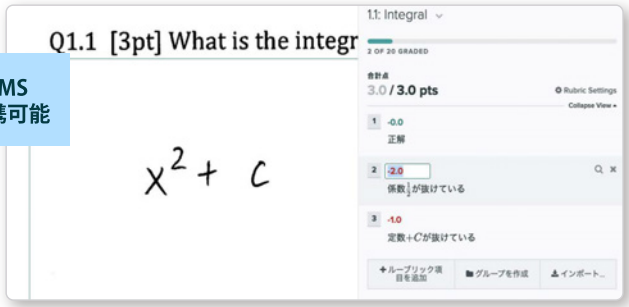
gradescope by Turnitin

デジタル採点プラットフォーム

無料トライアル申し込みページ

Gradescope(グレードスコープ)は様々な学科や解答形式に対応したクラウド型デジタル採点評価ツールです。採点業務を効率化することで、教員の採点時間を短縮し、評価に一貫性を持たせます。また学習評価・採点をシームレスに実施・管理することで、試験の傾向や学生の理解度を可視化し、指導方法やカリキュラム改善に役立ちます。

LMS 連携可能



日本語正式版を提供開始
無料トライアル実施中

AIグルーピング機能

AI自動採点機能で同じ解答を自動でグループ化して、グループごとにまとめて採点できるため、採点工数を大幅に削減できます。

ルーブリック機能で公平な採点評価の実現

ルーブリック採点機能を活用して、採点基準を明確にし、複数人で同時採点を行う場合でも、一貫性のある公平な採点ができます。

採点結果の統計データを取得し、学習傾向を分析

オンライン上で学習管理・保存ができるため、全体の平均点や設問ごとの回答の傾向など、学生の理解度をデータで可視化し、分析が可能です。

さらに詳しい製品のご案内、他大学における事例のご紹介、製品デモの実施など、ご要望に応じて専門のスタッフがサポートいたします。

ターンイットインジャパン合同会社
090-1003-9411(営業担当)

japan@turnitin.com
www.turnitin.com/ja

@TurnitinJapan

© 2022 Turnitin LLC. All rights reserved.

FS_GS_AXIES_Advert_APAC_JP_1222

NTT PC COMMUNICATIONS

今だけの特別価格＆短納期！※

キャンペーン期間：2022年12月22日まで

※ご発注からおよそ1ヶ月で納品。但し諸事情により変更となる場合がございますのでご了承ください。

キャンペーン対象製品

HP Z4 G4 Workstation

NVIDIA RTX™ A6000　1基搭載モデル

キャンペーン価格

1,508,000円 (税別)

1,658,800円（税込）

HP Z8 G4 Workstation

NVIDIA RTX™ A6000　2基搭載モデル

キャンペーン価格

3,388,000円 (税別)

3,726,800円（税込）

主な用途紹介

ビジュアルコンピューティングは活躍の場を広げ、さまざまな産業で活用されています。

建築

建物やインフラのリアルタイムレイトレーシング、仮想現実（VR）、エンジニアリングシュミレーションなど

製造

3Dモデルリング、シミュレーション、NVIDIA Omniverse™によるワークフロー変革

ヘルスケア

創薬、ゲノム解析、医用画像処理、スマートホスピタルと医療機器など

HPC

天気予測、津波シミュレーション、新薬の発見、新エネルギーの発見など

ロボティクス

データセット収集・ラベリング、シミュレーション・テスト、ロボットのトレーニングなど

エンターテイメント

ゲームのリアルタイムレイトレーシング、マルチチャネル動画配信、AIによるターゲッティング広告など

株式会社レスターコミュニケーションズ

講義収録・音声解析連携システム

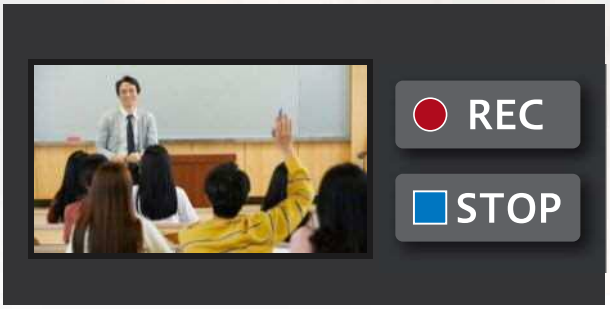
講義収録 FOMS（フォムス） Rec

Felica Operation Management Solution

講義収録をお手軽に、誰でも自由に簡単収録。すべての教室に収録を！

教員も　学生も

タッチパネルでかんたん、3ステップ



タッチパネル画面イメージ

1. カメラの画角を調整
2. 開始ボタンを押す
3. 停止ボタンを押す

製品紹介サイト公開中

さらに！ 収録データ管理ソフトとの連携でコンテンツ管理・視聴も使いやすい！

「AI」による講義収録コンテンツ活用ソリューション「DaAlps for Education」なら！

DaAlps for Education

- 見たいコンテンツを簡単に検索
- 知りたいところにすぐアクセスができる
- 収録データをしっかり活用できる

製品紹介サイト公開中

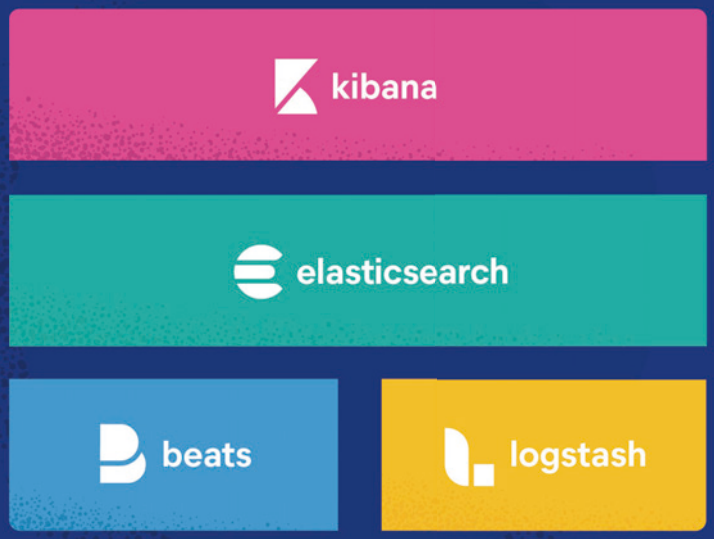
教員の発言内容をAI解析することでキーワード検索が可能。
さらに、検索されたコンテンツのキーワード部分から視聴可能。
学生が今、必要な授業コンテンツをすぐに探しあてる
講義収録の新たな活用方法を提案します。

コンテンツ管理　資料と映像の同期　キーワード・タグ検索　Web閲覧

文部科学省 スキームD「2021年度Startup Pitch and Conference」採択製品

〈お問い合わせ〉
株式会社レスターコミュニケーションズ
〒141-0001　東京都品川区北品川5-9-11　大崎MTビル3・4階　TEL：03-3445-2077
Web www.restarcc.com
Mail info_mk@restarcc.com

カタログ記載以外の製品や仕様についても幅広くご相談に応じます。不明点はお問い合わせください。
●カタログに記載の製品名、サービス名などは弊社独自のものを除き、それぞれ各社の商標または登録商標です。●本カタログ中の画面はハメコミ合成です。実際の表示とは異なる場合があります。



elastic

サーチ・セキュリティ・オブザーバビリティ 高速でスケーラブルな検索エンジン Elasticsearchのソリューション

オープンな開発プロセスで、リアルタイムな検索性能とペタバイトのデータに対応できる拡張性を備えたElasticsearchは、世界で最も多くのエンジニアに支持されている検索エンジンです。Webサイトや組織内の情報を検索する用途だけでなく、サイバーセキュリティやオブザーバビリティの分野でも広く活用されています。詳しくはぜひ出展者セミナーとブースにお越しください。

お問い合わせ先　https://www.elastic.co/jp/contact

大学 講義収録　OSCE 実習収録　教材/研修 動画共有

動画で学びが繋がる深まる広がる

CLEVAS

学習動画共有プラットフォーム

基本機能
- 視聴分析
- Web 編集
- 小テスト / アンケート
- デスクトップレコーダー
- ZOOM 連携

zoom

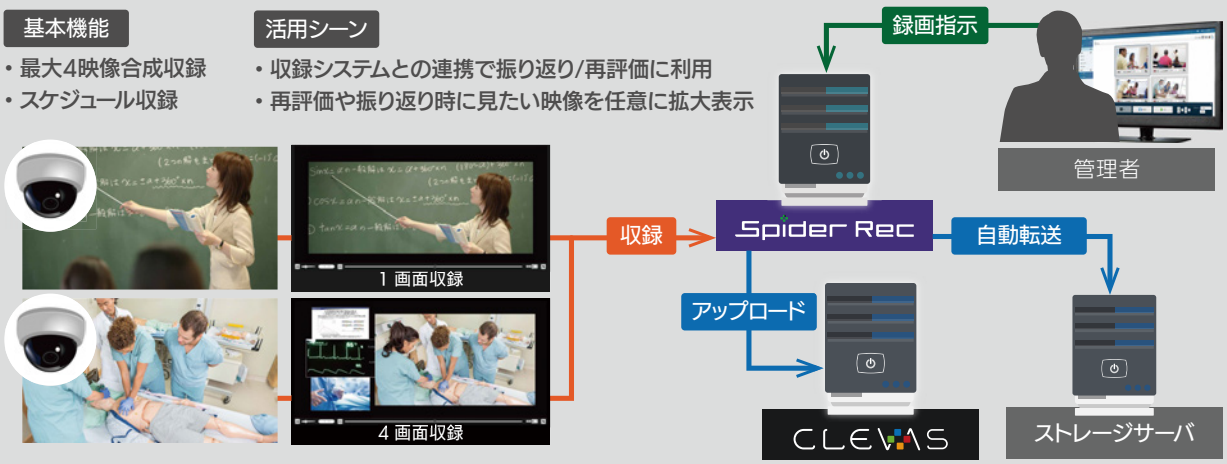
視聴画面機能
- タイムラインコメント
- パーソナルコメント
- 関連資料添付

Spider Rec

ネットワークカメラ収録システム

基本機能
- 最大4映像合成収録
- スケジュール収録

活用シーン
- 収録システムとの連携で振り返り/再評価に利用
- 再評価や振り返り時に見たい映像を任意に拡大表示



株式会社 フォトロン　教育映像システム

e-solution@photron.co.jp

TEL 03-3518-6274　FAX 03-3518-6279

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング 21 階

https://www.photron.co.jp/products/recording/

Photron

Shape your future

CEC
Computer Engineering & Consulting

ビジネス環境のセキュリティ課題を解決する

CyberNEXT®

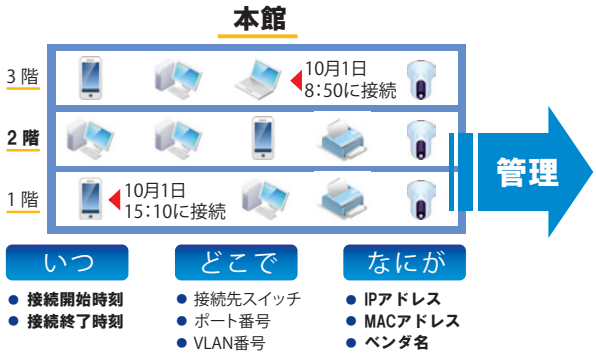
シーイーシーのトータルセキュリティソリューション

シーイーシーのトータルセキュリティソリューション「CyberNEXT」は、進化し続けるセキュリティの脅威に対し、最新世代のテクノロジーと、セキュリティサービスプロバイダーとしての使命とともに、お客様のビジネスを守ります。

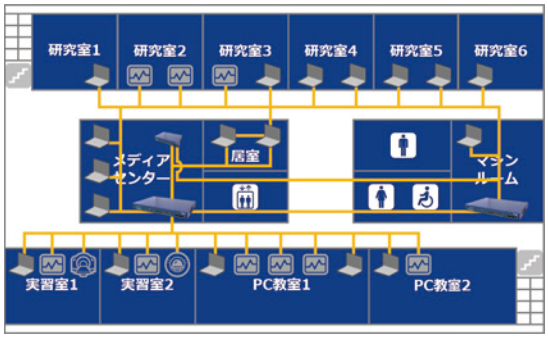
学外からインシデント通知が寄せられた際の対応にお困りではありませんか？

アラクサラの「端末トレーサビリティソリューション」なら過去に遡って対象の端末を容易に特定することができます！

- ネットワーク接続状況が視覚的にわかるトポロジマップ
- 有線／無線をシームレスで管理
- あらゆるメーカーのネットワーク機器で利用可能
- エージェントレスによる導入のし易さ
- リアルタイムな状況把握に加え、過去の接続状況も確認可能
- REST APIを利用すれば、アプリケーション連携も可能



機器の所在や稼働率を可視化



導入事例 https://www.alaxala.com/jp/introduce/

沖縄大学様	オンライン講義に必要な無線LAN環境を整備すべくAXprimoWを導入。 快適な講義が実現、セキュリティ強化や運用負荷低減も視野に
帯広畜産大学様	過酷な北海道の環境において、 11年にわたりトラブルなしで大学ネットワークを支えるアラクサラ製品
広島大学附属学校様	広島大学の附属校9校に無線LAN環境を整備 学びの場で共同、創造といった作業が容易に

詳細情報やデモ・お試しをご希望の方は以下よりお問い合わせください。
https://www.alaxala.com/jp/contact/

MSYSの
大学・教育機関向け
ICTインフラソリューション

MSYS 丸紅情報システムズ

丸紅情報システムズでは、大学・教育機関の情報システムを支える
ICTインフラを幅広く提供しています。

情報社会の中で、学校教育においても多様化している
様々なニーズに対応いたします。

クラウド管理型無線LAN

容易な管理を実現する、
クラウド管理型無線LANソリューション

Extreme networks

Fabric LAN

教育現場のネットワーク信頼性、
運用効率を高める
Ethernet Fabricソリューション

Extreme networks

データ管理・活用・保護

学内のさまざまなシステム基盤を支える、
信頼性・可用性・高速性に優れた
ストレージソリューション

NetApp®

安い！国内！クラウド！

国内データセンターで運用される
マルチクラウド対応の
クラウドストレージサービス

Neutrix Cloud Japan®

脅威対策とデータ保護

XDRでランサムウエアなどを検出し、
増大する脅威から保護いたします
McAfee EnterpriseとFireEyeが融合して
Trellixが誕生しました

Trellix

**出展製品やその他の
MSYSソリューションに
つきましても、
説明員へお気軽に
お声掛けください！**

丸紅情報システムズ株式会社

IT 基盤ソリューション事業本部　事業推進部

〒169-0072 東京都新宿区大久保三丁目 8 番 2 号新宿ガーデンタワー
TEL: 03-4243-4210　Mail: ps-marketing@marubeni-sys.com
www.marubeni-sys.com

一般社団法人
高度ITアーキテクト育成協議会

ADVANCED IT ARCHITECT HUMAN RESOURCE DEVELOPMENT COUNCIL

AITAC が育成を目指す人材像

AITACではIoT時代のITインフラを支えるための人材、
「アーキテクト人材」の育成を目指しています。

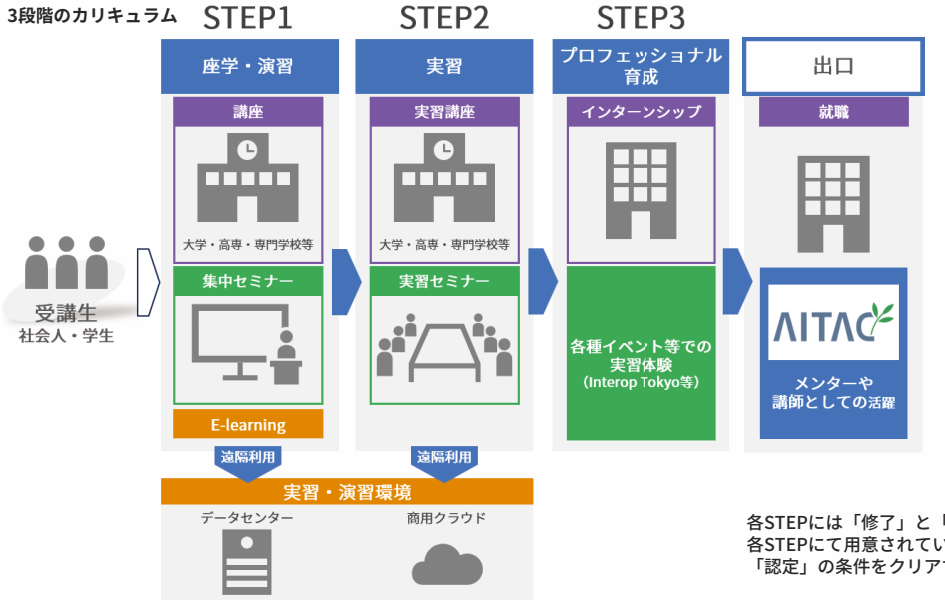
※現在講座はオンラインで実施しています

トップアーキテクト
ICT 技術を「武器」としてアイディアを
システムに具現化できる人材

フルスタックエンジニア
従来の区分である「ネットワーク管理者」と
「サーバ管理者」の垣根を超えた
ハイブリッドなエンジニア

システムを運用できるエンジニア
システムを理解しトラブルを解決できる人物
インフラの監視にて得られた情報を適切に運用に
フィードバックできる人物

3段階のカリキュラム



STEP1

座学・演習にて基礎的な技術を幅広く学んでいきます　STEP1はe-Learningも提供

STEP2

STEP1で学んだことをベースに、習得できていない技術については個々で調べながら、グループワークで実践的に技術を学んでいきます

STEP3

会員企業へのインターンシップやInterop Tokyoなどのイベントに参加し、実践を通してインフラエンジニアとしての経験を積みます

各STEPには「修了」と「認定」を設定
各STEPにて用意されているコンテンツをすべて受けることで「修了」の資格が与えられ
「認定」の条件をクリアすることで次のSTEPに進みます

STEP1カリキュラム

座学と演習を組み合わせた、理論と実戦に即した教育カリキュラムで、STEP1はe-Learningも提供しています。

従来の区分である「ネットワークエンジニア」と「サーバエンジニア」の垣根を無くし、ソフトウェア技術とプログラミング技術を利用して、外部クラウドを組み合わせた迅速なサービスインフラを設計・構築できるエンジニアの育成を目指します。
また、エンジニアにとってチームワークを行うために重要な「コミュニケーション能力」も重視した人材育成を行います。

ネットワークの基礎　OS/ コンピュータアーキテクチャ　インフラセキュリティー　商用クラウドを用いたサービスの構築
クラウド技術の概要・クラウドサービス構成法　ストレージ技術　インフラ自動化　インフラ運用監視管理　監視系演習
コンテナ技術と演習　データベース　SDN　DNS　NTP　5G／NFV概論　インフラ設計論

e-learning

自宅にいながらにして、「ネットワーク」や「サーバー」などの従来のインフラ技術だけでなく「クラウド」「SDN」などのソフトウェア資源を最大限に活用してITインフラを支えるエンジニアを目指すための学習が可能です。

AITAC入会/受講に関するお問い合わせはこちら

https://aitac.jp/contact/

一般社団法人 高度ITアーキテクト育成協議会
所在地：東京都新宿区西新宿一丁目6番1号 新宿エルタワー12階
理事長：中村 修（慶應義塾大学環境情報学部 教授 慶應義塾ITC所長）

大学向け総合パッケージシステム

大学の未来を創るトータルソリューション

GAKUEN

GAKUENシリーズは、入学から卒業まであらゆるシーンに対応した
大学向け総合パッケージシステムです。
学内のインフラとして基幹業務に必要な業務プロセスを網羅。
環境の変化に柔軟に対応し、学生・教員・職員・保護者の皆様に安心してずっと使い続けていただけます。

- GAKUENシリーズの特徴 -

パッケージ
標準機能の充実

学生支援×
教育支援の融合

大学業界ニーズを
製品化

安心・満足の
保守サポート

- GAKUENシリーズ -

GAKUEN RX
GAKUEN SERIES

入学から卒業までの学生情報を一元管理できる総合事務システム。豊富な機能で、大学業務のすべてを網羅しています。

- 入　試
- 教　務
- 就　職
- 学　費
- 自動証明書発行機
- Create Report

UNIVERSAL PASSPORT RX
GAKUEN SERIES

大学全ての情報を総合管理することで、学生生活の支援や教育の質保証、また情報公開を実現できます。いつでもどこでもアクセスできる仕組みの提供により、多種多様な教育手法への対応や、学修機会の充実を図れるポータルシステムを実現します。

- ポータル
- 教　務
- LMS
- ポートフォリオ
- スマホアプリ
- 教　室
- 出欠管理
- 学生支援
- WEB申請
- 電子マネー
- 教員タブレット
- 就　職

スマートフォン対応でサービス向上

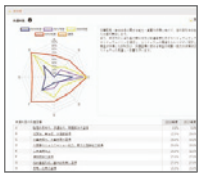
学生・保護者サービスの向上としてスマートフォンに対応。
必要な情報にどこからでもアクセスできます。

POINT

1. プッシュ通知で閲覧率UP
2. LMS機能スマホ全対応
3. 学生自身での出席登録
4. 学生の利便性大幅向上
5. 保護者機能もスマホ対応

ポートフォリオによる学修成果の可視化

レーダーチャートにより学修成果の可視化を実現。
学修のPDCAサイクルを実現します。



POINT

1. 学修成果をレーダーチャートで可視化
2. シラバス・履修登録連携
3. 教育の質保証・質向上
4. eポートフォリオの実現

日本システム技術株式会社
Japan System Techniques Co., Ltd.

問い合わせ
g-event@jast.co.jp

GAKUEN

シスコシステムズ合同会社

出展内容／展示ブース　ぜひお立ち寄り下さい

教育・研究のためのハイブリットラーニング・ワークスタイル

展示ブースでは教育・研究のためのコラボレーション・ネットワーク・クラウド・セキュリティのソリューションを展示いたします。今までの事業継続・教育の継続としての緊急対応的なハイブリッドラーニング・ワークスタイルから前進し、より生産的・効果的な教育研究のための環境がこれからは重要になると考えます。バーチャルだけでなく、対面も重要となる教育ならではのコラボレーションの活用方法、それを支えるインフラをご紹介します。

出展者セミナー

あらゆるDXの根底に共通してある「コラボレーション」。Ciscoが大学様と描くその未来とは？

コロナ禍における緊急対応として広がったオンライン会議システム。教育、研究、大学運営の現場に広く浸透した一方、その利用は「緊急対応としてのオンライン会議システム」の延長線上に今なお留まっていませんか？ DXが加速する今、その従来の枠を超えた「DXを支えるコラボレーションプラットフォーム」を実現していくことは必要不可欠であり、本セミナーでは、その実現をご支援するWebexの最新ソリューションをご紹介します。

今年のAXIES × Cisco の取り組み

AXIES会場内のネットワークインフラ、NOC、及びセッション等を弊社の最新ソリューションでご支援いたします。

シスコ教育機関向けソリューション〉 https://cisco.com/jp/go/education

大学のICTを、ジェイズのセキュリティ・ネットワークソリューションで より強固に、さらに柔軟に。

校内ネットワークの安定性向上と、高度なセキュリティ対策を両立するプロダクト・サービスラインアップ

多彩な認証方式とシングルサインオンでセキュリティ強化

MFA（Multi-Factor Authentication）
SSO（Single Sign-On）

WisePoint

標準機能で二要素認証/二段階認証に対応、シングルサインオンでユーザーの利便性を向上し、パスワードの漏えいリスク低減などでセキュリティを強化します。

帯域制御やセキュリティ追加など、かんたん柔軟SASE

SASE（Secure Access Service Edge）

CATO NETWORKS

帯域の拡張・縮小やセキュリティ機能の追加など、ニーズの変化に対して、柔軟な設定と簡単操作のプラットフォームをオンデマンドサービスで提供します。

高スループットと広いカバレッジ、安定した無線LAN通信

Wireless LAN Access point

RUCKUS COMMSCOPE

特許技術BeamFlexで高スループットと広いカバレッジ、抜群の安定した無線LAN通信を実現。また、オンプレミスやクラウドなど、多彩なコントローラーを利用できます。

大学ネットワークに迫る脅威をすばやく検知・遮断

NDR（Network Detection & Response）

DARKTRACE

Darktraceアプライアンスを主要ネットワークスイッチのミラーポートへ接続、AIが自動的にネットワーク構造や各アラートを学習・分析し、高度な監視を行います。

かんたん操作で業務とインターネット通信を安全に分離

RBI（Remote Browser Isolation）

RevoWorks Browser

信頼できないインターネットアクセスやクラウドサービスを、PC内のコンテナ環境で分離、Webブラウザによるセキュアなコワークスペースを実現します。

※ 本資料に掲載されている会社名および製品またはサービスなどの名称は、各社の商標または登録商標です。

J's Communication

ジェイズ・コミュニケーション株式会社

Mailお問合せ先：product_pr@jscom.co.jp

東京本社　東京都中央区新川1-16-3 住友不動産茅場町ビル
tel:03-6222-5858　fax:03-6222-5855

大阪本社　大阪府大阪市淀川区西中島5-5-15 新大阪セントラルタワー南館
tel:06-6309-7600　fax:06-6309-7677

KYOCERA

多くの国内大学から選ばれている
学生向けプリント管理のプラットフォーム

環境・資源・コストに配慮しながら、学生向けにプリンターや複合機による印刷環境を提供するためのプラットフォームです。

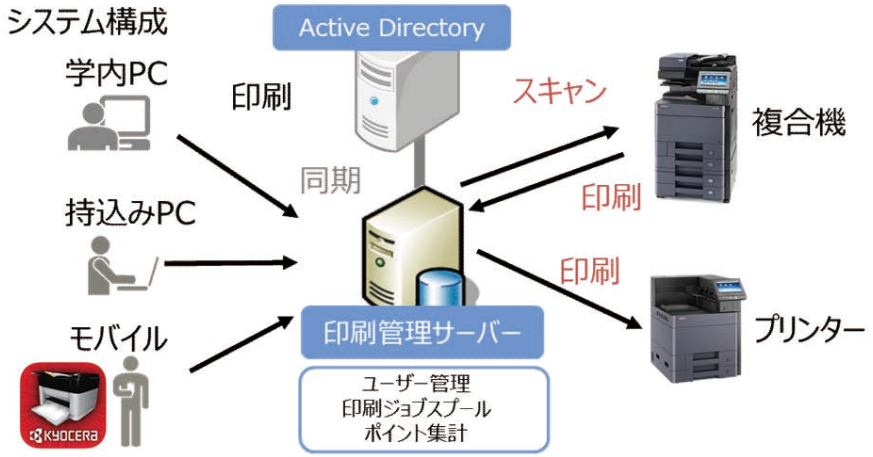
大学向けプリント管理システム

TASKGUARD ID マネージメントシステム

大学内のプリンターや複合機を一括管理！
学生が利用しやすいプリント環境の構築を。

「TASKGUARD ID マネージメントシステム」とは？

TASKGUARD IDマネージメントシステムは、学生によるプリンターや複合機の利用状況を管理するシステムです。大学側は予め学生ごとに印刷可能なページ数をポイントとして付与し、学生はこれを消費することで印刷します。このような上限設定により、大学全体の印刷コストを削減できることが最大の特長です。また、プリンターや複合機にIDカードをかざして個人認証してから印刷することで、プリントの放置による大量の紙廃棄をなくし、他人の印刷物との取り違えを防ぐ効果も期待できます。ほかにも、学生による私的な印刷を防ぐために印刷内容や枚数をログに残したり、コインベンダーを利用することなく課金の仕組みを取り入れることが可能です。TASKGUARD IDマネージメントシステムは、このようなプリント環境にまつわる仕組みを大学のご利用スタイルに合わせて構築できます。



〈販売元〉
京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社
〒540-0004　大阪府大阪市中央区玉造1-2-37　http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp
お客様相談窓口　0570-046562
受付時間 9:00～12:00／13:00～17:00（土曜、日曜、祝日及び当社指定休日は除く）

大学の業務改善を支援する クラウド型DXサービス

RICOH
imagine. change.

campus 手帳

学生の出席管理　スマホでカンタンにしませんか？

- 出席登録 / アンケート
- プッシュ連絡板
- 受講場所登録
- ミニテスト
- クイック集計/投書箱

5分で早わかり動画

2022年度 無料モニター募集中!!

お問い合わせ　zjp_info_campustecho@jp.ricoh.com

RICOH Chatbot Service

校内外からの問合せにチャットで自動対応！

在学生：履修登録方法や就職セミナー、授業料について問合せ先が分からない！
受験生：入試について、オープンキャンパスなどの問合せをしたいが時間外で聞けない。
職　員：問合せ対応に時間がとられ本来の仕事ができない。

導入事例

導入済み大学様で
こんな悩みを解決しています

問い合わせ窓口はChatbotで24時間365日いつでも自動回答

お問い合わせ　https://promo.digital.ricoh.com/chatbot/contact

RICOH Cloud OCR シリーズ

面倒な入力業務は お任せください

- AIによるOCR抽出とマスタ学習
- アウトソーシングサービスによる高精度なデータ作成
- 柔軟なデータ出力方法
- 安心のサポート体制
- スモールスタート可能なOCR

まずは商品を知りたい
Cloud OCR シリーズの製品ページをご覧ください。

デモで詳しく知りたい
オンラインデモを実施しておりますので、WEBフォームよりお申し込みください。

操作しながら検討したい
WEBフォームより無料トライアルをお申し込みください。

kaonavi

社員の個性・才能を発掘し、戦略人事を加速させる

タレントマネジメントシステム

タレントマネジメントのリーディングカンパニー

7年連続 シェア No.1 ※1 タレントマネジメントシステム

利用企業数 約2,500社 ※2

※1 ITR「ITR Market View：人材管理市場2022」人材管理市場- ベンダー別売上金額シェアで7年連続1位（2015～2021年度予測）
※2 2022年3月現在

ベンチャー企業から大手企業まで 業種・業態・規模を問わず幅広くご利用いただいております

TV TOKYO / TOYOTA / MIZUHO / MITSUBISHI ELECTRIC Changes for the Better / LIXIL Link to Good Living / 森永乳業 / 魚沼市 Uonuma City / 関西大学 KANSAI UNIVERSITY / 韮崎市 にらさきし / RITSUMEIKAN / 味ひとすじ 永谷園 / Wacoal / JCB / TOPPAN / NIKKEI / みんなの食卓でありたい。松屋 / いのちをつなぐ SARAYA / 日本キャタピラー CAT / IRIS アイリスオーヤマ株式会社 / 阪急阪神不動産 / SATUDORA HOLDINGS / 休.com / Money Forward / 楽! ラクス

カオナビでできること

人的資本経営・生産性向上・人材不足

など、現代のさまざまな人事課題に対応

人材情報の一元化・見える化

常に変化する人材情報も、柔軟設計の人材データベースで一元化。

人事業務の効率化

現場からの情報集約を効率化。人事業務のアウトプットも簡単。

経営の意思決定支援

優秀層の抜擢など、経営の意思決定に人材データを直接活用。

評価運用の効率化

紙やエクセルから脱却し、評価業務の運用をまるごとクラウドへ。

採用のミスマッチ・ハイパフォーマー分析

採用からオンボードそして現場での活躍も、そのすべてをトレース。

人材配置・要員シミュレーション

組織図、数字、社員の顔ぶれ。すべてを直感的に把握し綿密な計画を。

スキル管理・人材育成

現場に眠るスキルを発掘。人材ポートフォリオから戦略的育成プランを。

モチベーション分析・離職分析

社員の気持ちを明確なデータにして共有。人事と現場で連携フォロー。

ES調査・エンゲージメント向上

組織の課題と社員の特性をデータで把握。具体的な打ち手が見えてくる。

アルファシステムズ
文教向け製品・テレワーク製品のご紹介

2022年12月
新発売

alpha Vclass Cloud

多様な受講スタイルを実現する授業支援システム

- Windows／macOS／Linux／ChromeOSなど様々なOSに対応
- Webブラウザ使用のクラウドサービスなのでシステム構築不要ですぐ利用可能
- 自宅と教室が混在するハイフレックス授業に特化

主な機能

画面監視・拡大・転送 / 端末状態表示 / 出席管理 / チャット / 挙手 / URL共有 / SSO

alpha Vclassからクラウド版が登場！

alpha Vclass 授業支援ソフトウェア

※ 2022年9月より製品名が「V-Class」から「alpha Vclass」に変更になりました。

PC授業を行う先生をサポート！

- シンプルなメニューで簡単操作
- Windows／Mac／Linuxの混在環境に対応
- 無線LAN環境に対応

主な機能

・電源ON/OFF/再起動　・出席管理　・画面ロック
・ログイン/ログアウト　・教材配布/回収　・アプリ制限/Web制限

V-Recover 環境復元システム

PCメンテナンスを効率化 複数PCを一括集中管理

ニーズに合わせた2つのエディション

スタンドアロン版

・環境復元機能
・サーバ不要

ネットワーク版

・管理コンソールで複数PCの一括管理
・クローニングでイメージ配信
・アプリカスタマイズ配信

V-Boot PC運用システム

1台のPC操作で全台を一括メンテナンス！

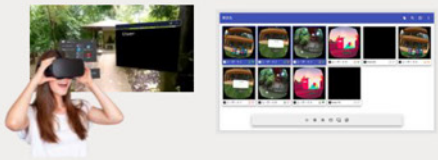
- PCを利用中にバックグラウンドでイメージを配信
- 無線LANでノートPCも管理可能
- Windows Updateなどの定期メンテナンスを自動化
- PC故障時の入れ替え作業が簡単

alpha Teleworker テレワーク

Withコロナ時代のテレワークコストを強力に削減！

- 自宅から学内のPCへ、セットアップなしで簡単にアクセス
- 個人が所有するPCを活用でき、端末不足を解消
- 同時接続数ライセンスでコストを低減

xR教育支援システム ※現在開発中



xR（VR）で臨場感あふれる実習や遠隔授業を実現！

- VRを活用した授業、実習、研修に最適。遠隔授業も可能
- 360度カメラと教材作成ツールで、簡単にVR教材を自作
- VRコンテンツを視聴しながらビデオ通話
- VR端末の一括管理機能を搭載

お問い合わせ先　株式会社アルファシステムズ 製品販売本部
TEL ：(044) 738-4157　MAIL：edu@list.alpha.co.jp

TOWAROW
From TOWA ENGINEERING

DX × BYODソリューションのご紹介

01 AViot -アビオット-

- ノートパソコンやタブレット端末から、音響・映像機器をワンタッチ操作可能
- 学生の端末からでも部屋内のどこからでもワイヤレスで操作できる

▶ワイヤレス操作

講演者もアシスタントも、AV操作のためだけに特定の場所にいる必要なし

QRコード活用　マルチデバイスで無線操作

▶ワンタッチセッティング

利用したいシーンを選ぶだけのワンタッチ操作

▶ユニバーサルデザイン

どのボタンで何ができるか直感的にわかりやすいボタンデザイン

02 Solstice Pod -ソルスティスポッド-

- 教員・学生各自のデバイスから簡単にワイヤレス資料共有(BYOD対応)
- 複数コンテンツ、自由な画面表示でグループワークを活性化（Active Learning機能あり）

▶マルチデバイス対応

パソコン、タブレット、スマートフォン
各種デバイスでご利用いただけます。

対応OS：Windows, Mac, iOS, Android

▶複数コンテンツの共有

デスクトップだけでなく写真や動画、
アプリケーション画面を複数共有できます。

03 ピンとくる Pin!+ ピンとくる

- AIが対面コミュニケーションをサポート
- 話した言葉や関連記事が表示され、アイデア創出につながる

▶アイスブレイク

▶タイマー表示

▶話題データ抽出

▶話題・ニュースを自動表示

ーお問い合わせ先ー

株式会社 東和エンジニアリング　教育ソリューション営業部　TEL:03-5833-8310　FAX:03-5833-8311

□本社　〒101-8631　東京都千代田区東神田1-7-8
□支社/支店/営業所：　関西支社・関東支店・中部支店・北海道営業所・仙台営業所・横浜営業所・九州営業所

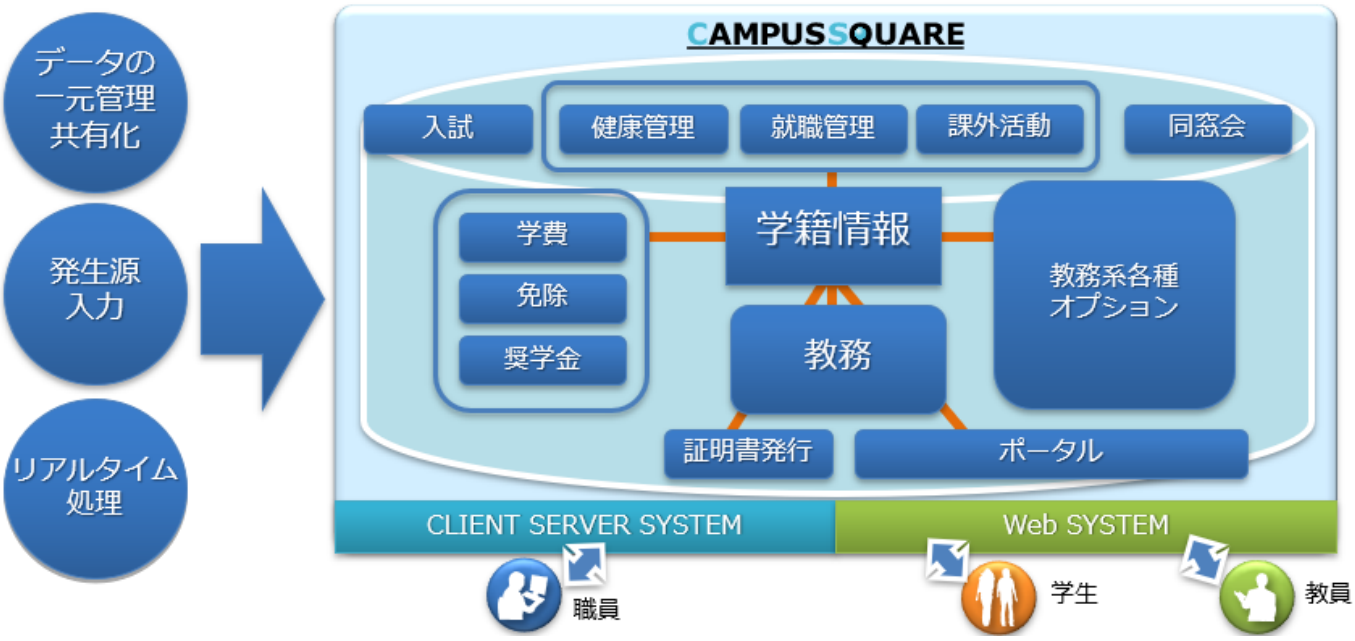
ぜひ、ホームページをご覧ください
▶▶▶ www.towaeng.co.jp

学務情報システムのご紹介

CAMPUSSQUARE

■CampusSquareのコンセプト

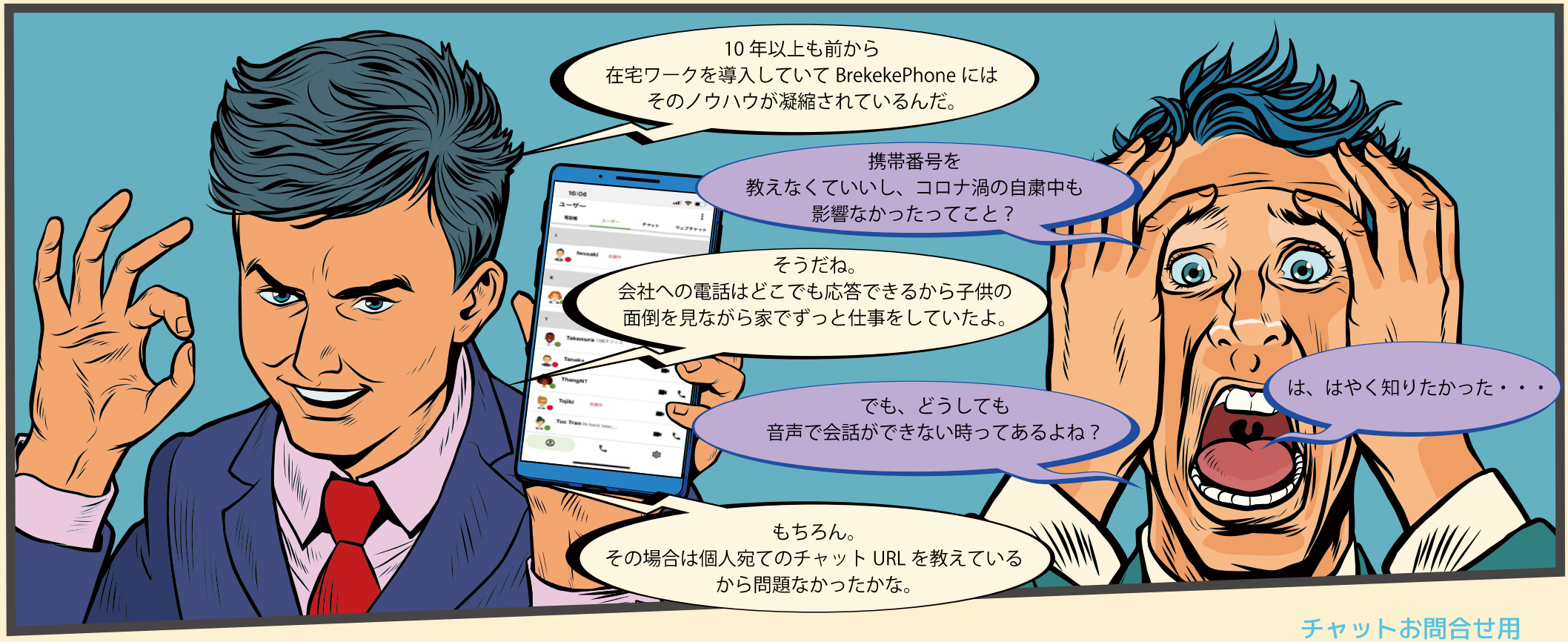
　CampusSquareのデータ管理は、一つのデータベースによる完全な一元管理方式です。また、発生する情報をシステムの利用者（職員、教員、学生）各々が入力する発生源入力に加え、システム利用者が登録・検索・削除といった処理を行う場合に、リアルタイムのチェックを行うことで、常に最新かつ確実なデータ登録を実現しています。これら３つのコンセプトに基づき、大学内の様々な情報をリアルタイムに、かつ「学生」「教員」「職員」三者間の情報共有を高度に支援します。



日鉄ソリューションズ株式会社

NS Solutions

https://www.nssol.nipponsteel.com/solution/popup/campussquare/
campus@jp.nssol.nipponsteel.com



チャットお問合せ用
QR コード

こんなお悩みがある場合はブレケケへご相談ください。

スマホ内線化、在宅ワーク等のトレンド機能を安価に導入したい。

海外製品やクラウドサービスは使いたくない。専用機に依存する構成から脱却したい。

チャットやコールセンター機能をサービス毎に使い分けたくない。

brekeke

ホームページ　https://brekeke.jp

変わる！
Macのイメージ管理

ディスクイメージ展開からコンフィグレーション・パッケージの展開へ

Mac Total Solution

MITANI CORPORATION
三谷商事株式会社

私たちは確かな
アウトカム=結果をお約束します。

お客様からは常に明確なミッションゴールを
実現するためのソリューションとアウトカムが求められます。
私たちはそのソリューションの設計から
ソリューションを構成する様々な要素を明確化しながら、
時代の流れと、市場や技術の進化と変化に対応できる
スキームと的確なスキルで
「お客様の満足度」を提供して参ります。

ADOX
For Your Next Innovation

WEB

「東北大学人工知能エレクトロニクス卓越大学院プログラム」
ホームページ

MOVIE

「Basic SecCap」
e-learningコンテンツ

MOVIE

「東北大学サイエンスシリーズ」
JMOOCコンテンツ

STREAMING

「東北大学オープンイノベーション戦略機構」
シンポジウム配信

MOVIE

「東北大学多元物質科学研究所」
紹介映像

MOVIE

「東北医科薬科大学」
オープンキャンパス

WEB

「ジオラマ行動力学」
ホームページ

MOVIE

「ジオラマ行動力学」
領域紹介映像

DESIGN

「ジオラマ行動力学」
パンフレット

［業務内容］広報戦略の企画・提案／映像制作／WEB制作／リアル配信／e-learningコンテンツ／イベントサポート／グラフィックデザイン／印刷／システム構築／翻訳

株式会社 アドックス
E-mail: info@adoxjpn.com

営業支援 名刺管理サービス
SKYPCE
スカイピース

Sky

業務で得た名刺情報は会社の重要資産です

大学の購買担当者の名刺はどのように管理していますか？

大学の購買担当者の

名刺情報を管理・共有するには？

大学内の複数の学部では、学部ごとに事務職員や購買担当の方などが外部の業者とやり取りを行う際に名刺交換を行います。
名刺情報を共有し、各学部と外部業者との接点を把握し、一括調達の参考にしたいなどといったお困りごとはありませんか。

お困りごと　大学様

- ☑ 業者や製品選びの参考にするために、複数の学部で営業にきていたけど取引しなかった業者など、出入りしている業者情報まで共有したい…

- ☑ 取引している業者との取引内容や関係性などの情報も把握しておきたい…

SKYPCEを利用することで、各学部と外部業者との接点などの情報を把握できます。

営業支援 名刺管理サービス SKYPCE

組織で名刺データを保管・運用するため、
データを保存するサーバー機材等が必要です。

サーバー＋スキャナなどの機材

毎月のライセンス

構築費用

営業支援 名刺管理サービス
SKYPCE
スカイピース

Infoblox BloxOne™ Threat Defense

さくっと脅威対策しませんか？

お客様の大事な資産を侵害する脅威への対策として "BloxOne™ Threat Defence" を活用するメリット

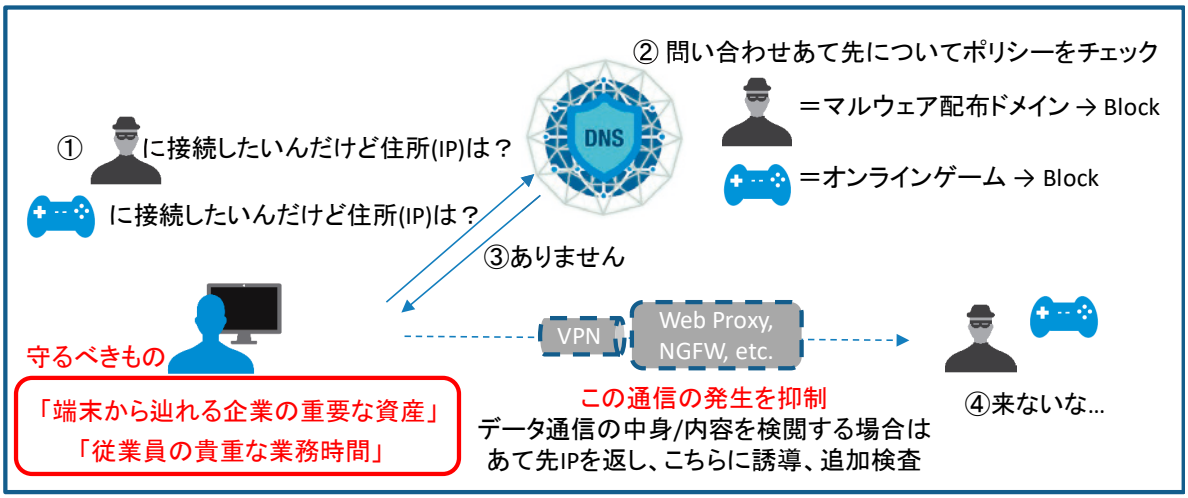
「VPN がない、Web プロキシーがない、でも業務を継続しないといけない…」そのような環境でも、重要な企業データを脅威から守り、かつ、従業員の不適切なサイトへのアクセスを制御する、それが BloxOne Threat Defense 導入のメリットの一つです。

お客様の既存ネットーワークを変更せずに導入することが可能なため、たとえ既存ネットワークが刷新されても、影響なく効果を持続することができます。

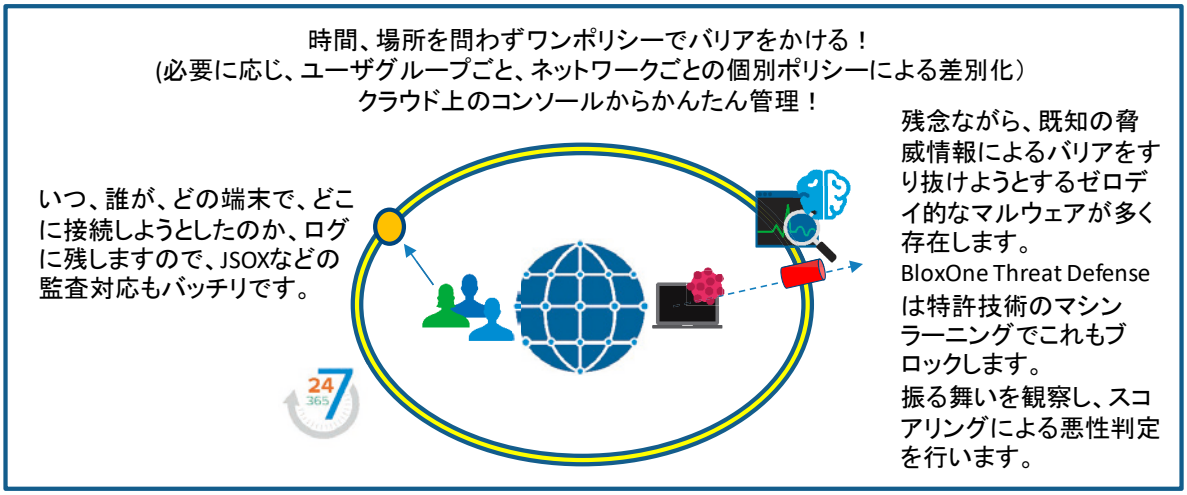
また、本店、拠点、工場、家、カフェ、電車など、その場のセキュリティ基盤の優劣にとらわれず、24 時間 365 日、一貫したセキュリティポリシーを適用します。

適用タイミングや処理性能も重要で、ブラウザなどからデータ通信が発生する前に検査が実行され、かつ処理量が Web プロキシーにくらべ高く、効果的かつ効率的な対策です。

重要データの保護およびユーザ行動の制御への解決策をお求めで、かつ初期費用を抑え、末永く利用されたいというお客様は、ぜひこの抜群の費用対効果策をご検討ください。



動作概要



運用イメージ

大学ICT推進協議会2022年度年次大会ガイドブック

発行期日　2022年12月13日

発 行 者　一般社団法人大学ICT推進協議会
〒606-0802 京都市左京区下鴨宮崎町119-1
WhateverSHIMOGAMO内

編　　集　2022年度年次大会実行委員会

印　　刷　有限会社セクレタリアット
〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町93
京都リサーチパーク6号館3F

UCHIDA

未来の学習空間

Future Class Room®

「Future Class Room®」は、ICTを活用したオンラインと対面の効果的なハイブリッド環境で、国や地域を越えて知恵を共有しながら新たな価値を創出する協創空間です。

AV制御システム ── コデマリ ──

codemari

スクリーンやプロジェクター、照明やスピーカーなど、さまざまな機器が装備された空間では、複数の機器を扱うための知識が必要です。その複数の機器を、「タブレット端末」や声で操作するためのWEBアプリケーションソフトが codemari（コデマリ）です。タブレット端末が1台あれば **機器操作が苦手な人も、タブレット端末を使ってドラッグ＆ドロップで直感的に操作できたり、声で指示するだけで簡単に操作できます。**

Future Class Room® をスムーズに活用するために

複雑なAV機器を
「タブレット端末」や声で

楽々操作

学校・大学等教育機関向け　必携・推奨端末EC販売をご支援いたします。

授業や学習で利用する、個人が所有する端末だからこそ、学校でもご家庭でも安心・安全にご利用いただけることが大切です。内田洋行では、学校・大学等教育機関向け 必携・推奨端末EC販売を通して、貴学の方針に沿った個人用端末の整備をご支援いたします。計画策定から販売、アフターサポートまでトータルでご提供いたします。

内田洋行が提供するサポートの主な特長は……

学校専用キッティング済みの端末をご用意

授業で使うアプリケーションのインストール、学校のネットワーク環境の設定等、学校様に合わせたキッティングを行った状態ですので、到着後すぐに授業でご利用いただけます。

専用ECサイトにて販売・選べるお支払い方法

専用ECサイトにて、ご家庭に直接販売します。支払い方法はクレジットカードとコンビニ払いから選択できます。

ヘルプデスクにて
ご家庭からの問い合わせにも対応

生徒や保護者からの問い合わせに対応しているため、担当者様の負担を軽減できます。

「ウチダあんしん保証」にて
メーカー範囲外の故障等にも対応

メーカーサポートの範囲外の故障対応や、盗難等にも対応した「ウチダあんしん保証サービス」をご用意しております。

全国で多数実績がございます ぜひお問い合わせください！

内田洋行
高等教育事業部

東京 〒135-0016 東京都江東区東陽2-3-25 東日本営業部 ☎03(5634)6441
大阪 〒540-8520 大阪市中央区和泉町2-2-2 西日本営業部 ☎06(6920)2493

だいせつにします プライバシー 10480001

「いい学校・いい教育・いい授業づくり」を支援します。
www.uchida.co.jp/education

シスコは教育機関のデジタルイノベーションを共創します

スタンフォード大学という教育現場にルーツを持つシスコは誰ひとり取り残されないインクルーシブな社会を目指し世界中の学びの場で革新をサポートしています。

日本の教育機関はいま、急激なデジタル環境変化への対応が強く求められています。シスコは、限られた予算とリソースの中で自由度の高い研究や学習をより効果的に提供する、さまざまなプラットフォームを提供します。

CISCO